



福島県立美術館
年報
平成29年度
2017



福島県立美術館年報
平成 29 年度 (2017)

目 次

設置の目的と立地	2
沿革	3
平成 29 年度主要記事	4
第 1 節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第 2 節 収集・保存	5
収集作品点数	
収集評価委員会	
平成 29 年度収集作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第 3 節 展示事業	8
常設展	
企画展	
観覧者数一覧	
第 4 節 調査研究事業	47
第 5 節 普及事業	47
館内解説	
鑑賞講座	
実技教室	
美術館への年賀状展	
博物館実習	
美術館・学校教育連携事業	
友の会、協力会との連携	
その他の事業	
関係法規	52
予算	58
施設・設備	59
施設配置図	60
組織図・職員名簿	61
利用案内	62

◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置	10月	18日以降臨時休館となる（-2000年7月
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施		19日）空調機械改修工事（第一期）着工
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告		「移動美術館」開始（第1回は喜多方市美術館）
	7月	文化振興会議を設置	2000年	3月 『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告		4月 第四代館長に酒井哲朗が就任（-2012年3月）
	3月	文化施設等整備基金条例制定		7月 空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20日）
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く	2001年	11月 19日以降臨時休館となる（-2002年4月
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員10人を委嘱）		26日）空調機械工事（第二期）等着工
	12月	美術品等取得基金条例制定	2002年	3月 空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告		4月 再開館（27日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008年3月
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される		23日）
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員7人を委嘱） 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定	2003年	4月 「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置 高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定	2004年	6月 「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足
	12月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）		7月 「アートオブスター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する
1981年	7月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）		10月 開館20周年記念展「田園の夢」開催
1982年	7月	美術館設計工事着工	2005年	3月 『収蔵作品図録1990-2005』発行
1984年	3月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決	2006年	5月 入館者通算200万人を記録する
	4月	福島県立美術館設置		8月 初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管	2008年	10月 レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店
	7月	開館（22日）初代館長に原田實が就任（-1989年3月） 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行	2009年	7月 開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
	10月	第1回運営協議会開催	2011年	3月 12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4月25日）
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行		4月 再開館（26日）
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990年3月）		5月 入館者通算300万人を記録
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行	2012年	2月 震災復旧工事のため1日以降臨時休館となる（-4月6日）
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992年3月）		4月 第五代館長に早川博明が就任
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000年3月）	2013年	7月 再開館（7日） 「若冲が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催	2014年	7月 開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する	2015年	4月 6日以降臨時休館となる（-2016年4月
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する		1日）空調設備等改修工事着工
1999年	3月	屋根改修工事着工	2016年	4月 再開館（2日） 名誉館長に酒井哲朗が就任 「フェルメールとレンブラント」展開催、104,519人の観覧者を記録する
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止（-2000年7月19日）		
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催		

◆平成 29 年度主要記事 (2017.4 - 2018.3)

第 1 節 委員会等

平成 29 (2017) 年

- 4月 1日 館内消毒にともなう休館 (-7日)
高木正弘副館長・高橋奈央子主査・伊藤 匡専門
員着任
- 4月 8日 再開館
「第 I 期常設展」開幕 (-7月9日)
- 4月 22日 「国立西洋美術館所蔵 ミューズ：まなざしの先
の女性たち」展開幕 (-7月2日)
- 5月 5日 常設展無料観覧日 (こどもの日)
- 5月 21日 【友の会】通常総会
- 5月 25日 全国美術館会議総会出席 (鎌倉市、-26日)
- 7月 15日 「第 II 期常設展」開幕 (-9月24日)
- 7月 22日 「ジャック=アンリ・ラルティエグ展」開幕
(-9月10日)
- 8月 21日 常設展無料観覧日 (県民の日)
- 9月 18日 常設展無料観覧日 (敬老の日)
- 9月 30日 「第 III 期常設展」開幕 (-12月25日)
- 10月 5日 美術館・図書館合同消防訓練
- 10月 7日 「斎藤清からのメッセージ」展開幕 (-12月10
日)
- 11月 3日 常設展無料観覧日 (文化の日)
- 11月 8日 「移動美術館」富岡町で開幕 (-22日)
- 12月 25日 臨時休館および年末年始休館 (-1月5日)

平成 30 (2018) 年

- 1月 6日 「第 IV 期常設展」開幕 (-3月11日)
- 1月 12日 「美術館への年賀状展」開幕 (-31日)
- 2月 3日 「Gallery F 2018 コレクション再発見」開幕 (-3
月4日)
- 2月 22日 平成 29 年度収集評価委員会
- 3月 6日 平成 29 年度運営協議会
- 3月 12日 館内消毒にともなう臨時休館 (-23日)
- 3月 24日 「長谷川利行展」開幕 (-4月22日)
- 「第 I 期常設展」開幕 (-6月24日)
- 3月 31日 高木正弘副館長退職、小形淳子主査・國島敏主
任学芸員転任

1 美術館運営協議会

(1) 委員

- 山口 功 福島県中学校教育研究会美術専門部所属
(平成 25.1.1 ~)
- 番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属
(平成 27.1.1 ~)
- 杉 昭重 公益財団法人福島県文化振興財団理事長
(平成 29.1.1 ~)
- 坂本節子 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長
(平成 25.1.1 ~)
- 齋藤勝正 福島県美術家連盟会長
(平成 29.1.1 ~)
- 鈴木 仁 日本放送協会福島放送局長
(平成 29.8.19 ~)
- 星真智子 西会津国際芸術村事務局長
(平成 27.1.1 ~)
- 清水真砂 世田谷美術館分館長
(平成 27.1.1 ~)
- 齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部教授
(平成 27.1.1 ~)
- 舟木藤弘 福島県立美術館友の会理事
(平成 29.1.1 ~)

(2) 協議会の開催

期日：平成 30 年 3 月 6 日(火)

内容：・平成 29 年度事業実施の概要

・平成 30 年度事業計画案の概要

・その他 (県立美術館の運営等について)

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

<加盟団体>

- ・全国美術館会議 (理事)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (監事)
- ・東北地区博物館協会 (監事)
- ・福島県博物館連絡協議会 (理事)

第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収蔵作品)の収集活動を継続的に行っている。

平成29年度は28点の作品、および美術資料1件を寄贈により収蔵した。

1 収蔵作品点数(平成30年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外作品	421	29	0	450
日本画	75	162	116	353
洋画	99	712	96	907
素描・下絵	15	183	17	215
版画	376	732	40	1,148
写真	0	390	20	410
立体	14	77	48	139
工芸	76	46	33	155
書	0	3	36	39
美術資料(件数)	1	58	4	63
合計	1,077点	2,363点	410点	3,879点

2 収集評価委員会

(1) 委員

- 原田 光 元岩手県立美術館長(平成23.12.1～)
 村田真宏 豊田市美術館長(平成23.12.1～)
 荒屋鋪透 中部大学民族資料博物館長(平成23.12.1～)
 三上満良 宮城県美術館副館長(平成23.12.1～)
 佐々木吉晴 いわき市立美術館長、宇都宮美術館長
 (平成23.12.1～)

(2) 委員会の開催

期日：平成30年2月22日(木)

内容：・平成28年度収集作品の報告
 ・平成29年度収集候補作品について

3 平成29年度収蔵作品

(1) 美術作品及び美術資料の収集

- 国内：日本画 小川千甕 2点
 荻生天泉 4点
 勝田蕉琴 1点
 室井東志生 3点
 国内：洋画 大岩オスカール 2点
 佐藤二郎 1点
 寺田政明 1点
 秀島由己男 1点
 国内：素描・下絵 朝倉 撰 7点
 横山 操 1点
 国内：立体 入江比呂 1点

- 国内：工芸 森田恒友 1点
 国内：資料 荻生天泉資料 1件
 計28点 美術資料1件

(2) 新収蔵作品一覧

1. 小川千甕(1882-1971)

《川沿いの蔵》明治末

紙本着色 134.3 × 30.0cm 松尾宏太郎氏寄贈



2. 小川千甕(1882-1971)

《八瀬少女》明治末

紙本着色 129.5 × 30.0cm 松尾宏太郎氏寄贈



3. 森田恒友(1881-1933)

《漆絵 茶碗》大正5-6年頃

木・漆絵付 7.4 × 6.7cm 松尾宏太郎氏寄贈



4. 荻生天泉(1882-1946)

《古城之秋》1907年

絹本着色 軸 109.7 × 41.0cm 荻生禮子氏寄贈



5. 荻生天泉(1882-1946)

《子の日》1930年 金地絹本着色 屏風二曲一隻

168.5 × 172.0cm 荻生禮子氏寄贈



6. 荻生天泉 (1882-1946)

《紫式部》1939年

絹本着色 軸 125.8 × 36.0cm 荻生禮子氏寄贈



7. 荻生天泉 (1882-1946)

《[旭光松樹]》不詳 (1945 以前)

絹本着色 額装 43.6 × 56.4cm 荻生禮子氏寄贈



8. 資料

荻生天泉資料 (団扇 2、天泉画集 6 冊、伊都岐志麻一綴、絵はがき 5、色紙 7、児川句集 1) 荻生禮子氏寄贈

9. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《[美人図]》1899年頃

紙本着色 軸 99.7 × 34.0cm 古川洋一郎氏寄贈



10. 室井東志生 (1935-2012)

《白煌 (楊貴妃に扮する玉三郎像)》1987年

紙本着色 額装 219 × 137cm 室井悦子氏寄贈



11. 室井東志生 (1935-2012)

《悠 (柳家小さん像)》1992年

紙本着色 額装 203 × 160cm 室井悦子氏寄贈



12. 室井東志生 (1935-2012)

《洗》2005年

紙本着色 額装 183 × 152cm 室井悦子氏寄贈



13. 大岩オスカー (1965-)

《トンネルの向こうの光》1997年 カンヴァス・油彩

227.0 × 330.0cm 大岩オスカー幸男氏寄贈



14. 大岩オスカー (1965-)

《温室効果》2001年 カンヴァス・油彩

227.0 × 444.0cm 大岩オスカー幸男氏寄贈



15. 佐藤二郎 (1893-1977)

《母子像》1927年

カンヴァス・油彩 60.6 × 50.0cm 吹澤貴史氏寄贈



16. 寺田政明 (1912-1989)

《船溜まり (焼津)》1980年

カンヴァス・油彩 53.0 × 72.7cm 中山暁子氏寄贈



17. 秀島由己男 (1934-)

《T氏像 (鶴岡政男の像)》1966年

ケント紙・ペン、インク 25.3 × 13.0cm 南天子画廊寄贈



18. 朝倉 摂 (1922-2014)

《寮 下絵》1952年頃

紙・鉛筆 21.7 × 31.2cm 伊藤亜古氏寄贈



19. 朝倉 摂 (1922-2014)

《炭坑風景 下絵》1956年頃

紙・鉛筆 30.0 × 37.6cm 伊藤亜古氏寄贈



20. 朝倉 摂 (1922-2014)

《裸婦立像》1956年

紙・鉛筆 54.3 × 38.7cm 伊藤亜古氏寄贈



21. 朝倉 摂 (1922-2014)

《裸婦立像》1956年

紙・鉛筆 54.4 × 38.6cm 伊藤亜古氏寄贈



22. 朝倉 摂 (1922-2014)

《裸婦》制作年不詳

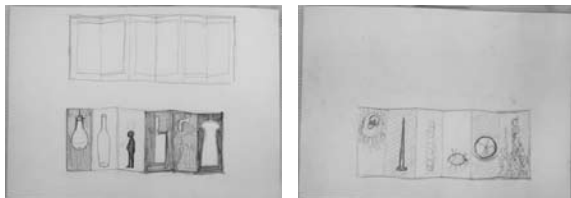
紙・鉛筆 31.2 × 47.5cm 伊藤亜古氏寄贈



23. 朝倉 摂 (1922-2014)

《屏風下絵》1964年頃

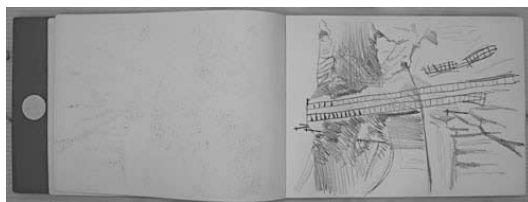
紙・鉛筆 26.5 × 37.2cm 伊藤亜古氏寄贈



24. 朝倉 摂 (1922-2014)

《スケッチブック》1956年

紙・鉛筆、水彩 17.6 × 25.0cm 伊藤亜古氏寄贈



25. 横山 操 (1920-1973)

《黒い工場 (下図)》1956年

紙・コンテ、墨 38.3 × 27.7cm 杉田将雄氏寄贈



26. 横山 操 (1920-1973)

《建設 (下図)》1960年

紙・コンテ、パステル 38.2 × 54.2cm 杉田将雄氏寄贈



27. 横山 操 (1920-1973)

《風景—アメリカ》1961年

紙・コンテ 38.4 × 54.4cm 杉田将雄氏寄贈



28. 横山 操 (1920-1973)

《山》不詳

紙・コンテ、パステル 25.2 × 35.8cm 杉田将雄氏寄贈



29. 入江比呂 (1907-1992)

《胡座》1984年 白セメント、自転車部品、ステンレス板、アルミ板、針金、ビー玉、プラグ、合金片、瓶破片他 49 × 17 × 73.5cm 門田秀雄氏寄贈



4 図書資料の収集

収蔵図書数 58,687 冊（平成 30 年 2 月 28 日現在）

5 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

(1) 保存環境調査の実施

時期：平成 29 年 6 月 5 日～19 日、8 月 11 日～26 日

内容：展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

(2) 美術作品の修復

平成 29 年度は酒井三良《冬暖》、朝倉撰《寮》ほか 6 点、田口安男《回転と移行》ほか 2 点、青木繁《催合傘》ほか 1 点、ジョルジュ・ルオー《ミセレーレ》(58 点組)の修復を実施した。

(3) 放射線測定

美術館施設内および敷地内の放射線測定を実施、測定結果を当館ホームページで公開した。

時期：毎月 1 回、計 12 回測定

場所：美術館内および敷地内、計 45 か所

測定機種：ALOKA TCS-172 (γ線)、ALOKA TGS-146 (β線)

第 3 節 展示事業

1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して通常、年 4 回（版画は年 8 回）展示替えを行っている。

(1) 常設展示

① 「第 I 期常設展」

会期：平成 29 年 4 月 8 日(土)～7 月 9 日(日)

内容：・福島 の 工 芸：相馬駒焼、会津本郷焼、会津塗、ガラス

・日本画の女性像：速水御舟《女二題》など

・ヨーロッパの美術：モネ《ジヴェルニーの草原》など

・斎藤清の版画：《海の幻想》《ヌード (A)》など

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【福島 の 工 芸】

●相馬駒焼

田代清治右衛門（為清、第十一代）/青ひび釉流掛走馬文徳利/制作年不詳/陶器/個人蔵

田代清治右衛門（八十吉、第十三代）/青ひび釉流掛走馬文徳利・盃/制作年不詳/陶器/個人蔵

田代清治右衛門（八十吉、第十三代）、小川千襄絵付/砂焼ざくろ文花瓶/制作年不詳/陶器/個人蔵

田代清治右衛門（為清、第十四代）/宋牡丹紋意華器/1969(昭和 44)/陶器

田代清治右衛門（為清、第十四代）/青ひび釉流掛走馬文花瓶/1975(昭和 50)/陶器

田代清治右衛門（秀人、第十五代）/結晶釉華器/1974(昭和 49)/陶器

●会津本郷焼

佐竹富三（三代）/うららか尊式水指/1977(昭和 52)/磁器

佐竹富三（三代）/柿文花器/制作年不詳/磁器

宗像豊意/飴釉白流壺/1960(昭和 35)/陶器

宗像亮一/灰釉壺/1973(昭和 48)/陶器

宗像亮一/黒飴釉白流大平鉢/1973(昭和 48)/陶器

宗像利浩/利鉢/1997(平成 9)/陶器/*

宗像利浩/瑠璃天目茶碗/2008(平成 20)/陶器

●会津塗

山内清司/木賊蒔絵棗/1971(昭和 46)/漆、木・蒔絵

照井久良人/月に萩/1975(昭和 50)/漆、色紙箱

須藤としを/鳥渡る/1975(昭和 50)/漆器、手箱

照井克彦/翔/1976(昭和 51)/漆画、衝立

角田弘司/耐えて/1979(昭和 54)/漆画、衝立

坂本朝夫/トロピカル・ブリーズ/1990(平成 2)/プラスチック・ウレタン塗装

●ガラス

佐藤潤四郎/車/1971(昭和 46)/ガラス

佐藤潤四郎/玻璃花器/1979(昭和 54)/ガラス

佐藤潤四郎/金紅被硝子大皿/1979(昭和 54)/ガラス

【日本画の女性像】

角田磐谷／漢織呉織之図／1916(大正5)／絹・岩絵具など
 木下春／機織／1934(昭和9)／和紙・岩絵具など
 岡村宇太郎／舞妓図／1925(大正14)／絹・岩絵具など
 速水御舟／女二題／1931(昭和6)／絹・墨・岩絵具など
 安田鞞彦／茶室／1962(昭和37)／和紙・岩絵具など
 太田秋民／女／1932(昭和7)／絹・岩絵具など
 荻生天泉／霊夢／1941(昭和16)／絹・岩絵具など
 大山忠作／室内／1950(昭和25)／和紙・岩絵具など
 鳥居未央／冬の漁港／1965(昭和40)／和紙・岩絵具など

展示室B

【洋画—あなたが生まれた時代の絵】

関根正二／井上郁像／1917(大正6)／カンヴァス・油彩／＊
 清水登之／十四番街の地下鉄駅／1918(大正7)／カンヴァス・油彩
 宮川教助／逍遙／1922(大正11)／カンヴァス・油彩
 石井柏亭／果樹園の午後／1928(昭和3)／カンヴァス・油彩
 渡部菊二／新聞売り／1934(昭和9)／紙・水彩
 長谷川利行／浅草の女／1935(昭和10)／カンヴァス・油彩
 野田英夫／牛乳ワゴン／1936(昭和11)／カンヴァス・油彩
 白きよ子／厨にて／1941(昭和16)／カンヴァス・油彩
 寺田政明／夜の花／1956(昭和31)／カンヴァス・油彩
 麻生三郎／家族／1959(昭和34)／カンヴァス・油彩
 吉井忠／広津先生／1962(昭和37)／カンヴァス・油彩
 吉井忠／出稼ぎに行く男／1968(昭和43)／カンヴァス・油彩
 鈴木新夫／働く人(A)／1969(昭和44)／カンヴァス・油彩
 糸園和三郎／夜／1973(昭和48)／カンヴァス・油彩
 高山良策／記念写真／1975(昭和50)／カンヴァス・油彩
 橋本章／国鉄新幹線／1980(昭和55)／カンヴァス・油彩
 針生鎮郎／王と妃・面-M／1988(昭和63)／カンヴァス・油彩
 玉川信一／凍日／1995(平成7)／カンヴァス・油彩
 大岩オスカル／温室効果／2001(平成13)／カンヴァス・油彩／＊

【彫刻】

舟越保武／杏／1982(昭和57)／ブロンズ／石原コレクション

展示室C

【ヨーロッパの美術】

カミーユ・コロ／ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ一家へ向かう池
 沿いの道／1873／カンヴァス・油彩
 クロード・モネ／ジヴェルニーの草原／1890／カンヴァス・油彩
 ポール・ゴーガン／プルトーニュの子供／1889／紙・水彩、パステル
 シャルル・デスピオ／裸婦座像／制作年不詳／紙・コンテ／石原コレクション
 シャルル・デスピオ／裸婦椅像／制作年不詳／紙・コンテ／石原コレクション
 シャルル・デスピオ／寄りかかる裸婦／制作年不詳／紙・コンテ／石原コレクション
 シャルル・デスピオ／裸婦／制作年不詳／紙・コンテ／石原コレクション
 ペリクレ・ファッツィーニ／[無題]／制作年不詳／紙・リトグラフ／石原コレクション
 エミリオ・グレコ／ELLISE No.3／1971／紙・エッチング／石原コレクション

エミリオ・グレコ／青春(レリーフ)／1986／ブロンズ／石原コレクション
 パブロ・ピカソ／二人の裸婦(19点組のうち)1,3,5,7,9,11,13,15,17
 ／1945-46／紙・リトグラフ
 オーギュスト・ロダン／柱上のフナイユ夫人の胸像／1898-1900(1996
 鑄造)／ブロンズ／石原コレクション
 オーギュスト・ロダン／髪をすく女／1900以前(2002鑄造)／ブロンズ／石原コレクション
 ジャン・カルトン／乳房を吸う幼子／制作年不詳／ブロンズ／石原コレクション
 高田博厚／小さなトルソ／1961／ブロンズ／石原コレクション
 木内克／裸婦像／1973／テラコッタ／石原コレクション

展示室D

【斎藤清の版画】

斎藤清／海の幻想／1950(昭和25)／紙・木版／★
 斎藤清／ヌード(A)／1950(昭和25)／紙・木版／★
 斎藤清／ヌード(1)／1963(昭和38)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／ヌード(3)／1963(昭和38)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／ヌード(4)／1963(昭和38)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／ヌード(13)／1964(昭和39)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／ヌード(7)／1964(昭和39)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／ヌード(B)／1966(昭和41)／紙・木版／★
 斎藤清／影(A)／1967(昭和42)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／影(C)／1967(昭和42)／紙・コラグラフ／★
 斎藤清／少女(D)／1967(昭和42)／紙・木版／★
 斎藤清／少女(C)／1967(昭和42)／紙・木版／★
 斎藤清／無我(B)／1953(昭和28)／紙・木版／☆
 斎藤清／阿修羅(B)／1959(昭和34)／紙・木版／☆
 斎藤清／アン(シアトル)／1962(昭和37)／紙・コラグラフ／☆
 斎藤清／パンジー／1963(昭和38)／紙・コラグラフ／☆
 斎藤清／パンジー／1964(昭和39)／紙・木版／☆
 斎藤清／影／1970(昭和45)／紙・木版／☆
 斎藤清／憩い(B)／1981(昭和56)／紙・木版／☆
 斎藤清／幻影／1974(昭和49)／紙・木版／☆
 斎藤清／流れ(A)／1975(昭和50)／紙・木版／☆
 斎藤清／赤い実(B)／1975(昭和50)／紙・木版／☆

【谷中安規の版画】

谷中安規／『方寸版画』創刊号 幻想集／1933(昭和8)／紙・木版／★
 表紙／(1)僕／(2)夜／(3)刀／(4)酒／(5)灯／(6)空／(7)火／(8)旅／(9)力／(10)雲
 谷中安規／シネマ／1932(昭和7)／紙・木版／☆
 谷中安規／泥と雪／1933(昭和8)／紙・木版／☆
 谷中安規／少年時代／1933(昭和8)／紙・木版／☆
 谷中安規／『少年画集』(1)祭り／1933(昭和8)／紙・木版、手彩色／河野保雄コレクション／☆
 谷中安規／『少年画集』(2)桜／1933(昭和8)／紙・木版、手彩色／河野保雄コレクション／☆
 谷中安規／『少年画集』(3)見世物／1933(昭和8)／紙・木版、手彩色／河野保雄コレクション／☆
 谷中安規／『少年画集』(6)水遊び／1933(昭和8)／紙・木版、手彩色／河野保雄コレクション／☆
 谷中安規／一族の長／1933(昭和8)／紙・木版／☆

谷中安規/室内/1933(昭和8)頃/紙・木版/☆
 谷中安規/詩巻(心の花1)/1934(昭和9)/紙・木版/☆
 谷中安規/行進/1936(昭和11)/紙・木版/☆

屋外・ホール彫刻

林 範親/路地裏/1994/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ/1982/ブロンズ
 エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ
 マリノ・マリーニ/騎手/1956-1957/ブロンズ
 ヘンリー・ムーア/母と子：腕/1980/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989/ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装/＊

★ = 展示期間 4月8日～5月25日

☆ = 展示期間 5月26日～7月9日



② 「第Ⅱ期常設展」

会期：平成 29 年 7 月 15 日(土)～9 月 24 日(日)

内容：・佐藤玄々(朝山)の彫刻：《春》《冬眠》など
 ・夏の日本画：山口華楊《畑》、池田遙邨《大漁》など
 ・抽象絵画/彫刻：田中敦子《WORK1968》など
 ・小関庄太郎の芸術写真：《田舎の風景》《夕照》など

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考(＊は寄託作品)]

展示室 A

【佐藤玄々(朝山)の彫刻】

佐藤玄々(朝山)/春/1917(大正6)/木彫彩色/横井美恵子コレクション

佐藤玄々(朝山)/釈迦如来像/制作年不詳/木彫

佐藤玄々(朝山)/冬眠/1928(昭和3)/木彫

佐藤玄々(朝山)/青鳩/1933(昭和8)/木彫彩色/河野保雄コレクション

佐藤玄々(朝山)/山兔/1951(昭和26)頃/木彫彩色

【夏の日本画】

横山大観/山間旅行図/1901(明治34)/絹本墨画/＊

酒井三良/五浦の月/1948(昭和23)/紙本着色/＊

伊東深水/乳しぼる家/1916(大正5)/絹本着色/＊

山口華楊/畑/1925(大正14)/絹本着色

平福百穂/ふき/制作年不詳/紙本墨画淡彩

池田遙邨/大漁/1932(昭和7)/絹本着色

【現代の日本画】

上野泰郎/つきぬいのち/1991(平成3)/紙本着色

内田あぐり/ロマノフの海/1984(昭和59)/紙本着色

津田一江/地(physical)/1984(昭和59)/紙本着色

【近代の洋画】

安井曾太郎/ターブルの上/1912(大正元)/カンヴァス・油彩

岸田劉生/静物(白き花瓶と皿と林檎四個)/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

関根正二/チューリップ/1918(大正7)/紙・インク

関根正二/裏の娘/1917(大正6)/紙・水彩、パステル

関根正二/姉弟/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

恩地孝四郎/静物(レモン)/1920(大正9)/カンヴァス・油彩

小出楯重/けしの花/1926(大正15)/紙・グアッシュ

相田直彦/花/1925(大正14)/紙・水彩

川口軌外/柘榴/1932(昭和7)/カンヴァス・油彩

須田国太郎/棚上静物/1952(昭和27)/カンヴァス・油彩

吉井忠/とかげとふくろう/1958(昭和33)/カンヴァス・油彩

脇田和/窓/1966(昭和41)/カンヴァス・油彩

田淵安一/コケティッシュなものたち/1966(昭和41)/カンヴァス・油彩

展示室 B

【抽象絵画・版画】

瑛九/建物/1948(昭和23)/カンヴァス・油彩

山口長男/垣/1962(昭和37)/板・油彩

堂本尚郎/コンポジション/1954-59(昭和29-34)/カンヴァス・油彩

杉全直/眼No.6/1960(昭和35)/カンヴァス・油彩

元永定正/作品(1)/1958(昭和33)/板・油彩

斎藤義重/作品13/1961(昭和36)/合板・油彩

村井正誠/風の人/1968(昭和43)/カンヴァス・油彩

恩地孝四郎/人体考察 顔/1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/人体考察 頸/1929(昭和4)/紙・木版

村井正誠/少年の顔/1959-60(昭和34-35)/紙・木版

菅井 汲/黒/1960(昭和35)/紙・リトグラフ

オノサト・トシノブ/シルク No.10/1967(昭和42)/紙・シルクスクリーン

オノサト・トシノブ/シルク No.18/1968(昭和43)/紙・シルクスクリーン

加納光於/星 反芻学/1962(昭和37)/紙・インタリオ

加納光於/星 反芻学/1962(昭和37)/紙・インタリオ

加納光於/波動説 No.26/1984-85(昭和59)/紙・インタリオ

堂本尚郎/臨海一水/1991(平成3)/紙・リトグラフ

辰野登恵子/May-7-91/1991(平成3)/紙・リトグラフ

李 禹煥/遺跡地にて(5点組のうち2点)/1984(昭和59)/紙・リトグラフ

加藤 学/トノガヤト 02/1997-98(平成9-10)/麻カンヴァス・アクリル

加藤 学/無題/1997-98(平成9-10)/麻カンヴァス・アクリル

宇田義久/water-line 08-02(blue)/2008(平成20)/パネル・糸、アクリル、ウレタンニス

宇田義久/water-line 07-1(white)/2007(平成19)/パネル・糸、アクリル、ウレタンニス

【抽象彫刻】

田中敦子/WORK1968/1968(昭和43)/カンヴァス・エナメル、鉄、モーター

菅井 汲/二つの箱/1965(昭和40)/合板・アクリル絵具、キャスト

菅井 汲／二つの箱／1966(昭和41)／合板・アクリル絵具、キャスト
建島覚造／WAVING FIGURE 65／1987(昭和62)／合板、木、ウレタ
ン塗装
吾妻兼治郎／MU-785／1978(昭和53)／ブロンズ／石原コレクシ
ョン
流 政之／風の実／1977(昭和52)／研ぎ出しブロンズ／石原コレクシ
ョン
澄川喜一／そりのあるかたち／1980(昭和55)／ブロンズ／石原コレク
ション

展示室C

【アメリカの美術】

ベン・シャーン／ニューヨーク市／1932-35／★
ベン・シャーン／ニューヨーク市、5番街と6番街の間、24丁目、共
産党メーデー行進、第9区、芸術家組合デモのスケッチ／デヴィ
スとロッセル・スプリング／1935年5月1日／★
ベン・シャーン／ニューヨーク市、おそらくロウワー・イースト・サイド、
4番街／1932-34年／★
ベン・シャーン／オハイオ州、メカニクスバーグ付近、ヴァージル・サ
クストン／1938年7-8月／★
ベン・シャーン／オハイオ州、アーバナ、救済所／1938年8月／★
ベン・シャーン／ウェスト・ヴァージニア州、レッド・ハウス／1935
年10月／★
ベン・シャーン／ペンシルヴェニア州、ウェストモアランド郡／1937
年夏(後焼き)／★
ベン・シャーン／オハイオ州、アーバナ、救済所／1938年8月／★
ベン・シャーン／ニューヨーク市、ロウワー・イースト・サイド／
1936年4月／★
ベン・シャーン／ニューヨーク市、14丁目／1932-34年／☆
ベン・シャーン／ニューヨーク市、共産党のメーデー行進、演劇組合の
デモ／1935年5月1日／☆
ベン・シャーン／ニューヨーク市、おそらくロウワー・イースト・サイド、
4番街／1932-34年／☆
ベン・シャーン／アーカンソー州、オザークス、小作農、マルホール家
／1935年10月／☆
ベン・シャーン／アーカンソー州、オザークス、マリア・プランテーシ
ョン、救済受給者の子供／1935年10月／☆
ベン・シャーン／オハイオ州中部、農産物品評会／1938年8月／☆
ベン・シャーン／ペンシルヴェニア州、ウェストモアランド郡、ヘクラ
とペザン・ユニティの間、マスグローヴ家／1935年10月／☆
ベン・シャーン／テネシー州、マーフリーズボロ／1935年10月／☆
ベン・シャーン／ニューヨーク市、ロウワー・イースト・サイド／
1936年4月／☆
*以上、すべてオリジナル所蔵はハーバード大学附属フォッグ美術館／
インクジェット・プリント
ベン・シャーン／W.P.A. サンデー／1939／紙・グアッシュ
ベン・シャーン／農民にたずねよ／1941／ボード・グアッシュ
ベン・シャーン／警告！…インフレーションは不況を意味する／1946
／紙・オフセット
ベン・シャーン／これらあらゆる権利のために我々は闘いを開始したの
だ／1946／紙・リトグラフ
ベン・シャーン／ラッキードラゴン／1960／綿布・テンペラ
ベン・シャーン／創造のアルファベット／1963／紙・グアッシュ
【生誕100年 アンドリュウ・ワイエス】

アンドリュウ・ワイエス／ガニング・ロックス／1966／紙・水彩
アンドリュウ・ワイエス／冬の水車小屋／1978／紙・水彩
アンドリュウ・ワイエス／ドイツ人の住むところ／1973／紙・水彩
アンドリュウ・ワイエス／農場にて／1988／紙・水彩
アンドリュウ・ワイエス／そよ風／1978／紙・水彩

【フランスの絵画】

カミーユ・コロー／ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロア家へ向かう池
沿いの道／1873／カンヴァス・油彩
クロード・モネ／ジヴェルニーの草原／1890／カンヴァス・油彩
ピエール＝オーギュスト・ルノワール／帽子を被る女／制作年不詳／カ
ンヴァス・油彩

展示室D

【斎藤清の版画】

斎藤 清／霊峰(2)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(3), 牧場(A)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(4), 牧場(B)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(5)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(7)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(8)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(12), 秋(C)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(14), 唐松／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(16), 牧場(C)／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰(19), 野の仏／1980(昭和55)／紙・木版
斎藤 清／霊峰 夕映え／1986(昭和61)／紙・木版

【小関庄太郎の芸術写真】

小関庄太郎／麓の家／1925(大正14)2月／ゼラチン・シルバープリ
ント
小関庄太郎／田舎の風景／1926(大正15)／ゼラチン・シルバープリ
ント
小関庄太郎／北国の雨／1927(昭和2)10月／ゼラチン・シルバープ
リント
小関庄太郎／古風な町／1928(昭和3)10月／ゼラチン・シルバープ
リント
小関庄太郎／村の小景／1928(昭和3)10月／ゼラチン・シルバープ
リント
小関庄太郎／海辺／1931(昭和6)8月／ゼラチン・シルバープリ
ント
小関庄太郎／八月の名残／1931(昭和6)9月／ゼラチン・シルバープ
リント
小関庄太郎／絵画教室の一隅／1932(昭和7)3月／ゼラチン・シルバ
ープリント
小関庄太郎／手をふる少女／1933-36(昭和8-11)／ゼラチン・シルバ
ープリント
小関庄太郎／海辺小景／1937(昭和12)／ゼラチン・シルバープリ
ント
小関庄太郎／海辺の午後／1937(昭和12)8月4日／ゼラチン・シルバ
ープリント
小関庄太郎／夕照／1938(昭和13)／ゼラチン・シルバープリ
ント
小関庄太郎／火の見櫓のある道／1937(昭和12)7月6日／ゼラチン・
シルバープリント
小関庄太郎／路傍／1937(昭和12)7月／ゼラチン・シルバープリ
ント

屋外・ホール彫刻

林 観親／路地裏／1994／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
佐藤忠良／若い女・シャツ／1982／ブロンズ

エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ
 マリノ・マリーニ/騎手/1956-1957/ブロンズ
 ヘンリー・ムーア/母と子：腕/1980/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989/ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装/*

★= 展示期間 7月15日～8月25日

☆= 展示期間 8月26日～9月24日



③ 「第Ⅲ期常設展」

会期：平成 29 年 9 月 30 日(土)～ 12 月 24 日(日)

内容：・現代の日本画：齋藤隆《ドラマ》など
 ・関根正二と大正期の洋画：《一本杉の風景》など
 ・河野保雄コレクション：清宮質文《夜明け》など
 ・『月映』と恩地孝四郎

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【現代の日本画】

小泉智英/地を這う/1975(昭和50)/紙本墨画(7枚組)
 齋藤隆/ドラマ 天の巻/制作年不詳/紙・コンテ/*
 齋藤隆/ドラマ/1986(昭和61)/紙・コンテ
 仲山計介/エオンタ No.6201/1987(昭和62)/紙本著色、屏風二曲一隻
 仲山計介/エオンタ No.6202/1987(昭和62)/紙本著色、屏風二曲一隻
 仲山計介/エオンタ No.6203/1987(昭和62)/紙本著色、屏風二曲一隻
 佐藤多持/水芭蕉曼陀羅(黄12)/1968(昭和43)/紙・墨、岩絵具など
 佐藤多持/水芭蕉曼陀羅(黄18) 風神/1969(昭和44)/紙・墨、岩絵具など
 齋藤清/秋の只見/1980(昭和55)/紙本著色
 小泉淳作/磐梯山/1991(平成3)/紙本墨画淡彩/*
 福王寺法林/バドガオンの月/1982(昭和57)/紙本著色

展示室 B

【関根正二と大正期の洋画】

関根正二/菊川橋辺り/1915(大正4)/板・油彩/*
 関根正二/砂村石渡牧場/1915(大正4)頃/板・油彩/*
 関根正二/死を思う日/1915(大正4)/カンヴァス・油彩/*
 関根正二/風景/1915(大正4)頃/カンヴァス・油彩/*

関根正二/茅葺屋根の農家のある風景(仮題)/1916/綿布・油彩/*

関根正二/牛舎/1915(大正4)頃/カンヴァス・油彩
 関根正二/風景/1916(大正5)頃/板・油彩
 関根正二/一本杉の風景/1918(大正7)頃/カンヴァス・油彩
 関根正二/井上郁像/1917(大正6)/カンヴァス・油彩/*
 関根正二/真田吉之助夫妻像/1918(大正7)/カンヴァス・油彩
 関根正二/姉弟/1918(大正7)/カンヴァス・油彩
 関根正二/自画像/1918(大正7)/カンヴァス・油彩
 安井曾太郎/テーブルの上/1912(大正元)/カンヴァス・油彩
 岸田劉生/静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)/1918(大正7)/カンヴァス・油彩
 上野山清貢/ムッシュOの肖像/1915(大正4)/カンヴァス・油彩
 恩地孝四郎/自画像D(白和服)/1915-19(大正4-8)/カンヴァス・油彩
 木村荘八/樹の下に遊んでいる子供/1915(大正4)/カンヴァス・油彩
 村山槐多/樹木(けやき)/1917(大正6)頃/紙・木炭
 古賀春江/赤い風景/1926(大正15)/紙・水彩

【印象派と海外の名品】

カミーユ・コロー/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロア家へ向かう池沿いの道/1873/カンヴァス・油彩
 カミーユ・ピサロ/エラニーの菜園/1899/カンヴァス・油彩
 クロード・モネ/ジヴェルニーの草原/1890/カンヴァス・油彩
 ポール・ゴーガン/ブルターニュの子供/1889/紙・水彩、パステル
 フェルナン・レジェ/サーカス(全64点組の中から)/1950/紙・リトグラフ
 マックス・エルンスト/版画集《博物誌》/1926/紙・フロッタージュ、コロタイプ
 (9) 打ち明け話/(11) 鞭打ち、もしくは火山岩の紐/(14) 栗の木のスタート/(22) 大陸に足を踏み入れる/(29) 光の輪/(32) すべてを忘れてしまふほど/★
 (10) 彼女は秘密を隠し持っている/(12) 戦場、洪水、地震の植物/(16) 菩提樹は従順である/(26) 振り子時計の起源/(30) 脱走者/(33) 種馬と風の花嫁/☆
 ヘンリー・ムーア/母と子：腕/1980/ブロンズ

展示室 C

【河野保雄コレクション】

岸田劉生/白狗図/1923(大正12)/絹本着色
 岸田劉生/静物/1928(昭和3)/板・油彩
 岸田劉生/畑と赤土の道(浜松風景)/1920(大正9)/板・油彩
 野田英夫/少女/1936(昭和11)/カンヴァス・油彩
 前田寛治/後向き裸婦/1927(昭和2)/カンヴァス・油彩
 鶴岡政男/子ども/1950(昭和25)/ガラス・油彩
 鶴岡政男/陽気な小鳥/1954(昭和29)/ガラス・油彩
 鶴岡政男/鳩を持つ少女/1954(昭和29)/ガラス・油彩
 鶴岡政男/凝視/1953(昭和28)/ガラス・油彩
 桂ゆき/ふくろう/制作年不詳/ガラス・油彩
 桂ゆき/アフリカの思ひ出/1954(昭和29)/ガラス・油彩
 桂ゆき/ゴンベとカラス/制作年不詳/ガラス・油彩
 桂ゆき/ブドウとキツネ/制作年不詳/ガラス・油彩
 清宮質文/野の花/1983(昭和58)/ガラス・油彩

清宮質文/蠟燭/1988(昭和63)/ガラス・油彩
 清宮質文/夜明け/制作年不詳/ガラス・油彩
 清宮質文/コップの花/1969(昭和44)/ガラス・油彩
 大沢昌助/無題/1954(昭和29)/ガラス・油彩
 大沢昌助/青い坐像/制作年不詳/ガラス・油彩
 芹沢銈介/福/制作年不詳/ガラス・油彩
 芹沢銈介/洋書/制作年不詳/ガラス・油彩
 川上澄生/洋燈を持つ洋装婦人之図/1954(昭和29)/ガラス・油彩
 川上澄生/女二人/制作年不詳/ガラス・油彩
 川上澄生/西洋婦人像/1971(昭和46)/ガラス・油彩
 川上澄生/南蛮船/制作年不詳/ガラス・油彩
 川上澄生/酒宴之図/制作年不詳/ガラス・油彩
 春日部たすく/月見草/制作年不詳/ガラス・油彩
 吉岡 憲/満洲風景/制作年不詳/ガラス・油彩
 島田章三/女の顔/制作年不詳/ガラス・油彩
 織田廣喜/パリの女/1998(平成10)/ガラス・油彩
 織田廣喜/少女幻想/1998(平成10)/ガラス・油彩
 織田廣喜/向島の花見/1998(平成10)/ガラス・油彩
 織田廣喜/水車のある風景/1998(平成10)/ガラス・油彩
 織田廣喜/雷門(浅草)/1998(平成10)/ガラス・油彩
 松本 榮/チンドン屋/制作年不詳/ガラス・油彩
 松本 榮/辻音楽師(メキシコ)/1997(平成9)/ガラス・油彩
 北川民次/教会に集る群れ/1962(昭和37)/ガラス・油彩
 北川民次/花売り/制作年不詳/ガラス・油彩
 糸園和三郎/椿/1954(昭和29)/ガラス・油彩
 糸園和三郎/野の花/制作年不詳/ガラス・油彩
 糸園和三郎/かたつむり/制作年不詳/ガラス・油彩
 糸園和三郎/鳥/制作年不詳/ガラス・油彩
 吉井 忠/保原から見た霊山/1996(平成8)/ガラス・油彩
 吉井 忠/飯坂から見た吾妻山/1996(平成8)/ガラス・油彩
 吉井 忠/安達太良/1996(平成8)/ガラス・油彩
 吉井 忠/阿武隈川(岡部)/1996(平成8)/ガラス・油彩
 吉井 忠/冬の二本柳の町/1996(平成8)/ガラス・油彩
 吉井 忠/森林帯/1938(昭和13)/カンヴァス・油彩
 山口 薫/水/1944(昭和19)/カンヴァス・油彩
 麻生三郎/街と人/1959(昭和34)/カンヴァス・油彩

展示室D

【『月映』と恩地孝四郎】

恩地孝四郎、田中恭吉、藤森静雄/詩画集『月映』IVより/1915(大正4)
 /紙・木版

(1) 恩地『死によりてあげらるる生』/(2) 田中『画稿「埋葬の日」』/(3) 藤森『亡びゆく肉』/(4) 藤森『枝をはなれし一つの果』/(5) 藤森『聖なる夜』/(6) 藤森『墓穴を掘る人々』/(7) 藤森『妹の葬らるるべき日』/(8) 藤森『へだてられたるもの』/(9) 藤森『悲しきねがひ』/(10) 恩地『泪してあふぐ日』/(11) 恩地『おさむるものと地の哀傷』/(12) 恩地『とぶもの・つけるもの』/(13) 恩地『のこるこころ』/(14) 恩地『そらよりくだるかげ』

恩地孝四郎/母と子/1917(大正6)/紙・木版

恩地孝四郎/母と子/1917(大正6)/紙・木版

恩地孝四郎/仮睡/1924(大正13)頃/紙・木版

恩地孝四郎/水浴/1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/顔/1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/邦楽座内景(新東京百景)/1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/カフェ(新東京百景)/1929-32(昭和4-7)/紙・木版

恩地孝四郎/人体考察 衣をつけたる(『再刊風』1号より)/

1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/人体考察 肩(『再刊風』1号より)/1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/人体考察 胸(『再刊風』1号より)/1929(昭和4)/紙・木版

恩地孝四郎/果物(仮題)/1941(昭和16)以前/紙・木版

屋外・ホール彫刻

林 範親/路地裏/1994/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤忠良/若い女・シャツ/1982/ブロンズ

エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ

マリノ・マリーニ/騎手/1956-1957/ブロンズ

井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989/ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装*

★ = 展示期間 9月30日～11月10日

☆ = 展示期間 11月11日～12月24日



④ 「第IV期常設展」

会期：平成30年1月6日(土)～3月11日(日)

内容：・酒井三良と日本画の名品：下村観山《寒空》など

・朝倉撰の日本画：《おんな》《ズリ山》など

・いわきの絵画：田口安男《焰から焰へ》など

・それぞれの黒あるいは闇：鏑木昌弥、秀島由己男

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考(※は寄託作品)]

展示室A

【酒井三良と日本画の名品】

酒井三良/雪に埋もれつつ正月はゆく/1919(大正8)/絹・岩絵具など

酒井三良/左義長/1920(大正9)/絹・岩絵具など

下村寒山/寒空/1923(大正12)/絹・墨、岩絵具など

速水御舟/晩冬の桜/1928(昭和3)/紙・墨など

村上華岳/早春風景/1919(大正8)頃/絹・岩絵具など

湯田玉水/寒村暮雪/1926-28(大正15-昭和3)/絹・墨、水干絵具など

湯田玉水/霜風千林図/1926(大正15)/絹・墨、水干絵具など

森田恒友/葛飾野/1930(昭和5)/紙・墨、岩絵具など

【斎藤清の墨画】

斎藤 清/会津の冬、西会津・下安座/1982(昭和57)/和紙・墨など
 斎藤 清/会津の冬、柳津・大野(4)/1983(昭和58)/和紙・墨など
 斎藤 清/会津の冬、坂下町南裏通り(4)/1984(昭和59)/和紙・墨など

斎藤 清/会津の冬、柳津駅/1985(昭和60)/和紙・墨など

【現代の日本画】

福田豊四郎/春を待つ/1930(昭和5)/絹・岩絵具など
 菊地養之助/煙突の下の子供達/1956(昭和31)/和紙・岩絵具など
 黒沢吉蔵/煙突/1956(昭和31)/和紙・岩絵具、金箔など
 黒沢吉蔵/起重機/1956(昭和31)/和紙・岩絵具、金箔など
 太田正弘/北壁/1963(昭和38)/和紙・岩絵具など

【新収蔵・朝倉撰の日本画】

朝倉 撰/おんな/1955(昭和30)頃/カンヴァス・岩絵具
 朝倉 撰/寮/1952(昭和27)年/カンヴァス・岩絵具
 朝倉 撰/三人/1956(昭和31)年/カンヴァス・岩絵具
 朝倉 撰/スコップと石炭袋/1956(昭和31)頃/カンヴァス・岩絵具
 朝倉 撰/炭鉱風景/1956(昭和31)頃/カンヴァス・岩絵具
 朝倉 撰/ズリ山/1956(昭和31)/カンヴァス・岩絵具
 朝倉 撰/1960-6月(内部への挑戦)/1960(昭和35)年/紙・岩絵具
 朝倉 撰/[屏風]/1964(昭和39)/紙・岩絵具
 朝倉 撰/[寮2]/1952(昭和27)頃/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[朝倉響子像]/1943(昭和18)/紙・水彩
 朝倉 撰/[おんな2]/1955(昭和30)頃/紙・コンテ
 朝倉 撰/[おんな3]/1955(昭和30)頃/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[おんな6]/1955(昭和30)頃/紙・コンテ
 朝倉 撰/[おんな4]/1955(昭和30)頃/紙・インク
 朝倉 撰/[屏風下絵2]/1964(昭和39)頃/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[女性像(かご)]/1950年代/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[女性像]/1950年代/紙・鉛筆
 朝倉 撰/スケッチブック(東北)/1950年代/紙・鉛筆
 朝倉 撰/スケッチブック(ズリ山、米国基地、魚市場)/1950年代/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[炭坑夫(2図)]/1955-56(昭和30-31)/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[炭坑夫(座像)]/1955(昭和30)頃/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[炭坑夫(カンテラ)]/1955(昭和30)頃/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[ズリ山]/1955(昭和30)/紙・鉛筆
 朝倉 撰/[トロッコ風景]/1955(昭和30)頃/紙・鉛筆

展示室B

【いわきの洋画 若松光一郎と田口安男】

若松光一郎/北国の記念碑/1966(昭和41)/カンヴァス・和紙、カゼインカラー、墨、他
 若松光一郎/浮遊/1974(昭和49)/カンヴァス・コラーージュ
 若松光一郎/オートノミー1/1979(昭和54)/カンヴァス・和紙、カゼインカラー、墨、他
 若松光一郎/COMPOSITION 30.8.82/1982(昭和57)/カンヴァス・和紙、カゼインカラー、墨、他
 田口安男/リズム 周期性と対称性について-C/1956(昭和31)/カンヴァス・油彩
 田口安男/回転と移行/1957(昭和32)/カンヴァス・油彩
 田口安男/ネガチープなひろがり/1959(昭和34)/カンヴァス・油彩
 田口安男/夜をさぐる/1977(昭和52)/カンヴァス・油彩
 田口安男/季節を通り抜けて(眼の影)(夢から紡ぎ)(彼方へ)/

1980(昭和55)/パネル・卵黄テンペラ

田口安男/波から焔へ-B-/1982(昭和57)/カンヴァス・油彩、テンペラ

田口安男/波から焔へ-A-/1982(昭和57)/カンヴァス・油彩、テンペラ

田口安男/みもぎの手/1984(昭和59)/カンヴァス・油彩、テンペラ

田口安男/もちあい三つ手/1984(昭和59)/パネル・油彩、テンペラ

田口安男/夢から紡ぎ 下図/1980(昭和55)頃/紙・ボールペン、色鉛筆、サインペン

田口安男/波から焔へB 下図/1982(昭和57)/紙・鉛筆、色鉛筆

田口安男/季節を通り抜けて 下図1/1980(昭和55)頃/紙・鉛筆

田口安男/季節を通り抜けて 下図2/1980(昭和55)頃/紙・鉛筆

田口安男/墨のドローイング(樹枝)3/制作年不詳/紙・墨

田口安男/墨のドローイング(樹枝)1/制作年不詳/紙・墨

田口安男/墨のドローイング(樹枝)2/制作年不詳/紙・墨、鉛筆

田口安男/風景』2002(平成14)頃/紙・水彩、パステル

田口安男/風景(オーストラリア)/2002(平成14)/紙・水彩、パステル、鉛筆

田口安男/てふてふ/1985-1990(昭和60-平成2)/紙・水彩・鉛筆

田口安男/無題/2012-14(平成24-26)/紙・水彩・鉛筆

田口安男/連星手眼/制作年不詳/紙・水彩・鉛筆

田口安男/手を織る手/2012(平成24)/紙・水彩・鉛筆

田口安男/無題/制作年不詳/紙・水彩・鉛筆

田口安男/無題/制作年不詳/紙・水彩・鉛筆

田口安男/無題/制作年不詳/紙・水彩・鉛筆

田口安男/無題/制作年不詳/紙・水彩・鉛筆

田口安男/無題/2013(平成25)/紙・水彩・鉛筆

【1918年の絵画】

萬鉄五郎/庫/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

清水登之/十四番街の地下鉄駅/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

関根正二/真田吉之助夫妻像/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

関根正二/一本杉の風景/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

関根正二/姉弟/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

展示室C

ヘンリー・ムーア/母と子:腕/1980/ブロンズ

【フランス美術の名品】

カミーユ・コロー/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ一家へ向かう池沿いの道/1873/カンヴァス・油彩

クロード・モネ/ジヴェルニーの草原/1890/カンヴァス・油彩

ピエール=オーギュスト・ルノワール/帽子を被る女/制作年不詳/カンヴァス・油彩

【アメリカの絵画】

アンドリュー・ワイエス/ガニング・ロックス/1966/紙・水彩

アンドリュー・ワイエス/ドイツ人の住むところ/1973/紙・水彩

アンドリュー・ワイエス/そよ風/1978/紙・水彩

アンドリュー・ワイエス/冬の水車小屋/1978/紙・水彩

ベン・シャーン/恐怖の夜の町/1951/ボード・グアッシュ、テンペラ

ベン・シャーン/ラッキードラゴン/1960/綿布・テンペラ

ベン・シャーン/『久保山とラッキードラゴン伝説』/1965/書籍

ベン・シャーン/創造のアルファベット/1963/紙・グアッシュ

ベン・シャーン/詩篇133/1963/紙・リトグラフ

ベン・シャーン/伝道の書/1966/紙・セリグラフ

ベン・シャーン／リルケ「マルテの手記」より：一行の詩のためには
 …／1968／紙・リトグラフ
 扉1／多くの物事を／まだ知らぬ国々の道を／心を悲しませてしまっ
 た両親を／海そのものの姿／白衣の中に眠りおちて回復をまつ産後の
 女

展示室D

【それぞれの黒あるいは闇】

鎌木昌弥／風のある橋／1971(昭和46)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／それは次第に集まり、生まれ、われわれのまゝにあらわれて
 くるのです／1970(昭和45)／紙・鉛筆、フロッタージュ
 鎌木昌弥／神かもしれない／1970(昭和45)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／汀／1970(昭和45)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／空中の窓／1971(昭和46)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／測量技師の空／1971(昭和46)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／渡し守りのロマン／1971／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／苦しい魚／1973(昭和48)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／涯／1973(昭和48)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／たのしみの精／1975(昭和50)／紙・鉛筆、銀色鉛筆
 鎌木昌弥／流れと流体現象／1975(昭和50)／紙・鉛筆
 鎌木昌弥／走力とふりかえり(鬼?)／1975／紙・コンテ
 秀島由己男／風の舟A／1981(昭和56)／紙・メゾチント
 秀島由己男／詩画集『静物考』1985(昭和60)／紙・メゾチント
 paper ballon / melon / cabbage / shell / winter cherry / myself
 平野 充／『平野充作品集』／1999(平成11)／特殊紙・油彩／*川妻
 さち子氏寄託
 平野 充／[無題]／1975(昭和50)／アート紙・油彩／*川妻さち子
 氏寄託
 平野 充／[無題]／1977(昭和52)／アート紙・油彩／*川妻さち子
 氏寄託
 平野 充／[無題]／1974(昭和49)／アート紙・油彩／*川妻さち子
 氏寄託
 平野 充／[無題]／2006(平成18)／アート紙・油彩／*川妻さち子
 氏寄託
 平野 充／『祈祷書 平野充詩画集』／1999(平成11)／書籍／*川妻
 さち子氏寄託

屋外・ホール彫刻

林 範親／路地裏／1994／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良／若い女・シャツ／1982／ブロンズ
 エミリオ・グレコ／スケートをする女／1951／ブロンズ
 マリノ・マリーニ／騎手／1956-1957／ブロンズ
 井上武吉／My Sky Hole 89-2／1989／ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ／歩く花／1952-53 原型作成／ブロンズ・エナメ
 ル塗装／*



⑤ 「(平成30年度)第1期常設展」

会期：平成30年3月24日(土)～6月30日(日)

内容：・春の日本画：酒井三良《江南春色》など

- ・関根正二と近代の洋画：《姉弟》《神の祈り》など
- ・池袋モンパルナス：麻生三郎、井上長三郎、吉井忠ほか
- ・齋藤隆《貌》

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考(*は寄託作品)]

展示室A

【春の日本画】

伊東深水／春光／1922(大正11)頃／絹本着色(絹・岩絵具など)、軸
 装
 長野草風／麦踏／制作年不詳／絹本着色(絹・岩絵具など)、軸装
 尾竹竹坡／蔬菜園／大正末-昭和初期／絹本墨画、軸装
 須田瑛中／梅吹く夜／制作年不詳／絹本着色(絹・岩絵具など)、軸装
 湯田玉水／春日遅々／1922(大正11)／絹本墨画淡彩(絹・墨、水干絵
 具など)、軸装
 酒井三良／江南春色／1940(昭和15)／紙本墨画淡彩(和紙・墨、水干
 絵具など)、軸装
 小茂田青樹／薫房／1927(昭和2)／紙本着色(和紙・岩絵具など)、屏
 風二曲一双
 小川芋銭／鍾馗図／1915(大正4)／絹本墨画淡彩(絹・墨、水干絵具)
 ／*
 酒井三良／帰樵／1930(昭和5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など)／
 *
 酒井三良／雨はれ／1930(昭和5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など)
 ／*
 酒井三良／そばの秋／1930(昭和5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など)
 ／*
 酒井三良／雪暮／1930(昭和5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など)／
 *
 常盤大空／風薫る／1965(昭和40)／麻布着色(麻布・岩絵具など)
 康 端倪／春囃抄／1967(昭和42)／麻布着色

【関根正二と近代の洋画】

安井曾太郎／テーブルの上／1912(大正元)／カンヴァス・油彩
 関根正二／姉弟／1918(大正7)／カンヴァス・油彩
 関根正二／神の祈り／1918(大正7)頃／カンヴァス・油彩
 小出楯重／けしの花／1926(大正15)／紙・グアッシュ
 川口軌外／柘榴／1932(昭和7)／カンヴァス・油彩

【日本人画家が魅せられたヨーロッパ】

長谷川潔／サン＝ポール＝ド＝ヴァンスの風景／1936(昭和11)／紙・
 銅版
 齋藤 清／パリ(2)／1961(昭和36)／紙・木版
 齋藤 清／パリ(4)／1961(昭和36)／紙・木版
 久野修男／南仏風景(2)／1980(昭和55)／カンヴァス・油彩
 斑目秀雄／サランシュのモンブラン／1970(昭和45)／カンヴァス・油
 彩
 西田藤次郎／グラン・プラス広場／1972(昭和47)／カンヴァス・油彩
 鳩川誠一／フォロ・ロマノ／1969(昭和44)／カンヴァス・水彩
 鳩川誠一／サン・マルコのカフェ／1967(昭和42)／カンヴァス・油彩
 渡辺良雄／城壁のある町／1992(平成4)／カンヴァス・油彩
 土橋 醇／スペインの幻想／1973(昭和48)／板・油彩・コラージュ
 五十嵐二郎／アクロポリス／1972(昭和47)／カンヴァス・水彩

桑原 実/アテネ/ 1971(昭和 46)/カンヴァス・油彩

展示室 B

【池袋モンパルナス】

- 麻生三郎/裸婦/ 1956(昭和 31)/紙・水彩/河野保雄コレクション
 麻生三郎/裸婦/ 1956(昭和 31)/紙・水彩/河野保雄コレクション
 麻生三郎/街と人/ 1959(昭和 34)/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 麻生三郎/家族/ 1959(昭和 34)/カンヴァス・油彩
 井上長三郎/農家(ミンスク)/ 1956(昭和 31)/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/ストックホルム/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/伊太利風景/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/花/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/ドン・キホーテ/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 鈴木新夫/働く人(A)/ 1969(昭和 44)/カンヴァス・油彩
 中谷 泰/炭坑町/ 1963(昭和 38)/カンヴァス・油彩
 寺田政明/谷中風景/ 1929(昭和 4)/ボール紙・油彩
 寺田政明/船溜まり(焼津)/ 1980(昭和 55)/カンヴァス・油彩
 寺田政明/対話/ 1963(昭和 38)/カンヴァス・油彩
 糸園和三郎/夜/ 1973(昭和 48)/カンヴァス・油彩
 鶴岡政男/マスク(仮面)/ 1954(昭和 29)/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 鶴岡政男/人/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 吉井 忠/シャルトルの風景/ 1937(昭和 12)/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 吉井 忠/空の祭壇/ 1937(昭和 12)/カンヴァス・油彩
 吉井 忠/赤い風景/ 1939(昭和 14)/カンヴァス・油彩
 吉井 忠/森林帯/ 1938(昭和 13)/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 吉井 忠/くるみを割る自画像/ 1941(昭和 16)/カンヴァス・油彩
 吉井 忠/麦の穂を持つ女/ 1941(昭和 16)/カンヴァス・油彩
 吉井 忠/街/ 1949(昭和 24)/カンヴァス・油彩
 吉井 忠/とかげとふくろう/ 1958(昭和 33)/カンヴァス・油彩
 吉井 忠/老農夫/ 1964(昭和 39)/カンヴァス・油彩
 須田国太郎/ダロカ古城(城外)/ 1922(大正 11)/カンヴァス・油彩/*
 三岸好太郎/婦人像/ 1931(昭和 6)頃/紙・グアッシュ/*
 長谷川利行/川のある風景/ 1929(昭和 4)/紙・水彩/*
 長谷川利行/風景/制作年不詳/板・油彩/*
 長谷川利行/力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション
 長谷川利行/力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション
 長谷川利行/力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション

展示室 C

【印象派と海外の名品】

ピエール=オーギュスト・ルノワール/帽子を被る女/制作年不詳/カ

ンヴァス・油彩

- ポール・ゴーギャン/プルトーニュの子供/ 1889/紙・水彩、パステル
 ジョルジュ・ルオー/版画集《流れる星のサーカス》34点組より/ 1934-38/紙・アクアチント
 (17) 眠れ、よい子よ/(16) オーギュスト/(6) 小さな女曲馬師
 カミーユ・コロー/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ一家へ向かう池
 沿いの道/ 1873/カンヴァス・油彩
 カミーユ・ピサロ/エラニーの菜園/ 1899/カンヴァス・油彩
 アンドリュウ・ワイエス/松ぼっくり男爵/ 1976/ボ・ド・テンペラ
 アンドリュウ・ワイエス/農場にて/ 1988/紙・水彩
 パブロ・ピカソ/版画集《二人の裸婦》18点組より/ 1945-46/紙・リトグラフより
 (1) 1945年 11月 10日/(3) 1945年 11月 21日/(7) 1945年 12月 30日/(9) 1946年 1月 10日/(11) 1946年 1月 21日/(13) 1946年 1月 25日/(16) 1946年 2月 6日/(18) 1946年 2月 12日
 マルク・シャガール/版画集《少年時代の思い出》10点組より 5点/ 1958/紙・銅版
 ヘンリー・ムーア/母と子：腕/ 1980/ブロンズ

展示室 D

【齋藤隆《貌》】

- 齋藤 隆/貌 I/ 2003(平成 15)/紙本墨画
 齋藤 隆/貌 II/ 2003(平成 15)/紙本墨画
 齋藤 隆/貌 III/ 2003(平成 15)/紙本墨画
 齋藤 隆/貌 IV/ 2003(平成 15)/紙本墨画
 齋藤 隆/貌 V/ 2003(平成 15)/紙本墨画
 齋藤 隆/貌 VI/ 2005(平成 17)/紙本墨画
 齋藤 隆/貌 VII/ 2005(平成 17)/紙本墨画

屋外・ホール彫刻

- 林 範親/路地裏/ 1994/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ/ 1982/ブロンズ
 エミリオ・グレコ/スケートをする女/ 1951/ブロンズ
 マリノ・マリーニ/騎手/ 1956-1957/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/ 1989/ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花/ 1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装/*



(2) 移動美術館

当館所蔵作品の一部を、県内の文化施設で公開展示する事業で、開催館との協働でテーマ、作品選定から実務までを行う。

今年度は富岡町の文化交流センター学びの森で開催した。

ア 「世界／日本／福島の名作展」



A3リーフレット



展示風景

会期：平成29年11月8日(水)～22日(水)

会場：富岡町文化交流センター学びの森 小ホール
(双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1)

開館時間：9時30分～17時

休館日：11月18日(土)、19日(日)

展示作品：40点

観覧料：無料

観覧者数：346名

担当：伊藤 匡

主催：富岡町、富岡町教育委員会、福島県立美術館

後援：福島民報社、福島民友新聞社、福島中央テレビ

概要：

東日本大震災発生から6年後の2017年4月、富岡町は帰町宣言した（帰還困難区域を除く）。当館では被災地域復興支援として「移動美術館」を提案し、同町でも地域活性化事業の一つとしてこれを受け入れた。会場となった文化交流センターは、震災で大きな被害を受けたが、その後の改修工事で使用可能な状態まで復旧していた。

展示内容は同町の希望をもとに展示構成を図り、ロダン、ルノワール、シャガール、ルオーら世界の名作、佐藤忠良や舟越保武ら日本を代表する彫刻家、福島県にゆかりのある齋藤清や富岡高校の校長を勤めたことがある渡辺良雄の作品など40点を展示した。

移動展開催当時の同町の帰町人口は304人だが、展示会はこれを上回る346人の観覧者があった。

関連事業：

・県立美術館学芸員による展示解説

日時：11月12日(日) 13時～14時

講師：伊藤 匡（当館専門員） 参加者：10名

◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/寸法 (cm)]

- 1/オーギュスト・ロダン/〈影〉の頭部/不詳/ブロンズ/67.8×36.0×39.2/石原コレクション
- 2/オーギュスト・ルノワール/帽子を被る女/不詳/カンヴァス・油彩/30.0×25.5
- 3/ジョルジュ・ルオー/版画集《ミセレーレ》より 顔に皺を描かぬ者はいようか/1923/紙・銅版/56.6×42.8
- 4/ジョルジュ・ルオー/版画集《ミセレーレ》より 世は様々なれど荒地に種蒔くは美しき仕事/1923/紙・銅版/58.9×43.0
- 5/ジョルジュ・ルオー/版画集《ミセレーレ》より 廃墟すら滅びたり/1926/紙・銅版/57.9×44.7
- 6/ジョルジュ・ルオー/版画集《ミセレーレ》より これでお終いだよ、おやじさん!/1927/紙・銅版/59.2×43.0
- 7/ジョルジュ・ルオー/版画集《ミセレーレ》より 高慢と無信仰のこの暗き時代に地の果てより聖母は見守る/1927/紙・銅版/30.7×21.4
- 8/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より チーチコフの到着/1923-25/紙・銅版/22.0×28.6
- 9/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より 朝のお茶/1923-25/紙・銅版/22.7×29.7
- 10/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より トランプ/1923-25/紙・銅版/22.0×28.6
- 11/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より 食卓のサバケーヴィチ/1923-25/紙・銅版/21.7×28.0
- 12/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より 橋の下で拾い集めるブリューシキン/1923-25/紙・銅版/27.8×21.3
- 13/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より ゴーゴリとシャガール/1923-25/紙・銅版/27.6×21.2
- 14/マルク・シャガール/版画集《死せる魂》より 大喜びする寝間

- 着姿のチーチコフ / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.7 × 21.1
- 15 / マルク・シャガール / 版画集《死せる魂》より 賄賂 / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.1 × 27.7
- 16 / マルク・シャガール / 版画集《死せる魂》より 舞踏会にあらわれたチーチコフ / 1923-25 / 紙・銅版 / 22.0 × 27.8
- 17 / マルク・シャガール / 版画集《死せる魂》より ノズドリョーフの暴露 / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.8 × 21.1
- 18 / マルク・シャガール / 版画集《死せる魂》より やせ細った役人たち / 1923-25 / 紙・銅版 / 27.8 × 23.6
- 19 / マルク・シャガール / 版画集《死せる魂》より 夕暮れのトロイカ / 1923-25 / 紙・銅版 / 21.2 × 27.7
- 20 / マルク・シャガール / 版画集《少年時代の思い出》(4) / 1958 / 紙・銅版 / 36.9 × 27.1
- 21 / マルク・シャガール / 版画集《少年時代の思い出》(8) / 1958 / 紙・銅版 / 37.1 × 27.9
- 22 / 長谷川昇 / 練習 / 1953 / カンヴァス・油彩 / 99.9 × 80.5
- 23 / 角田磐谷 / 《福島八勝十景》より 釣師浜の朝 / 1948 頃 / 絹本着色 / 50.9 × 56.9
- 24 / 角田磐谷 / 《福島八勝十景》より 原釜海水浴場 / 1948 頃 / 絹本着色 / 50.9 × 56.9
- 25 / 角田磐谷 / 《福島八勝十景》より 松川浦の夕月 / 1948 頃 / 絹本着色 / 50.9 × 56.9
- 26 / 角田磐谷 / 《福島八勝十景》より 真野溪谷 / 1948 頃 / 絹本着色 / 50.9 × 56.9
- 27 / 角田磐谷 / 《福島八勝十景》より 磐城舞子 / 1948 頃 / 絹本着色 / 50.9 × 56.9
- 28 / 角田磐谷 / 《福島八勝十景》より 水郷植田海岸 / 1948 頃 / 絹本着色 / 50.9 × 56.9
- 29 / 森田沙伊 / マジヨリカ壺 / 不詳 / 紙本着色 / 53.5 × 33.7
- 30 / 赤堀信平 / 孫 / 1963 / ブロンズ / 31.2 × 26.7 × 26.5
- 31 / 斎藤 清 / 野仏 (田代) (3) / 1977 / 紙本墨画淡彩 / 97.0 × 67.0
- 32 / 佐藤忠良 / ジャコピン / 1977 / ブロンズ / 34.0 × 11.0 × 22.0 / 石原コレクション
- 33 / 舟越保武 / R / 1986 / ブロンズ / 29.0 × 25.0 × 27.0 / 石原コレクション
- 34 / 鈴木新夫 / ダリヤの花 / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 45.4 × 37.7
- 35 / 渡辺良雄 / 春雪 / 1969 / カンヴァス・油彩 / 129.7 × 129.7
- 36 / 永山十志夫 / 街 / 1973 / 紙本着色 / 124.1 × 94.0
- 37 / 齋藤 隆 / 貌Ⅰ / 2003 / 紙本墨画 / 90.1 × 60.1
- 38 / 齋藤 隆 / 貌Ⅲ / 2003 / 紙本墨画 / 90.0 × 60.0
- 39 / 齋藤 隆 / 貌Ⅴ / 2003 / 紙本墨画 / 90.1 × 60.1
- 40 / 齋藤 隆 / 貌Ⅶ / 2005 / 紙本墨画 / 90.2 × 60.2

2 企画展

(1) 国立西洋美術館所蔵

ミュージズ：まなざしの先の女性たち



A4 チラシ

会期：平成 29 年 4 月 22 日(土)～ 7 月 2 日(日)

分野：絵画、版画、彫刻、工芸

展示数：103 点

観覧料：一般・大学生 1,000(800) 円、高校生 600(500) 円、小・中学生 400(300) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：10,571 名

担当：坂本篤史、宮武 弘

主催：国立西洋美術館、福島県立美術館、福島県教育委員会

後援：福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしま FM

関連事業：

・講演会①「国立西洋美術館と松方コレクション」

日時：5 月 20 日(土)

講師：村上博哉氏（国立西洋美術館副館長兼学芸課長）

会場：当館講堂 参加者：60 名

・講演会②「アルカディアの女性たち：西洋美術のもうひとつの側面」

日時：6 月 24 日(土)

講師：高橋健一氏（和歌山大学准教授）

会場：当館講堂 参加者：65 名

・スライドトーク

日時：6 月 3 日(土)

講師：川瀬佑介氏（国立西洋美術館主任研究員）

会場：当館講堂 参加者：50 名

・ギャラリートーク

① 5 月 13 日(土) 参加者：23 名

② 6 月 10 日(土) 参加者：27 名

講師：坂本篤史（当館副主任学芸員）

・ワークショップ①「親子で作ろう！シルバーアクセサリー」

日時：5 月 3 日(木)

講師：竹田智美氏（PMC ギルドジャパン認定講師）

会場：美術館実習室 参加者：16 名

・ワークショップ②「リトグラフで描こう」

日時：6 月 17 日(土)、18 日(日)

講師：宮崎文子氏（版画家）

会場：美術館実習室 参加者：12 名

概要：

本展では、東京・上野の国立西洋美術館のコレクションから、女性にまつわる西洋美術の名品を 8 つのテーマに沿って展示した。ルネサンスから印象派を経て 20 世紀に至るまで約 500 年の西洋絵画（40 点）、彫刻（6 点）、版画（47 点）に加え、貴重な指輪作品（10 点）も出品された。

福島県ではあまり見る機会の少ない西洋美術（特に印象派以前）に焦点を当てた展覧会として、有意義な機会となった。なお、本展は平成 29 年度国立美術館巡回展として、その後秋田県立近代美術館に巡回した。



展示風景



村上博哉氏講演会（5/20）



高橋健一氏講演会 (6/24)



川瀬佑介氏スライドトーク (6/3)

◆出品リスト：

[No./作家名(生年-没年)/作品名/制作年/技法、材質/寸法(縦×横または高さ×幅×奥行cm)/備考]

第1章 女性作家たち

- 1/アンゲリカ・カウフマン(1741-1807)/パリスを戦場へと誘うヘクトール/1770年代/油彩、カンヴァス/81.4×112.1
- 2/マリー=ガブリエル・カペ(1761-1818)/自画像/1783年頃/油彩、カンヴァス/77.5×59.5
- 3/ヴィクトリア・デュブル(ファンタン=ラトゥール)(1840-1926)/花/不詳/油彩、カンヴァス/42.5×50.5/松方コレクション
- 4/シュザヌ・ヴァラドン(1865-1938)/体を拭く女たち/1895年/ソフトグラウンド・エッチング/29.8×19.8(画寸)
- 5/マリー・ローランサン(1885-1956)/イフィジェニー、あるいは3人の踊り子/1914年/エッチング/25.8×19.6(画寸)/内藤満枝氏より寄贈
- 6/パウラ・モダーゾーン=ベッカー(1876-1907)/鴛鳥番の女/1899-1900年/エッチング、アクアティント/25.6×20.4(画寸)
- 7/ケーテ・コルヴィッツ(1867-1945)/(5):《蜂起》、連作《農民戦争》より/1902/03年/エッチング、ドライポイント、アクアティント、布を用いたソフトグラウンド・エッチング/49.2×57.9(画寸)

第2章 母と家族

- 8/アルブレヒト・デューラー(1471-1528)/梨の聖母子/1511年/エングレーヴィング/15.7×10.7(画寸)
- 9/オラツィオ・デ・サンクティス(生没年不詳)/聖エリザベツと洗礼者聖ヨハネをともなう聖家族/1568年/エッチング、エングレーヴィング/25×19.3(画寸)
- 10/パオロ・ヴェロネーゼ(1528-1588)/聖カタリナ的神秘の結婚/1547年頃/油彩、カンヴァス/84×100
- 11/ヤーコプ・ヨルダーンス(1593-1678)/聖家族/1620年頃/油彩、

カンヴァス/116×76

- 12/カルロ・ドルチ(1616-1687)/悲しみの聖母/1655年頃/油彩、カンヴァス/82.5×67
- 13/ウジェーヌ・ドラクロワ(1798-1863)/聖母の教育/1852年/油彩、カンヴァス/46×55.5/東京国立博物館より管理換え
- 14/エミール=アントワーン・ブールデル(1861-1929)/わが子を捧げる聖母/1920年/ブロンズ/65×25×16/松方コレクション
- 15/ウジェーヌ・カリエール(1849-1906)/母と子/不詳/油彩、カンヴァス/29.3×40.4/松方コレクション
- 16/モーリス・ドニ(1870-1943)/花束を飾った食卓(マルト・ドニと二人の娘ベルナデット、アンヌ=マリー)/1904年/油彩、カルトン/17.5×37.6/ドミニク・モーリス・ドニ氏より寄贈
- 17/レオン・オーギュスタン・レルミット(1844-1925)/農民の家族/1918年頃/油彩、カンヴァス/46×38.5/松方コレクション
- 18/ジャン=フランソワ・ミレー(1814-1875)/《母の気づかい》、連作《コロー、ドーピニー、ドラクロワ、ミレー、ルソーによる40のクリシェ=グラス》より/1862年(1921年出版)/クリシェ=ヴェール(ガラス版画)/28.5×22.5(画寸)
- 19/ケーテ・コルヴィッツ(1867-1945)/失業 1909年(1918年の刷り)/エッチング、ドライポイント、アクアティント、サンドペーパー/38.2×53.5(画寸)

第3章 働く女性たち

- 20/ベルナルド・カヴァッリーノ(1616/22-1654/56頃)/ヘラクレスとオンファレ/1640年頃/油彩、カンヴァス/127×180.3
- 21/バルトロメ・エステバン・ムリーヨ(1617-1682)/聖フスタと聖ルフィーナ/1665-66年頃/油彩、カンヴァス/32×24
- 22/ジャン=バティスト・シメオン・シャルダン(1699-1779)原画、ベルナル・レビスエ(1698-1755)版刻/女家庭教師/1739年/エッチング、エングレーヴィング/37.4×27.2(紙寸)
- 23/ジャン=バティスト・シメオン・シャルダン(1699-1779)原画、シャルル=ニコラ・コシャン(父)(1688-1754)版刻/洗濯女/1739年/エッチング、エングレーヴィング/28×31(紙寸)
- 24/ジョヴァンニ・セガンティーニ(1858-1899)/風笛を吹くブリアンツァの男たち/1883-85年頃/油彩、カンヴァス/107.2×192.2/旧松方コレクション
- 25/カミーユ・ピサロ(1830-1903)/立ち話/1881年頃/油彩、カンヴァス/65.3×54/松方コレクション
- 26/カミーユ・ピサロ(1830-1903)/ポントワーズの市場/1895年頃/リトグラフ、シン・アブリケ/31.7×22.8(画寸)
- 27/ポール・セリュジエ(1864-1927)/雨傘をさした飴売り女/1893年/リトグラフ/22.3×13.7(画寸)
- 28/ヤン・トーロップ(1858-1928)/網を繕う人たち/1899年/ドライポイント/15.7×18.7(画寸)
- 29/アンリ=ジャン=ギヨーム・マルタン(1860-1943)/習作/1920年/油彩、カンヴァス/81.5×63.3/松方コレクション
- 30/エドゥアール・ヴェイヤール(1868-1940)/縫いものをするヴェイヤール夫人/1920年/油彩、カルトン/33.7×35.8/フジカワ画廊より寄贈

第4章 女性の裸体表現

- 31/ゼーバルト・バーハム(1500-1550)/パリスの審判/1546年

- ／エングレーヴィング／6.9×4.7(画寸)
- 32／モノグラミストM(生没年不詳)／虚栄と死／16世紀／エングレーヴィング／35.6×25.1(画寸)
- 33／ガイド・レーニ(1575-1642)／ルクレティア／1636-38年頃／油彩、カンヴァス／101.5×82
- 34／ウィリアム・アドルフ・ブーグロー(1825-1905)／音楽／油彩、カンヴァス／1855-56年頃／116×172
- 35／ギュスターヴ・クールベ(1819-1877)／もの思うジプシー女／1869年／油彩、カンヴァス／50.3×61／松方コレクション
- 36／ピエール＝オーギュスト・ルノワール(1841-1919)／坐る裸婦／1918年以前／油彩、カンヴァス／32.8×33.8
- 37／ピエール＝アルベール・マルケ(1875-1947)／坐る裸婦／1912年／油彩、カンヴァス／73×60.5／松方コレクション
- 38／シャルル・コッテ(1863-1924)／裸婦／不詳／油彩、カンヴァス／188×87／松方コレクション
- 39／アンリ・マティス(1869-1954)／マゲノリアのあるオダリスク／1923年／リトグラフ、和紙／30×40.2(画寸)
- 40／パブロ・ピカソ(1881-1973)／3人の浴女／1922-23年／ドライポイント／17.9×13(画寸)
- 41／パブロ・ピカソ(1881-1973)／1968年3月29日I／1968年／エッチング、ドライポイント／41.5×31.2(版寸)
- 42／オーギュスト・ロダン(1840-1917)／美しかりしオーミエール／1885-87年(原)／ブロンズ／50×31×24／松方コレクション
- 43／オーギュスト・ロダン(1840-1917)／化粧するヴィーナス／1890年頃／ブロンズ／47×27×21／松方コレクション
- 44／アリスティード・マイヨール(1861-1944)／ヴィーナスのトルソ／1925年／ブロンズ／114×47×30
- 第5章 アルカディアの女性たち
- 45／ヘンドリク・ホルツィウス(1558-1617)原画、ヤン・サーンレダム(1565頃-1607)版刻／ディアナの二人のニンフ／不詳／エングレーヴィング／22×15.9(版寸)
- 46／クロード・ロラン(1604/05-1682)／時、アポロと四季／1662年／エッチング／19.7×25.6(紙寸)
- 47／クロード・ロラン(1604/05-1682)／踊るサテュロスとニンフのいる風景／1646年／油彩、カンヴァス／98×125／文化庁より管理換え
- 48／ジョゼフ・ヴェルネ(1714-1789)／夏の夕べ、イタリア風景／1773年／油彩、カンヴァス／89×133
- 49／ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー(1796-1875)／ナボリの浜の思い出／1870-72年／油彩、カンヴァス／175×84
- 50／ラファエル・コラン(1850-1916)／詩／1899年／油彩、カンヴァス／217×135
- 51／ラファエル・コラン(1850-1916)／楽／1899年／油彩、カンヴァス／210×135
- 52／モーリス・ドニ(1870-1943)／水浴／1920年／油彩、カンヴァス／116×120.2／松方コレクション
- 第6章 恋愛・結婚一女と男の物語
- 53／アブラハム・ブルーマルト(1566-1651)原画、ヤン・サーンレダム(1565頃-1607)版刻／《知恵の木の前のアダムとエヴァ》、連作《アダムとエヴァの物語》より／不詳／エングレーヴィング／27.4×19.6(紙寸)
- 54／ジョルジョ・ギージ(1520-1582)／ヴィーナスとアドニス／1557年以降／エングレーヴィング／32.1×22.6(紙寸)
- 55／アルブレヒト・アルトドルファー(1480頃-1538)／森の中の恋人たち／1511年／エングレーヴィング／13.5×10(紙寸)
- 56／ヘンドリク・ホルツィウス(1558-1617)原画、ヤン・サーンレダム(1565頃-1607)版刻／《恋愛術を支配するヴィーナス》、連作《7つの惑星の神々》より／1596年／エングレーヴィング／25.4×17.8(紙寸)
- 57／ジャン＝アントワヌ・ヴァトー(1684-1721)原画、ジャン・モワロー(1690-1762)版刻／ラ・ミュゼット／1714年頃／エッチング／40.3×53.7(版寸)
- 58／ニコラ・ランクレ(1690-1743)／眠る羊飼女／1730年頃／油彩、カンヴァス(楕円形)／71×84.5
- 59／アンリ＝ジョセフ・アルピニー(1819-1916)／風景／1865年？／油彩、カンヴァス／24×33.3／松方コレクション
- 60／リュシアン・シモン(1861-1945)／婚礼／不詳／油彩、カンヴァス／112.3×151／松方コレクション
- 61／オノレ・ドーミエ(1808-1879)／(7)：《結婚して半年もすれば一心同体》、連作《夫婦善哉》より／1839年／リトグラフ、新聞用紙／37.1×26.3(紙寸)
- 62／オノレ・ドーミエ(1808-1879)／(18)：《なにが事務所で徹夜よ、このウソツキ男！そんなこと言っても、ちゃらちゃらした女どもとミュザールへ踊りに行くんでしょうが！...》、連作《夫婦善哉》より／1840年／リトグラフ、新聞用紙／37.6×26.1(紙寸)
- 63／オノレ・ドーミエ(1808-1879)／(25)：《月の魔法》、連作《夫婦善哉》より／1840年／リトグラフ、新聞用紙／34.9×24.9(紙寸)
- 64／ハインリッヒ・フォーゲラー(1872-1942)／愛／1896年／エッチング、アクアティント／34×36.6(画寸)
- 65／マックス・クリンガー(1858-1920)／(4)：《誘惑》、連作《ある生涯》より／1884年／エッチング、アクアティント／38.5×17.9(画寸)
- 66／マックス・クリンガー(1858-1920)／(5)：《捨てられて》、連作《ある生涯》より／1884年／エッチング、アクアティント、二色刷／27×42.6(画寸)
- 67／マックス・クリンガー(1858-1920)／(7)：《ライヴァル》、連作《ある生涯》より／1884年／エッチング、アクアティント／21.8×14.5(画寸)
- 68／オーギュスト・ロダン(1840-1917)／接吻／1882-87年頃(原型)／ブロンズ／87×51×55／松方コレクション
- 69／オーギュスト・ロダン(1840-1917)／フギット・アモール(去りゆく愛)／1887年以前／ブロンズ／36×45×20／松方コレクション
- 70／不詳／ヴィーナスの凱旋／16世紀／サードニクス、金／2×2.6×2.4／橋本貫志氏より寄贈
- 71／不詳／愛の祭壇に花を捧げるニンフ(ラブ・リング)／18世紀後半／ミニアチュール、金／3.17×2.33×2.38／橋本貫志氏より寄贈
- 72／不詳／ギメル・フェデリング／16世紀後半／エナメル、金／0.8×2.7×2.4／橋本貫志氏より寄贈
- 73／不詳／永遠の指輪／19世紀前半／ダイヤモンド、銀／0.5×2.3×2.3／橋本貫志氏より寄贈
- 74／不詳／愛の結び目／ベゼルは1846年、フープは現代／ダイヤモンド、金、銀／2×2.1×2.5／橋本貫志氏より寄贈

第7章 魔性の女

- 75 / ダフィット・テニールス (子) (1610-1690) / 聖アントニウスの誘惑 / 不詳 / 油彩、カンヴァス / 80 × 110
- 76 / アンリ・ファンタン=ラトゥール (1836-1904) / 聖アントニウスの誘惑 / 不詳 / 油彩、カンヴァス / 63.5 × 83.5 / 松方コレクション
- 77 / アルブレヒト・デューラー (1471-1528) / 魔女 / 1500年頃 / エングレーヴィング / 11.5 × 7.1 (画寸)
- 78 / マルカントニオ・ライモンディ (1480/82頃-1527/34頃)、アゴステイーノ・ヴェネツィアーノ (1490頃-1536以降) / 魔女の集会 (ストレゴツォ) / 不詳 / エングレーヴィング / 30.6 × 64.6 (紙寸)
- 79 / ヴェンデル・ディーターリン (1550/51-1599頃) 原画、マテウス・グロイター (1564/66-1638) 版刻 / ヴィーナスの力 / 1587年 / エングレーヴィング、エッチング / 21 × 30.6 (画寸)
- 80 / マールテン・ファン・ヘームスケルク (1498-1574) 原画、ウィレム・ファン・スワーネンブルフ (1580-1612) 版刻 / 《画架に向かう悪魔の右側に立つ髭のない若者》、連作《世俗財産の悪用についての寓意》より / 1609年 / エングレーヴィング 21.8 × 15.9 (画寸)
- 81 / フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス (1746-1828) / (19): 《みんなひっかかるだろう》、連作《ロス・カプリーチョス》より / 1799年 / エッチング、アクアティント (一部掻き落とし) / 21.9 × 14.5 (版寸)
- 82 / フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス (1746-1828) / (17): 《びったりよ》、連作《ロス・カプリー チョス》より / 1799年 / エッチング、アクアティント (一部掻き落とし)、エングレーヴィング / 21.8 × 15.3 (版寸)
- 83 / フランシスコ・ホセ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス (1746-1828) / (68): 《美しき女教師》、連作《ロス・カプリーチョス》より / 1799年 / エッチング、アクアティント (一部掻き落とし)、ドライポイント / 21.3 × 15 (版寸)
- 84 / マックス・クリンガー (1858-1920) / (3): 《蛇》、連作《エヴァと未来》より / 1880年 / エッチング、アクアティント / 24.8 × 12.1 (画寸)
- 85 / リュック・オリヴィエ・メルソン (1846-1920) / サロメ / 不詳 / リトグラフ、手彩色 / 34.5 × 19 (画寸) / 有限会社ガレリア・グラフィカより寄贈
- 86 / フェリシアン・ロップス (1833-1898) / 呪文 / 不詳 / ソフトグラウンド・エッチング、ドライポイント / 29.9 × 19 (画寸)
- 87 / エドヴァルド・ムンク (1863-1944) / ハルピュイア / 1900年 / リトグラフ / 36.5 × 32 (画寸)
- 88 / エドヴァルド・ムンク (1863-1944) / ヴァンパイア / 不詳 / リトグラフ / 38.7 × 55.2 (画寸)

第8章 近代都市生活と女性

- 89 / クロード・モネ (1840-1926) / エプト河の釣人たち / 1887年 / 油彩、カンヴァス / 81 × 100 / 寄託作品
- 90 / エルネスト・ローラン (1859-1929) / テラスの二人の婦人 / 1922年 / 油彩、カンヴァス / 117.5 × 101.5 / 松方コレクション
- 91 / ピエール=オーギュスト・ルノワール (1841-1919) / 風景の中の3人 / 1916年 / 油彩、カンヴァス / 65.3 × 54.3 / 文化庁より管理換え
- 92 / エドモン=フランソワ・アマン=ジャン (1858-1936) / 本を読

む女たち / 1922年 / 油彩、カンヴァス / 131 × 98.5 / 松方コレクション

- 93 / アンドレ・ドラン (1880-1954) / ジャン・ルノワール夫人 (カトリーヌ・エスラン) / 1923年頃 / 油彩、カンヴァス / 90.4 × 75.2 / 山本英子氏より寄贈
- 94 / シャルル・コッテ (1863-1924) / ムーラン=ルージュの女たち / 1892年 / 油彩、カルトン / 36.5 × 51 / 松方コレクション
- 95 / ガストン・ラ・トゥーシュ (1854-1913) / 踊り子 / 不詳 / 油彩、カンヴァス / 78 × 80.5 / 旧松方コレクション
- 96 / アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック (1864-1901) / マルセル・ランデの肖像 / 1895年 / リトグラフ / 35.7 × 27 (紙寸)
- 97 / ジュール・シェレ (1836-1932) / フォリー・ベルジェールのポスター: ロイ・フラー / 1893年 / リトグラフ / 125 × 88.5
- 98 / アルフォンス・ミュシャ (1860-1939) / 「ロレンザッチオ」のポスター: サラ・ベルナル / 1896年 / リトグラフ / 97 × 36
- 99 / ルネ・ラリック (1860-1945) / 葉のプリカジュール / 1900年頃 / 真珠、ダイヤモンド、エナメル、金 / 2.4 × 1.9 × 2.4 / 橋本貫志氏より寄贈
- 100 / リュシアン・ガイヤール (1861-1942) / トンボのプリカジュール / 1900年頃 / エメラルド、エナメル、金 / 2.9 × 2.1 × 2.1 / 橋本貫志氏より寄贈
- 101 / ジョルジュ・フーケ (1862-1957) / 真珠とエナメルの花 / 1900年頃 / 真珠、ダイヤモンド、エナメル、金 / 2.2 × 2.2 × 2.7 / 橋本貫志氏より寄贈
- 102 / ルネ・ラリック (1860-1945) / スカラベとパピルスの葉 / 1900年頃 / ファイアンス、エナメル、金 / 1.3 × 2 × 2.4 / 橋本貫志氏より寄贈
- 103 / 不詳 / マーキーズ形の指輪 / 19世紀後半 / ブラック・オパール、ダイヤモンド、金、銀 / 3.3 × 2 × 2.8 / 橋本貫志氏より寄贈

* すべて国立西洋美術館所蔵。

*No. は展覧会会場での展示順序と必ずしも一致しない。

(2) ジャック＝アンリ・ラルティエグ展

幸せの瞬間をつかまえて



A4 チラシ

会期：平成 29 年 7 月 22 日(土)～9 月 10 日(日)

分野：写真

展示数：205 点

観覧料：一般・大学生 1,000(800) 円、高校生 600(500) 円、小・中学生 400(300) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：4,142 名

担当：堀 宜雄、白木ゆう美

主催：福島県立美術館

後援：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本

特別協力：ジャック＝アンリ・ラルティエグ財団

協力：富士フィルムイメージングシステム株式会社

企画協力：コンタクト

関連事業：

- ・ゲストトーク「ラルティエグ：アマチュアから写真史の巨匠へ」
日時：8 月 6 日(日)
報告：金子隆一氏（写真史家）
会場：当館企画展示室 参加者：60 名
- ・スペシャルトーク「ラルティエグと堀内誠一のはなし」
日時：8 月 27 日(日)
報告：堀内花子氏（堀内誠一長女）
会場：当館講堂 参加者：60 名
- ・ギャラリートーク
 - ① 7 月 29 日(土) 解説：堀 宜雄（当館専門学芸員）
参加者：45 名
 - ② 8 月 19 日(土) 解説：白木ゆう美（当館学芸員）
参加者：52 名
 - ③ 9 月 8 日(金) 解説：橋本恵里（当館学芸員）
参加者：60 名
- ・ワークショップ①「チェキで撮ろう！～○○の瞬間～」
日時：7 月 30 日(土)、8 月 2 日(休)、8 月 5 日(土)
講師：美術館スタッフ 参加者：34 名
- ・ワークショップ②「どきどきわくわく！ピンホールカメラ体験」
日時：9 月 2 日(土)、9 月 3 日(日)
講師：千葉奈穂子氏（写真家） 参加者：8 名

概要：

ジャック＝アンリ・ラルティエグは、1894 年生まれのフランスの写真家。8 歳で写真と出会い、アマチュア写真家として幸せな時間を記録し続けた。裕福な家庭に育ち、20 世紀初頭のベル・エポックとよばれた時代の最先端の風俗、自動車レース、飛行機、テニス、海辺のヴァカンス、最新モード女性などが生き生きと捉えられた作品からは、郷愁と臨場感が伝わってくる。

本展ではフランス、ラルティエグ財団所蔵の幼少期から晩年までの代表作品に加え、日本初公開を含むカラー写真作品など、写真約 160 点、資料 45 点を展示し、ラルティエグが終生追い求めた幸福の姿を紹介した。

また、関連展示として、同時代の福島を中心とした芸術写真家たちの当館コレクション作品も展示し、写真愛好の広がりを見届けた。



展示風景



関連展示風景



金子隆一氏ゲストトーク (8/6)



堀内花子氏スペシャルトーク (8/27)



ギャラリートーク (8/19)



ギャラリートーク (9/8)

◆出品リスト：

[No./作品名/原板種別/プリント寸法/撮影年]

第1章 プロローグ / Chapitre 1 Prologue

- 1 / パパとママ「こんなポーズにしよう」とパパがママに言った、ボン・ド・ラルシュ、1902年/ガラス乾板、13×18cm判/235×320mm/1902年
- 2 / おばあちゃん、ママ、ジスーと愛用のカメラを手に持ったぼく（パパ撮影） プーローニュの森、パリ、1903年/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/260×295mm/1903年
- 3 / ジスーとジャック=アンリ・ラルティエグ、エッフェル塔にて（パパ撮影）、パリ、1903年/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/269×324mm/1903年
- 4 / ぼく、ボン・ド・ラルシュ（パパ撮影）、1903年/ガラス乾板、9×12cm判/258×358mm/1903年
- 5 / イエイエおばさん、小さいデデ、オーギュストおじさん、パパ、ジスー、ママとマルセル、初めて一人で撮った写真（13×18の木製カメラ）、現像はパパに手伝ってもらった/ガラス乾板、13×18cm判/258×345mm/1902年

第2章 小さな探求心 / Petit chercheur

- 6 / ぼくの空中プロペラ式水中翼船、板の上に取り付けたゴーモン社のブロックノートを使ってお風呂で撮った、シャッターはママが切った コルタンペール通り40番地、パリ/ガラス乾板、4.5×6cm判/220×290mm/1904年
- 7 / ぼくの部屋のレーシングカー・コレクション、パリ、1905年/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/240×280mm/1905年
- 8 / ポー、1912年/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/234×258mm/1912年
- 9 / ぼくの猫ジジ、コルタンペール通り40番地、パリ、1904年/ガラス乾板、4.5×6cm判/350×260mm/1904年
- 10 / ぼくの乳母デュデュ、パリ、1904年6月/ネガフィルム、6×9cm判/360×265mm/1904年
- 11 / ボン・ド・ラルシュ、1903年/ガラス乾板、13×18cm判/260×345mm/1903年
- 12 / 幽霊になったジスー、ヴィアラ・マロニエにて シャテル=ギュイヨン、1905年7月/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/260×315mm/1905年
- 13 / コルタンペール通り40番地、1905年/ガラス乾板、9×12cm判/199×269mm/1905年
- 14 / 凧、ビアリッツ 1905年/ガラス乾板、4.5×6cm判/365×247mm/1905年
- 15 / 凧、ルイとユベール・ラローズ氏、ルザ、1911年8月/ガラス乾板、9×12cm判/322×218mm/1911年
- 16 / メルリモン、ノール・パ・ド・カレ、1904年4月3日/ステレオ写真・ガラス乾板、6×13cm判/269×308mm/1904年
- 17 / メルリモン、1904年4月3日/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/273×322mm/1904年
- 18 / 「ぼくだってガブリエル・ヴォワザンみたいに飛べるんだ」とジスーが言った、メルリモン、1904年4月3日/ステレオ写真、ガラス乾板、6×13cm判/265×300mm/1904年
- 19 / ママがシーツ用に買った布をもらってジスー 22号機を製作する、ルザ、1909年4月/ガラス乾板、4.5×6cm判/230×305mm/1909年

- 20 /ジスー 23号機 ルザ、1910年8月 /ガラス乾板、4.5 × 6cm 判 / 244 × 347mm / 1910年
- 21 /ジスー 22号機の初飛行 ルザ、1909年4月 /ガラス乾板、4.5 × 6cm 判 / 268 × 366mm / 1909年
- 22 /ジスー 24号機の離陸…ピルー、ジスー、ジョルジュ、ルイ、デデ、そしてロベールも飛行を試みる、ルザ、1910年9月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 260 × 335mm / 1910年
- 23 /アメリゴ号のプロペラの風に飛ばされそうなジスー、ビュク、1911年11月9日 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 245 × 350mm / 1911年
- 24 / PIC 3号機で着陸するロベールとジェイムズと小作人、ルザ、1910年9月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 268 × 370mm / 1910年
- 25 /勢揃いした「航空チーム10番」: 風、ぼくの単葉機・PIC 3号機、ジスー 23号機、そしてジスーの新しいグライダー・ジスー 24号機、ルザ、1910年9月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 250 × 356mm / 1910年
- 26 /アントワネット号、1910年 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 274 × 176mm / 1910年
- 27 /ルーヴィエ街道の下り坂競争、パンク知らずの自転車デユカスブル号に乗るジスー (最速記録保持者)、ボン・ド・ラルシュ、1905年 /ガラス乾板、4.5 × 6cm 判 / 266 × 369mm / 1905年
- 28 /ルザ、1907年8月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 (トリミング) / 209 × 269mm / 1907年
- 29 /ルザ、1907年8月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 (トリミング) / 355 × 250mm / 1907年
- 30 /ボブのレース、ルイとジャン、ルザ、1911年9月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 255 × 360mm / 1911年
- 31 /ボブに乗るジスーとマドレーヌ・ティボー、それを見守るフォルテット夫人とタターヌとママ、ボブのレース、ルザ、1911年9月20日 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 222 × 340mm / 1911年
- 32 /シモーヌ、ルザ、1913年9月 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 270 × 300mm / 1913年
- 33 /レーシングカー「ドラージュ」、A.C.F. グランプリ、ル・トレポー、1912年6月26日 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 225 × 340mm / 1912年
- 34 /時速80キロでドライブ中のパパ、1913年3月 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 270 × 291mm / 1913年
- 35 /アカシア大通りを行くレーシングカー「サンジュール」、パリ、1912年6月5日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 245 × 318mm / 1912年
- 36 /ガイオン街道、1912年 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 250 × 330mm / 1912年
- 37 /レーシングカー「リオン・ブジョー」に乗るルイとジスー、ガイオンからパリへの帰り道、1912年10月6日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 260 × 295mm / 1912年
- 38 /ルザ、1911年9月23日 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 250 × 350mm / 1911年
- 39 /兎と雌鶏を乗せるジスー製作のルーピング、ルザ、1911年 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 (トリミング) / 355 × 250mm / 1911年
- 40 /いとこのピショナード、コルタンペール通り40番地、パリ、1905年 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 235 × 290mm / 1905年
- 41 /シャテル・ギュイヨン、1905年 /アルバムに貼られた写真から複写 / 370 × 266mm / 1905年
- 42 /ルザ、1908年8月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 225 × 155mm / 1908年
- 43 /ジスー、ルザ、1908年7月 /ガラス乾板、4.5 × 6cm 判 / 380 × 269mm / 1908年
- 44 /われらが椅子跳びチャンピオンのオレオ・ヴァン・ヴェルス (ピショナードの弟)、ルザ、1908年 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 245 × 280mm / 1908年
- 45 / 1911年 デデ、ルザ、1911年 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 250 × 345mm / 1911年
- 46 /フォルテット氏 (呼び名はプリット) と彼の犬チュピー、パリ、1912年3月24日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 235 × 265mm / 1912年
- 47 /ジスー、ルザ、1911年 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 300 × 235mm / 1911年
- 48 /シャルリーとリコとシム、ルザ、1913年9月 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 463 × 338mm / 1913年
- 49 /ルザのプールでジャンまたはルイがぼくのカメラで撮った写真、ルザ、1911年9月 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 272 × 293mm / 1911年
- 50 /ジャン、ルザ、1911年 /ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 263 × 356mm / 1911年
- 51 /いとこのシモーヌ・ルーセル、フォレ・ド・マルリー、1913年 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 210 × 233mm / 1913年
- 52 /ゴロとシモーヌ、フォレ・ド・マルリー、1913年5月1日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 210 × 230mm / 1913年
- 53 /ゴロとシモーヌ、フォレ・ド・マルリー、1913年5月1日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 210 × 230mm / 1913年
- 54 /フォルテット夫人とデデとシモーヌ フォレ・ド・マルリー、1913年5月1日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 270 × 300mm / 1913年
- 55 /ジスーが雪に残した人型 サンモリッツ、1913年1月24日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 269 × 287mm / 1913年
- 56 /「クレスター・ラン」でのスケルトン競技、ぼくとジスーの影、サンモリッツ、1913年2月5日 /ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 272 × 293mm / 1913年
- 57 /パパとママ、ポー、1912年冬 /ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6 × 13cm 判 / 200 × 220mm / 1912年
- 58 /ぼくの二輪のボブに乗るシモーヌ・ルーセル、ルザ、1913年9月 /ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6 × 13cm 判 / 186 × 220mm / 1913年
- 59 /シャルル・サミュエル夫人、ルザ、1914年7月 /ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6 × 13cm 判 / 207 × 220mm / 1914年
- 60 /フォルテット夫人、リコ、ぼく、シム、マニクとママ、ルザ、1913年9月 /ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6 × 13cm 判 / 188 × 220mm / 1913年
- 61 /フランス・フィギュアスケート選手権優勝者のフランシス・ピグロン、ぼく、医師のアンドレ、ジェルメーヌ・ピグロン、ベルグ、イヴォヌヌ・ブルジョワと友人、シャモニー、1914年 /ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6 × 13cm 判 / 187 × 220mm

／1914年

第3章 人生のアルバム / L'Album d'une vie

- 62 / マルディ=グラの仮装をしたブブット、ルイ、ロベールとジスー、パリ、1903年 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 223 × 267mm / 1903年
- 63 / ポン・ド・ラルシュ、1904年 / ネガフィルム、6 × 9cm 判 / 243 × 348mm / 1904年
- 64 / ぼくと猫のジジ、ぼくのゴーモン社のブロックノートを使って乳母のデュデュがシャッターを切った コルタンペール通り40番地、パリ、1904年 / ガラス乾板、4.5 × 6cm 判 / 270 × 370mm / 1904年
- 65 / ギッティ (フォルテット氏のいとこ、マルゲリート・ブカール)、ビアリッツ、1905年 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 325 × 235mm / 1905年
- 66 / いとこのカロとプラントヴィーニュ氏、ヴィレルヴィル、1906年 / ネガ・フィルム、9 × 12cm 判 / 210 × 463mm / 1906年
- 67 / いとこのポールとカロとシム フォレ・ド・マルリー、1912年4月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 226 × 299mm / 1912年
- 68 / パリ、1912年 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 242 × 313mm / 1912年
- 69 / 「アンナ・ラ・プラドヴィナ」と呼ばれたアルレット・プレヴォ、連れている犬はシシとゴゴ ブーローニュの森大通り、パリ、1911年1月15日 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 251 × 350mm / 1911年
- 70 / アカシア大通り、パリ、1911年5月 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 360 × 251mm / 1911年
- 71 / ドラッグ競馬の日、オートウイユ競馬場にて、パリ、1911年6月23日 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 275 × 365mm / 1911年
- 72 / ドラッグ競馬の日、オートウイユ競馬場にて、パリ、1911年6月23日 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 335 × 244mm / 1911年
- 73 / 戦争…? パリ、1914年8月1日 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 260 × 360mm / 1911年
- 74 / 練習中のシュザンヌ・ランラン ニース、1915年 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 158 × 238mm / 1915年
- 75 / サン・クルーのスタジアムでのテニス世界選手権、ゴベールがフロイツァイム (元世界チャンピオン) を6-3、6-3、6-3 で破る、パリ、1913年6月13日 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 216 × 238mm / 1913年
- 76 / シュザンヌ・ランラン、ニース、1921年5月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 272 × 324mm / 1921年
- 77 / フランシス・ピグロンとオステルターグとアルペール・エイド、シャモニー、1918年 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 272 × 308mm / 1918年
- 78 / ジャン・ダリがぼくのカメラで撮影したぼくの写真、ヴィラクプレー、1916年11月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 269 × 288mm / 1916年
- 79 / ウェディングドレスを着たビビ、パリ、1919年12月17日 / アルバムの写真から複写 / 262 × 210mm / 1919年
- 80 / ビビとぼく (鏡の中)、新婚旅行、オテル・デザルブにて、シャモニー、1920年1月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 254 × 279mm / 1920年

- 81 / ビビ、シャモニー、1920年 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 342 × 272mm / 1920年
- 82 / ビビとロロとジュルシェ、体操の時間、パリ、1921年11月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 273 × 318mm / 1922年
- 83 / ビビと11ヶ月のダニ、ルザ、1922年7月 / ネガフィルム、24 × 36mm 判 / 275 × 218mm / 1922年
- 84 / ダニ、エクス・レ・バン、1925年8月 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 365 × 169mm / 1925年
- 85 / クリスマスのラルティーグ一家、ジスー、オデット、ママ、ダニ、パパ、ビビとぼく、パリ、1925年12月25日 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 210 × 463mm / 1925年
- 86 / セルフポートレート、ルザ、1923年7月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 210 × 352mm / 1923年
- 87 / ダニとぼく、ぼくのアトリエにて、パリ、1928年3月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 120 × 285mm / 1928年
- 88 / トビー、1923年 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 345 × 270mm / 1923年
- 89 / 眠るダニ、カンヌ、1929年3月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 211 × 369mm / 1929年
- 90 / サラ、アンティープ岬、1918年5月 / ネガフィルム、6 × 9cm 判 / 250 × 372mm / 1918年
- 91 / イヴォンヌとココとビビ、ロワイヤン、1924年7月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 272 × 295mm / 1924年
- 92 / ナナとビビとダニ、アンダイエ、1927年7月 / ネガフィルム、9 × 15cm 判 / 369 × 211mm / 1927年
- 93 / ビビとミシェル・ヴェルリー、エクス・レ・バンの湖、1928年5月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 273 × 296mm / 1928年
- 94 / ヴェラとアルレット、カンヌ、1927年5月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 193 × 374mm / 1927年
- 95 / スージー・ヴェルノン、ロワイヤン、1926年9月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 260 × 260mm / 1926年
- 96 / ニースの嵐、1925年2月11日 / ネガフィルム、4.5 × 6cm 判 / 220 × 356mm / 1925年
- 97 / ソランジュ・ダヴィッド、パリ、1929年12月 / ガラス乾板、9 × 12cm 判 / 340 × 240mm / 1929年
- 98 / 自動車「イスパノ・スイザ」でウルガートへ向かう途中、ビビ、ママと運転手のジャン、1927年4月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 167 × 358mm / 1927年
- 99 / フィリップ・ド・ロチルド男爵、アンティープのグランプリ・レース、1929年5月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 160 × 339mm / 1929年
- 100 / ラルティーグの家族と自動車「イスパノ・スイザ」 ルルー通り、パリ、1922年 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 331 × 272mm / 1922年
- 101 / 映画「ブクレット」撮影中のギャビー・デスリーズ、カジノ・ド・パリにて、パリ、1918年2月 / ステレオ写真、ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 222 × 236mm / 1918年
- 102 / バロンセリ監督の映画「火」の撮影、エビネー、1926年12月 / ガラス乾板、6 × 13cm 判 / 289 × 128mm / 1926年
- 103 / アリーヌ姫、映画「ボゾール王の冒険」の撮影中、アンティープ岬、1932年 / ネガフィルム、9 × 12cm 判 / 327 × 242mm / 1932年
- 104 / ミミ・ド・フェネス、カンヌ、1933年 / ネガフィルム、6 ×

- 9cm判/350×250mm/1933年
- 105/アンパサドールの間：ぼくが初めて参加した晩餐会「花と蝶」、カジノ・ド・カンヌにて、1935年1月/ネガフィルム、9×12cm判/155×268mm/1935年
- 106/ルネ・ペルル、ピアリッツ、1930年8月/ガラス乾板、9×12cm判/320×259mm/1930年
- 107/ルネ、バスク地方、1930年/ガラス乾板、9×12cm判/370×270mm/1930年
- 108/ルネ、ジュアン・レ・パン、1931年2月/ガラス乾板、6×9cm判/248×295mm/1931年
- 109/「パーム・ビーチ」のルネ、カンヌ、1931年8月/ネガフィルム、9×15cm判/210×358mm/1931年
- 110/ダニとぼくとルネ、エクス・レ・パン 1930年6月/ガラス乾板、6×13cm判/210×358mm/1930年
- 111/ココ、ワイスワイレル氏の別荘「アルタナ」にて、アンティープ、1936年3月/ネガフィルム、9×12cm判/266×369mm/1936年
- 112/ダニとミシオンとポビー、フリボール・クラブにて、カンヌ、1936年5月/ネガフィルム、6×6cm判/220×270mm/1936年
- 113/ダニとその息子、パリ、1944年/ネガフィルム、6×6cm判/298×200mm/1944年
- 114/パリ解放の日のダニとヴァンサンのもう一枚、ムーラン・ルージュにて、パリ、1944年/ネガフィルム、6×6cm判/375×250mm/1944年
- 115/フロレット・オルメア、1943年/ネガフィルム、6×6cm判/286×269mm/1943年
- 116/フロレット、パリ、1944年1月/ネガフィルム、6×6cm判/269×339mm/1944年
- 117/ピカソ邸、カンヌ、1955年8月/ネガフィルム、6×6cm判/279×277mm/1955年
- 118/自邸のピカソ、カンヌ、1955年8月/ネガフィルム、6×6cm判/220×217mm/1955年
- 119/リチャード・アヴェドン、ニューヨーク、1966年/ネガフィルム、6×6cm判/156×158mm/1966年
- 120/リチャード・アヴェドン、パリ、1968年4月/ネガフィルム、24×36mm判/142×208mm/1968年
- 121/フォッシュ大通り、1965年/ネガフィルム、6×6cm判/270×260mm/1965年
- 122/まだ、ぼくの影がある間に、サンモリッツ、1980年2月/ネガフィルム、24×36mm判/345×234mm/1980年
- 127/ビビ、ルザ、1920年4月/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/195×220mm/1920年
- 128/ビビ、アンティープ岬、1920年5月/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/199×220mm/1920年
- 129/ビビとジェルメーヌ・シャロム、カンヌ、1927年/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/193×210mm/1927年
- 130/サントノラ島のビビ、カンヌ、1927年/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/193×220mm/1927年
- 131/フロレット、ヴァンス、1954年5月/リバーサルフィルム、6×6cm判/356×360mm/1954年
- 132/フロレットの手、プリー・ル・ネフィエ、1961年6月/リバーサルフィルム、6×6cm判/219×220mm/1961年
- 133/フロレット、1956年/リバーサルフィルム、6×6cm判/320×310mm/1956年
- 134/「モーガン」に乗るフロレット、プロヴァンス、1954年5月/リバーサルフィルム、6×6cm判/332×310mm/1954年
- 135/ジャクリーヌ・ロックとピカソ、ジャン・コクトー、フランシーヌとカロール・ワイスワイレル、前列に座っているのはフロレット、闘牛場、ヴァロリス、1955年/リバーサルフィルム、6×6cm判/280×270mm/1955年
- 136/ピカソ邸「ラ・カリフォルニー」のフロレット、カンヌ、1955年8月/リバーサルフィルム、6×6cm判/219×210mm/1955年
- 137/フロレット、オピオ、1960年4月/リバーサルフィルム、6×6cm判/310×310mm/1960年
- 138/オピオ、1968年/リバーサルフィルム、24×36mm判/251×168mm/1968年
- 139/フロレット、ピオッツォ、1956年/リバーサルフィルム、6×6cm判/282×270mm/1956年
- 140/フロレット、ピオッツォ、1960年/リバーサルフィルム、6×6cm判/280×279mm/1960年
- 141/シルヴァナ・エンパン、ジュアン・レ・パン、1961年8月/リバーサルフィルム、6×6cm判/218×220mm/1961年
- 142/オピオ、1963年/リバーサルフィルム、6×6cm判/283×272mm/1963年
- 143/メジェーヴ、1961年/リバーサルフィルム、6×6cm判/210×210mm/1961年
- 144/メジェーヴ、1964年2月/リバーサルフィルム、6×6cm判/376×359mm/1964年
- 145/フロレット、メジェーヴ、1965年3月/リバーサルフィルム、6×6cm判/209×210mm/1965年
- 146/フロレット、メジェーヴ、1965年3月/リバーサルフィルム、6×6cm判/270×270mm/1965年
- 147/ぼくとフロレット、オールド・トゥーソン・スタジオにて、アリゾナ、1962年/リバーサルフィルム、6×6cm判/210×210mm/1962年
- 148/エドワード・スタイクン、ウエスト・レディング、1966年11月5日/リバーサルフィルム、6×6cm判/209×210mm/1966年
- 149/ポーソレイユ、1958年/リバーサルフィルム、6×6cm判/270×310mm/1958年

第4章 色彩の歓び / La Joie de couleur

- 123/ビビ、「エデン・ロック」のレストランにて、アンティープ岬、1920年5月/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/203×220mm/1920年
- 124/ビビ、パリ、1921年1月/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/207×220mm/1921年
- 125/ビビ、パリ、1921年1月/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/195×220mm/1921年
- 126/アレット・ブカール、カンヌ、1927年/ステレオ写真、オートクローム、ガラス乾板・ポジ、6×13cm判/201×220mm/1927年

- 150 / エトルタ、1960年6月 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 359×359mm / 1960年
- 151 / ディエップ、1962年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 210×210mm / 1962年
- 152 / プルターニュ、1970年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 320×310mm / 1970年
- 153 / ロワジー、パリ、1964年10月 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 280×280mm / 1964年
- 154 / 中央運河、1969年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 310×310mm / 1969年
- 155 / プルターニュ、1965年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 269×270mm / 1965年
- 156 / アスコリ・ピチューノ、1958年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 310×310mm / 1958年
- 157 / サン・セバスティアン、スペイン、1958年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 376×360mm / 1958年
- 158 / 諸聖人の日、ピオッツォ、1956年11月 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 282×270mm / 1956年
- 159 / マンドリオネ通り、ローマ、1958年 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 270×274mm / 1958年
- 160 / パルマ、1965年4月 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 270×270mm / 1965年
- 161 / アッピア街道、ローマ、1960年1月 / リバーサルフィルム、6×6cm判 / 270×274mm / 1960年
- 162 / ピオッツォ、1977年6月 / リバーサルフィルム、24×36mm判 / 240×359mm / 1977年
- 163 / イル・ド・レ、1981年6月 / リバーサルフィルム、24×36mm判 / 359×240mm / 1981年

アルバム・日記・資料

- A-1 / 1902年 ポン・ド・ラルシュ / アルバム複写 / 500×600mm / 1902年
- A-2 / 1903年 ポン・ド・ラルシュ / アルバム複写 / 500×600mm / 1903年
- A-3 / パリ、1904年6月 / アルバム複写 / 500×600mm / 1904年
- A-4 / デュデュとジジ、パリ、1904年4月 / アルバム複写 / 500×600mm / 1904年
- A-5 / ビアリッツ、1905年 / アルバム複写 / 305×415mm / 1905年
- A-6 / ギッティ、ビアリッツ、1905年 / アルバム複写 / 305×415mm / 1905年
- A-7 / ルザ、1908年8月 / アルバム複写 / 400×500mm / 1908年
- A-8 / ルザ、1908年8月 / アルバム複写 / 400×500mm / 1908年
- A-9 / ゴロとシモーヌ、1913年5月1日 / アルバム複写 / 410×554mm / 1913年
- A-10 / いとこのシモーヌとゴロ、フォレ・ド・マルリー、1913年5月1日 / アルバム複写 / 410×554mm / 1913年
- A-11 / 戦争・・・？パリ、1914年8月1日 / アルバム複写 / 500×600mm / 1914年
- A-12 / 戦争、戦争が長い場合のために（???）、特に次のテニス選手権のために毎日のトレーニングで体を鍛えていきたい、ルザ、1914年8月 / アルバム複写 / 400×500mm / 1914年
- A-13 / サンドウ方式に従ったり従わなかったりする体操の動き、よく

- の記録表、1914年 / アルバム複写 / 400×500mm / 1914年
- A-14 / 練習中のシュザンヌ・ランラン、ニース、1915年 / アルバム複写 / 400×500mm / 1915年
- A-15 / ウルガート、1919年9月 / アルバム複写 / 400×500mm / 1919年
- A-16 / シュザンヌ・ランラン、パリ帰還、1921年5月13日 / アルバム複写 / 410×554mm / 1921年
- A-17 / ビビとロロ、体操の時間、1921年 / アルバム複写 / 400×500mm / 1921年
- A-18 / ルネ、ぼく、パリ、1930年11月 / アルバム複写 / 410×554mm / 1930年
- A-19 / フロレット、ル・トラヤ、1942年6月 / アルバム複写 / 400×500mm / 1942年
- A-20 / フロレット、パリ、1944年1月 / アルバム複写 / 410×554mm / 1944年
- A-21 / ピカソ、パリ、1955年 / アルバム複写 / 500×600mm / 1955年
- A-22 / ピカソの手、1955年 / アルバム複写 / 500×600mm / 1955年
- A-23 / スピード写真「フォトマトン」、アヴェドン、ピア、フロレットとぼく、1968年 / アルバム複写 / 500×600mm / 1968年
- D-1 / 1911年7月13日・14日の日記 / 複写 / 1911年
- D-2 / 1911年9月13日・14日の日記 / 複写 / 1911年
- D-3 / 1912年8月12日・13日の日記 / 複写 / 1912年
- D-4 / 1912年9月14日・15日の日記 / 複写 / 1912年
- D-5 / 1914年5月20日・21日の日記 / 複写 / 1914年
- D-6 / 1914年6月2日・3日の日記 / 複写 / 1914年
- C-1 / アルバム；イメージスライドショー / DVD映像（複写画像）約10分
- R-1 / ジャック＝アンリ・ラルティエグ《ジャン、ルザ、1911年》（坂田栄一郎によるプリント） / ガラス乾板、9×12cm判、ゼラチンシルバープリント / 337×264mm / 坂田栄一郎氏蔵
- R-2 / 坂田栄一郎宛ラルティエグ書簡 1968年7月20日付 / 紙・インク / 265×205mm / 坂田栄一郎氏蔵
- R-3 / 写真集『ジャック＝アンリ・ラルティエグの写真：ベルエポックのファミリーアルバム』 / 本 / 236×300mm / 坂田栄一郎氏蔵
- R-4 / 写真集『一世紀の日記』 / 本 / 236×300mm / 坂田栄一郎氏蔵
- R-5 / 『LIFE』1963年11月29日号 / 雑誌 / 345×265mm / 個人蔵
- R-6 / 別冊『カメラ毎日ジュニア』毎日新聞社、1970年12月5日 / 雑誌 / 258×182mm / 堀内事務所蔵
- R-7 / 『毎日中学生新聞』7627号 毎日新聞社、1970年12月2日 / 新聞 / 407×272mm / 堀内事務所蔵
- R-8 / 『毎日中学生新聞』7636号 毎日新聞社、1970年12月11日 / 新聞 / 407×273mm / 堀内事務所蔵
- R-9 / 『毎日中学生新聞』7643号 毎日新聞社、1970年12月18日 / 新聞 / 407×274mm / 堀内事務所蔵
- R-10 / 『毎日中学生新聞』7650号 毎日新聞社、1970年12月25日 / 新聞 / 407×275mm / 堀内事務所蔵
- 資料 / 『カメラ毎日』毎日新聞社、1971年6月1日 / 雑誌 / 堀内事務所蔵
- R-11 / クラップカメラ ブロック・ノート ゴーモン社（フランス） / 45×60mm判（アトム判）、乾板使用 / 1904年頃～1920年代前半の製造（展示品の製造年は不明） / 個人蔵

R-12 / 乾板用ステレオカメラ アンゴーステレオ ゲルツ社 (ドイツ)
/ 6 × 13cm 判、ダゴールレンズ 90mm F6.8 / 1896 年 / フジフイルムスクエア写真歴史博物館蔵

R-13 / クリップ式ステレオビューワー 木製ホームズベーツ型 ステレオカメラ / 1890 年代 / フジフイルムスクエア写真歴史博物館蔵

コレクション特集展示 小関庄太郎と日本の芸術写真

[No./作家名(生没年)/作品名/制作年/材質技法/寸法(mm)/所蔵]

F1 / 名取久作 (1905-1978) / 郊外秋景 / 1929(昭和 4).9.15 / ゼラチン・シルバー・プリント / 234 × 285 / 福島県立美術館

F2 / 萩原露愁 (1895-1973) / 晩秋の夕 / 1931(昭和 6) / ゼラチン・シルバー・プリント / 228 × 292 / 福島県立美術館

F3 / 椿本金三郎 (1897-1982) / 白い犬 / 1928(昭和 3).3 / ゼラチン・シルバー・プリント / 282 × 227 / 福島県立美術館

F4 / 椿本金三郎 (1897-1982) / 着車情景 / 1928(昭和 3) / ゼラチン・シルバー・プリント / 276 × 230 / 福島県立美術館

F5 / 椿本金三郎 (1897-1982) / ベス単印画集 / 福島県立美術館

F6 / 南賢治(1898-1982) / 冬日 / 1931(昭和 6) / ゼラチン・シルバー・プリント / 203 × 254 / 福島県立美術館

F7 / 本田仙花 (1897-1951) / 影 / 1924(大正 13).4.19 / ゼラチン・シルバー・プリント / 164 × 121 / 福島県立美術館

F8 / 本田仙花 (1897-1951) / 静物 / 1925(大正 14).5.12 / ゼラチン・シルバー・プリント / 155 × 134 / 福島県立美術館

F9 / 本田仙花 (1897-1951) / 静物 / 1925(大正 14).5.18 / ゼラチン・シルバー・プリント / 117 × 161 / 福島県立美術館

F10 / 本田仙花 (1897-1951) / 陰鬱なる風景 / 1925(大正 14).8.29 / ゼラチン・シルバー・プリント / 101 × 159 / 福島県立美術館

F11 / 佐藤 信 (1897-1987) / 夕闇は迫る / 1925(大正 14) / ゼラチン・シルバー・プリント / 134 × 243 / 福島県立美術館

F12 / 佐藤 信 (1897-1987) / 河畔 / 1925(大正 14).11 / ゼラチン・シルバー・プリント / 145 × 177 / 福島県立美術館

F13 / 佐藤 信 (1897-1987) / 子犬のいる風景 / 1920 年代 / ゼラチン・シルバー・プリント / 213 × 180 / 福島県立美術館

F14 / 佐藤 信 (1897-1987) / 都会 / 1928(昭和 3) / ゼラチン・シルバー・プリント / 198 × 198 / 福島県立美術館

F15 / 佐藤 信 (1897-1987) / 暮れ近き海 / 1933(昭和 8) / ゼラチン・シルバー・プリント / 237 × 299 / 福島県立美術館

F16 / 氏家健吉 (生没年不詳) / 湖畔風景 / 1924(大正 13) / ゼラチン・シルバー・プリント / 112 × 155 / 福島県立美術館

F17 / 川村重和 (1901-1988) / 海辺風景 / 1935(昭和 10) / ゼラチン・シルバー・プリント / 181 × 226 / 福島県立美術館

F18 / 菊田蝶秋 (? -1930 ?) / 肖像 / 1925(大正 14) / ゼラチン・シルバー・プリント / 143 × 121 / 福島県立美術館

F19 / 針生権六 (生没年不詳) / ポートレート / 制作年不詳 / ゼラチン・シルバー・プリント / 146 × 111 / 福島県立美術館

F20 / 大橋紅陽 (生没年不詳) / 老人 / 1928(昭和 3) / ゼラチン・シルバー・プリント / 151 × 110 / 福島県立美術館

F21 / 吹沢龍一 (1893-1941) / 停車場 / 1926(大正 15) / ゼラチン・シルバー・プリント / 245 × 233 / 福島県立美術館

F22 / 金沢治男 (1913-1939) / 夜の静物 / 1935(昭和 10).3 / ゼラチン・シルバー・プリント / 226 × 270 / 福島県立美術館

F23 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 田園小景 / 1926(大正 15).6 / ゼラチン・シルバー・プリント / 149 × 181 / 福島県立美術館

F24 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 憩い / 1926(大正 15) / ゼラチン・シルバー・プリント / 243 × 299 / 福島県立美術館寄託

F25 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 働き男 / 1936(昭和 11) / ゼラチン・シルバー・プリント / 196 × 204 / 福島県立美術館寄託

F26 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 一人歩む / 1929(昭和 4) / ゼラチン・シルバー・プリント / 169 × 195 / 福島県立美術館

F27 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 夢の汽車 / 1949(昭和 24).3 / ゼラチン・シルバー・プリント / 244 × 301 / 福島県立美術館寄託

F28 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 遠い汽車 / 1941(昭和 16).4.1 / ゼラチン・シルバー・プリント / 298 × 250 / 福島県立美術館

F29 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 二人像 (佐藤信旧蔵) / 1932(昭和 7).6 / ゼラチン・シルバー・プリント / 247 × 206 / 福島県立美術館

F30 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 二人像 / 1932(昭和 7).6 / ゼラチン・シルバー・プリント / 273 × 206 / 福島県立美術館

F31 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 或る男の像 / 1932(昭和 7).6 / ゼラチン・シルバー・プリント / 224 × 195 / 福島県立美術館

F32 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 包帯の男 / 1936(昭和 11).1.16 / ゼラチン・シルバー・プリント / 221 × 178 / 福島県立美術館

F33 / 小関庄太郎 (1907-2003) / 傘をもつ自画像 / 1954(昭和 29) 春 / ゼラチン・シルバー・プリント / 349 × 281 / 福島県立美術館

F34 / 小関庄太郎 (1907-2003) / ポンチョを衣た自画像 / 2000(平成 12).2 / ゼラチン・シルバー・プリント / 343 × 420 / 福島県立美術館

F35 / 二葉会資料 / 福島県立美術館寄託

F36 / 二葉会例会写真 / 福島県立美術館

(3) 生誕 110 年・没後 20 年記念
斎藤清からのメッセージ



A4 チラシ

会期：平成 29 年 10 月 7 日(土)～ 12 月 10 日(日)
分野：版画
展示数：231 点
観覧料：一般・大学生 1,000(800) 円、高校生 600(500) 円、小・中学生 400(300) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金
観覧者数：9,534 名
担当：紺野朋子、増淵鏡子

主催：福島県立美術館
共催：斎藤清画伯顕彰協議会
特別協力：福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ
後援：福島市、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしま FM
協力：やないづ町立斎藤清美術館
助成：公益財団法人花王 芸術・科学財団

関連事業：
・講演会①「斎藤清の芸術—その国際的評価をめぐって」
日時：10 月 29 日(日)
講師：桑原規子氏（聖徳大学文学部教授）
会場：当館講堂 参加者：50 名
・講演会②「斎藤清の創造力と美」
日時：11 月 23 日(水)
講師：早川博明（当館館長）
会場：当館講堂 参加者：60 名
・ギャラリートーク
① 11 月 4 日(土) 参加者：40 名
① 11 月 16 日(日) 参加者：5 名
① 11 月 30 日(日) 参加者：10 名
② 12 月 2 日(土) 参加者：40 名
講師：紺野朋子（当館副主任学芸員）
・ワークショップ①「多色木版画の制作～木目と色彩のハーモニー～」

日時：10 月 9 日(月)、14 日(土)、21 日(土)、29 日(日)
講師：太田隆明氏（版画家） 参加者：12 名
・ワークショップ②「なりきり！清先生！～版でつくる動物たち～」
日時：11 月 5 日(日)
講師：美術館スタッフ 参加者：5 名
・触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ「斎藤清の《会津の冬》を楽しもう」
日時：11 月 3 日(金)
講師：真下弥生氏（ルーテル学院大学非常勤講師）、半田こづえ氏（筑波大学人間系障害科学域助教）
協力：福島県点字図書館、NPO 法人福島県立美術館協力会
参加者：20 名

概要：
福島県会津坂下町出身の版画家・斎藤清の生誕 110 年、没後 20 年を記念して、10 年ぶりの展覧会を開催した。展覧会は 2 部構成とし、第 1 部では〈斎藤清の造形〉として代表作を年代ごとにその表現に着目、第 2 部では〈斎藤清と会津〉として、会津を主題とした作品、特に 1970 年からの《会津の冬》シリーズ全 115 点を展示した。木版画、コラグラフ、ドライポイント、墨画、スケッチなど作品 231 点のほか、版木などの資料も展示し、斎藤の生涯にわたる造形表現の変化を追った。初期の装幀や挿絵の仕事や、斎藤の作品が県内で親しまれるようになった背景について、県内における支援の有り様などを紹介した。
展覧会はやないづ町立斎藤清美術館と同時期に開催し、斎藤清画伯顕彰協議会の協力も得て、多くの人に斎藤清の芸術について改めて知ってもらう機会となった。



開会式（10/7）



エントランスホール・フォトスポット



展示風景



桑原規子氏講演会 (10/29)



早川館長講演会 (11/23)



ギャラリートーク (11/4)

◆出品リスト：

[作品番号/作品名/制作年/材質・技法/画面寸法 (cm) / エディション/所蔵]

第1部 斎藤清の造形

第1章 版画の道へ 1936-1950

- 1 /少女 / 1936(昭和11) /紙・木版 / 24.5 × 18.2 / 福島県立美術館
- 2 /少女 / 1938(昭和13)頃 /紙・木版 / 35.5 × 28.7 / 福島県立美術館
- 3 /鏡 (自画像) / 1938(昭和13)頃 /紙・木版 / 36.1 × 29.0 / 福島県立美術館
- 4 /鏡 / 1938(昭和13)頃 /紙・木版 / 26.4 × 16.5 / 福島県立美術館
- 5 /憩い / 1938(昭和13) /紙・木版 / 27.8 × 19.8 / 福島県立美術館
- 6 /北海の魚市 / 1939(昭和14)頃 /紙・木版 / 18.0 × 23.6 / 福島県立美術館
- 7 /選炭 / 1942(昭和17) /紙・木版 / 45.1 × 52.5 / 福島県立美術館
- 8 /港・小樽 / 1948(昭和23) /紙・木版 / 39.2 × 52.8 / 1/50 / 福島県立美術館
- 9 /赤い花 / 1948(昭和23) /紙・木版 / 41.1 × 66.5 / 13/30 / 福島県立美術館
- 10 /凝視 (猫) / 1948(昭和23) /紙・木版 / 75.4 × 41.6 / 番外4/4 / 福島県立美術館
- 11 /みろく / 1948(昭和23) /紙・木版 / 50.2 × 29.1 / 34/50 / 福島県立美術館
- 12 /ミルク / 1949(昭和24) /紙・木版 / 36.6 × 29.8 / 30/50 / 福島県立美術館
- 13 /ヌード (B) / 1950(昭和25) /紙・木版 / 75.9 × 41.5 / 13/30 / 福島県立美術館
- 14 /直子 / 1950(昭和25) /紙・木版 / 75.3 × 41.3 / 14/30 / 福島県立美術館
- 15 /ヌード / 1950(昭和25) /紙・木版 / 75.3 × 41.2 / 13/30 / 福島県立美術館
- 16 /瞳 (白樺) / 1950(昭和25) /紙・木版 / 41.5 × 75.6 / 番外2/4 / 福島県立美術館
- 17 /凝視 (花) / 1950(昭和25) /紙・木版 / 60.0 × 41.1 / 8/30 / 福島県立美術館
- 18 /田園 / 1943(昭和18) /カンヴァス・油彩 / 72.9 × 90.9 / 福島県立美術館

第2章 モダニズムのなかで 1950年代

- 19 /ハニワ / 1950(昭和25) /紙・木版 / 45.6 × 32.0 / 27/50 / 福島県立美術館
- 20 /ジェラシー / 1952(昭和27) /紙・木版 / 75.4 × 46.2 / 福島県立美術館
- 21 /ハニワ / 1953(昭和28) /紙・木版, 屏風二曲一隻 / 103.2 × 139.4 / 福島県立美術館
- 22 /土器とハニワ / 1954(昭和29) /紙・木版 / 60.3 × 60.3 / 福島県立美術館
- 23 /仏陀・飛鳥 (A) / 1954(昭和29) /紙・木版 / 75.9 × 45.1 / 福島県立美術館
- 24 /支那寺, 長崎 / 1955(昭和30) /紙・木版 / 51.6 × 81.7 / 福島県立美術館
- 25 /鏡 / 1955(昭和30) /紙・木版 / 51.0 × 81.2 / 10/50 / 福島県立美術館

- 26 / 門 (支那寺)、長崎 / 1955(昭和30) / 紙・木版, 屏風二曲一隻 / 92.5 × 148.5 / 福島県立美術館
- 27 / 桂 京都 / 1955(昭和30) / 紙・木版 / 38.3 × 53.2 / やないづ町立斎藤清美術館
- 28 / 石庭 / 1956(昭和31) / 紙・木版, 屏風二曲一隻 / 147.2 × 149.3 / 福島県立美術館
- 29 / 雨のミシガン / 1956(昭和31) / 紙・木版 / 52.8 × 38.8 / 福島県立美術館
- 30 / 憩い, メキシコ / 1956(昭和31) / 紙・木版 / 53.1 × 38.8 / 福島県立美術館
- 31 / 野良犬, メキシコ / 1956(昭和31) / 紙・木版 / 38.6 × 53.4 / 福島県立美術館
- 32 / 白磁 / 1957(昭和32) / 紙・木版 / 44.7 × 60.1 / 19/80 / 福島県立美術館
- 33 / 庭, 天竜寺, 京都 (B) / 1957(昭和32) / 紙・木版 / 45.0 × 59.7 / 13/80 / 福島県立美術館
- 34 / 土偶 / 1959(昭和34) / 紙・木版, 屏風二曲一隻 / 120.8 × 148.6 / 福島県立美術館
- 35 / 仏陀, 阿修羅, 奈良 (C) / 1959(昭和34) / 紙・木版 / 45.0 × 60.3 / 46/100 / 福島県立美術館
- 36 / 京都の壁(B) / 1960(昭和35) / 紙・木版 / 48.6 × 79.1 / A.P. / 福島県立美術館
- 37 / 桂, 京都 (H) / 1962(昭和37) / 紙・木版 / 38.4 × 53.1 / 1/200 / 福島県立美術館
- 38 / 障子 (D) / 1964(昭和39) / 紙・木版 / 41.5 × 57.1 / 1/100 / 福島県立美術館
- 39 / 桂, 京都 '70 (C) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 37.7 × 52.9 / 1/80 / 福島県立美術館
- 第3章 模索のとき 1960年代
- 40 / セーヌ河畔, パリ / 1959(昭和34) / 紙・鉛筆 / 27.0 × 37.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 41 / 本屋, セーヌ, パリ / 1959(昭和34) / 紙・鉛筆 / 32.3 × 42.0 / 福島県立美術館
- 42 / 本屋, セーヌ, パリ / 1960(昭和35) / 紙・木版 / 37.4 × 51.1 / A.P. / 福島県立美術館
- 43 / ショッピングガール・パリ / 1960(昭和35) / 紙・木版 / 51.5 × 37.8 / A.P. / 福島県立美術館
- 44 / 凝視, モデル, パリ (A) / 1960(昭和35) / 紙・木版 / 51.7 × 37.9 / 2/120 / 福島県立美術館
- 45 / 教会, フランス (A) / 1960(昭和35) / 紙・木版 / 51.7 × 37.9 / 2/120 / 福島県立美術館
- 46 / ノートルダム, パリ (B) / 1960(昭和35) / 紙・木版 / 79.9 × 39.9 / 1/100 / 福島県立美術館
- 47 / パリ (3) / 1961(昭和36) / 紙・木版 / 52.9 × 38.5 / 4/150 / 福島県立美術館
- 48 / シグナル (A) / 1962(昭和37) / 紙・木版 / 60.5 × 44.8 / 39/150 / 福島県立美術館
- 49 / 公園 (シアトル) / 1962(昭和37) / 紙・コラグラフ / 52.3 × 67.1 / 1/3 / 福島県立美術館
- 50 / 雪のポストン / 1963(昭和38) / 紙・コラグラフ / 59.8 × 45.0 / 1/6 / 福島県立美術館
- 51 / セーヌ, パリ (B) / 1963(昭和38) / 紙・コラグラフ / 61.0 ×

- 45.5 / 1/6 / 福島県立美術館
- 52 / メキシコ (B) / 1963(昭和38) / 紙・コラグラフ / 45.4 × 60.0 / 6/6 / 福島県立美術館
- 53 / 猫 (6) / 1963(昭和38) / 紙・コラグラフ / 46.0 × 60.9 / 1/6 / 福島県立美術館
- 54 / ヌード (4) / 1963(昭和38) / 紙・コラグラフ / 60.7 × 45.4 / 1/10 / 福島県立美術館
- 55 / ヌード (13) / 1964(昭和39) / 紙・コラグラフ / 45.5 × 60.7 / 1/6 / 福島県立美術館
- 56 / ニューメキシコ / 1965(昭和40) / 紙・木版 / 45.6 × 60.5 / 1/40 / 福島県立美術館
- 57 / 冬のバリ (C) / 1966(昭和41) / 紙・木版 / 53.0 × 38.0 / 1/100 / 福島県立美術館
- 58 / 編物 / 1966(昭和41) / 紙・木版 / 53.0 × 39.2 / 1/100 / 福島県立美術館
- 59 / ヌード (G) / 1966(昭和41) / 紙・木版 / 60.3 × 44.6 / 1/50 / 福島県立美術館
- 60 / ヌード (A) / 1969(昭和44) / 紙・ドライポイント / 35.4 × 19.8 / 15/30 / 福島県立美術館
- 61 / インド / 1967(昭和42) / 紙・墨など / 40.8 × 57.3 / やないづ町立斎藤清美術館

第4章 慈愛の造形 1970年代—晩年まで

- 62 / 円覚寺, 鎌倉 (B) / 1971(昭和46) / 紙・木版 / 37.8 × 52.7 / 80/80 / 福島県立美術館
- 63 / 六月, 鎌倉 (B) / 1972(昭和47) / 紙・木版 / 37.8 × 52.9 / 1/80 / 福島県立美術館
- 64 / 競艶 / 1973(昭和48) / 紙・木版 / 45.3 × 74.5 / 1/80 / 福島県立美術館
- 65 / 高山寺, 京都 (B) / 1974(昭和49) / 紙・木版 / 52.5 × 37.3 / 1/80 / 福島県立美術館
- 66 / 慈愛 / 1975(昭和50) / 紙・木版 / 44.3 × 75.2 / 42/50 / 福島県立美術館
- 67 / 霊峰 (1) / 1980(昭和55) / 紙・木版 / 45.3 × 61.3 / 4/100 / 福島県立美術館
- 68 / 霊峰 (15), 晴天なり / 1980(昭和55) / 紙・木版 / 61.4 × 45.6 / 4/100 / 福島県立美術館
- 69 / 霊峰 (17), 秋 (A) / 1980(昭和55) / 紙・木版 / 46.0 × 61.5 / 4/100 / 福島県立美術館
- 70 / 椿 / 1980(昭和55) / 紙・木版 / 74.5 × 44.7 / 1/80 / 福島県立美術館
- 71 / 春の鎌倉, 甘縄神明宮 / 1983(昭和58) / 紙・木版 / 52.2 × 38.1 / 1/130 / 福島県立美術館
- 72 / 地の幸 / 1989(平成元) / 紙・木版 / 45.8 × 61.0 / A.P 3/4 / 福島県立美術館
- 73 / 風 / 1997(平成9) / 紙・木版 / 60.0 × 45.8 / 福島県立美術館
- 第2部 斎藤清と会津
- 第1章 会津のこどもたちと風景
- 74 / 会津の子供たち (6) / 1939(昭和14) / 紙・鉛筆 / 26.0 × 35.9 / やないづ町立斎藤清美術館
- 75 / 会津の子供たち (19) / 1947(昭和22) / 紙・鉛筆 / 20.0 × 27.1 / やないづ町立斎藤清美術館

- 76 / 会津の子供たち (20) / 1939(昭和14) / 紙・鉛筆 / 20.0 × 27.1 / やないづ町立斎藤清美術館
- 77 / 会津の子供たち (23) / 1939(昭和14) / 紙・鉛筆 / 27.0 × 15.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 78 / 会津の子供たち (24) / 1939(昭和14) / 紙・鉛筆 / 27.0 × 19.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 79 / 会津の子供たち (47) / 1939(昭和14) / 紙・鉛筆 / 21.5 × 30.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 80 / 会津の子供たち (48) / 1947(昭和22) / 紙・鉛筆 / 21.5 × 30.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 81 / 会津の子供たち (49) / 1947(昭和22) / 紙・鉛筆 / 21.5 × 25.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 82 / 会津の子供たち (50) / 1947(昭和22) / 紙・鉛筆 / 17.5 × 27.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 83 / 柳津 円蔵寺 / 1968(昭和43) / 紙・鉛筆 / 25.0 × 35.3 / やないづ町立斎藤清美術館
- 84 / 郷の稚児 / 1938(昭和13) / 紙・木版 / 36.0 × 27.8 / 福島県立美術館
- 85 / 会津の子供 / 制作年不詳 / 紙・木版 / 45.0 × 35.0 / やないづ町立斎藤清美術館
- 86 / 会津の子供 / 制作年不詳 / 紙・木版 / 36.2 × 24.5 / やないづ町立斎藤清美術館
- 87 / 裏磐梯, 会津 / 1955(昭和30) / 紙・木版 / 38.0 × 52.4 / 1/150 / 福島県立美術館
- 88 / 青沼, 裏磐梯, 会津 / 1955(昭和30) / 紙・木版 / 39.0 × 51.3 / 1/150 / 福島県立美術館
- 89 / 柿の会津 (2) / 1973(昭和48) / 紙・木版 / 38.0 × 52.9 / 1/80 / 福島県立美術館
- 90 / 会津の家 (G) / 1973(昭和48) / 紙・木版 / 45.5 × 74.5 / 1/50 / 福島県立美術館
- 91 / 会津の家 (H) / 1974(昭和49) / 紙・木版 / 45.6 × 60.9 / 1/50 / 福島県立美術館
- 92 / 会津の春 / 1974(昭和49) / 紙・木版 / 52.7 × 37.7 / 1/80 / 福島県立美術館
- 93 / 稔りの会津 (2) / 1975(昭和50) / 紙・木版 / 45.9 × 60.5 / 1/80 / 福島県立美術館
- 94 / 稔りの会津 (3) / 1975(昭和50) / 紙・木版 / 38.5 × 52.7 / 1/100 / 福島県立美術館
- 95 / 只見川, 会津柳津 (1) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 37.1 × 72.4 / 1/100 / 福島県立美術館
- 96 / 只見川, 会津柳津 (2) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 40.8 × 91.0 / 1/80 / 福島県立美術館
- 97 / 春の鶴ヶ城(A) / 1988(昭和63) / 紙・木版 / 45.6 × 61.6 / A.P 1/1 / 福島県立美術館
- 98 / かすみ 慈愛 / 1991(平成3) / 紙・木版 / 44.2 × 60.3 / 1/80 / 福島県立美術館
- 99 / 野仏 (田代) (1) / 1977(昭和52) / 紙本墨画淡彩 / 97.4 × 67.2 / 福島県立美術館
- 100 / 野仏 (田代) (4) / 1977(昭和52) / 紙本墨画淡彩 / 97.0 × 66.7 / 福島県立美術館
- 101 / 会津の冬 (坂下) / 1938-40(昭和13-15) / 紙・木版 / 38.0 × 45.6 / 福島県立美術館
- 102 / 会津の冬 (御母堂) / 1938-40(昭和13-15) 頃 / 紙・木版 / 36.1 × 45.0 / 福島県立美術館
- 103 / 会津の冬 / 1938-40(昭和13-15) 頃 / 紙・木版 / 38.3 × 45.4 / 福島県立美術館
- 104 / 会津の冬 (B) / 1953(昭和28) / 紙・木版 / 39.3 × 54.5 / 福島県立美術館
- 105 / 会津の冬 (1) / 1958(昭和33) / 紙・木版 / 39.0 × 53.1 / 福島県立美術館
- 106 / 会津の冬 (17) / 1958(昭和33) / 紙・木版 / 38.8 × 52.7 / 福島県立美術館
- 107 / 会津の冬 (14) / 1969(昭和44) / 紙・木版 / 37.8 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 108 / 会津の冬 (1) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.4 × 52.8 / 74/80 / 福島県立美術館
- 109 / 会津の冬 (2) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.2 × 52.2 / 74/80 / 福島県立美術館
- 110 / 会津の冬 (3) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.3 × 52.7 / 74/80 / 福島県立美術館
- 111 / 会津の冬 (4) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.0 × 52.9 / 74/80 / 福島県立美術館
- 112 / 会津の冬 (5) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.1 × 53.0 / 74/80 / 福島県立美術館
- 113 / 会津の冬 (6) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.4 × 53.0 / 74/80 / 福島県立美術館
- 114 / 会津の冬 (7) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 37.9 × 52.5 / 74/80 / 福島県立美術館
- 115 / 会津の冬 (8) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.1 × 52.9 / 74/80 / 福島県立美術館
- 116 / 会津の冬 (9) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.1 × 52.8 / 74/80 / 福島県立美術館
- 117 / 会津の冬 (10) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 37.7 × 52.6 / 74/80 / 福島県立美術館
- 118 / 会津の冬 (11) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.2 × 52.8 / 74/80 / 福島県立美術館
- 119 / 会津の冬 (12) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.0 × 52.5 / 74/80 / 福島県立美術館
- 120 / 会津の冬 (13) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 74/80 / 福島県立美術館
- 121 / 会津の冬 (14) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.0 × 52.3 / 74/80 / 福島県立美術館
- 122 / 会津の冬 (15) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.2 × 52.8 / 74/80 / 福島県立美術館
- 123 / 会津の冬 (16) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.1 × 52.6 / 74/80 / 福島県立美術館
- 124 / 会津の冬 (17) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.1 × 52.6 / 74/80 / 福島県立美術館
- 125 / 会津の冬 (18) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.1 × 52.6 / 74/80 / 福島県立美術館
- 126 / 会津の冬 (19) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 38.5 × 52.4 / 74/80 / 福島県立美術館
- 127 / 会津の冬 (20) / 1970(昭和45) / 紙・木版 / 37.8 × 52.5 / 74/80 / 福島県立美術館

第2章 会津の冬

- 128 / 会津の冬 (21) / 1974(昭和49) / 紙・木版 / 37.5 × 52.5 / 1/80 / 福島県立美術館
- 129 / 会津の冬 (22) / 1976(昭和51) / 紙・木版 / 37.5 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 130 / 会津の冬 (23) / 1976(昭和51) / 紙・木版 / 37.5 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 131 / 会津の冬 (24) / 1976(昭和51) / 紙・木版 / 37.7 × 52.7 / 1/100 / 福島県立美術館
- 132 / 会津の冬 (25) / 1976(昭和51) / 紙・木版 / 37.6 × 52.5 / 1/100 / 福島県立美術館
- 133 / 会津の冬 (26) / 1977(昭和52) / 紙・木版 / 37.4 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 134 / 会津の冬 (27) / 1977(昭和52) / 紙・木版 / 37.4 × 52.3 / 1/100 / 福島県立美術館
- 135 / 会津の冬 (28) / 1977(昭和52) / 紙・木版 / 37.6 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 136 / 会津の冬 (29) / 1977(昭和52) / 紙・木版 / 37.6 × 52.4 / 1/100 / 福島県立美術館
- 137 / 会津の冬 (30) / 1978(昭和53) / 紙・木版 / 37.6 × 52.4 / 1/100 / 福島県立美術館
- 138 / 会津の冬 (31) / 1978(昭和53) / 紙・木版 / 37.5 × 52.0 / 1/100 / 福島県立美術館
- 139 / 会津の冬 (32) / 1978(昭和53) / 紙・木版 / 37.7 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 140 / 会津の冬 (33) / 1978(昭和53) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 福島県立美術館
- 141 / 会津の冬 (34) / 1978(昭和53) / 紙・木版 / 45.4 × 91.1 / 1/80 / 福島県立美術館
- 142 / 会津の冬 (35) / 1978(昭和53) / 紙・木版 / 45.8 × 91.2 / 1/80 / 福島県立美術館
- 143 / 会津の冬 (36) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 144 / 会津の冬 (37) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 38.0 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 145 / 会津の冬 (38) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 45.4 × 91.2 / 1/80 / 福島県立美術館
- 146 / 会津の冬 (39), 猪苗代 / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 37.9 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 147 / 会津の冬 (40) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 38.1 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 148 / 会津の冬 (41) / 1979(昭和54) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 149 / 会津の冬 (42) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 38.2 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 150 / 会津の冬 (43) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 151 / 会津の冬 (44) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 37.8 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 152 / 会津の冬 (45) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 153 / 会津の冬 (46) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 38.1 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 154 / 会津の冬 (47) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 38.2 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 155 / 会津の冬 (48) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 38.1 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 156 / 会津の冬 (49) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 157 / 会津の冬 (50) / 1981(昭和56) / 紙・木版 / 47.5 × 52.9 / 1/130 / 福島県立美術館
- 158 / 会津の冬 (51) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.0 × 51.9 / 1/130 / 福島県立美術館
- 159 / 会津の冬 (52) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 160 / 会津の冬 (53) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.0 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 161 / 会津の冬 (54) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 37.9 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 162 / 会津の冬 (55) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.1 × 52.9 / 1/30 / 福島県立美術館
- 163 / 会津の冬 (56) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / A.P 1/2 / 福島県立美術館
- 164 / 会津の冬 (57) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.2 × 52.9 / 1/130 / 福島県立美術館
- 165 / 会津の冬 (58) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 166 / 会津の冬 (59) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 37.9 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 167 / 会津の冬 (60) / 1982(昭和57) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 168 / 会津の冬 (61) 高田町戦場 / 1986(昭和61) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 169 / 会津の冬 (62) 三島町大石田 / 1986(昭和61) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 170 / 会津の冬 (63) 麻生 / 1986(昭和61) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 右 1/130 / 福島県立美術館
- 171 / 会津の冬 (64) 坂下町宇内 / 1986(昭和61) / 紙・木版 / 37.8 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 172 / 会津の冬 (65) 宮下 / 1986(昭和61) / 紙・木版 / 37.9 × 52.9 / 1/130 / 福島県立美術館
- 173 / 会津の冬 (66) 喜多方南町 / 1986(昭和61) / 紙・木版 / 38.0 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 174 / 会津の冬 (67) 坂下立木観音 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 37.7 × 52.7 / 1/130 / 福島県立美術館
- 175 / 会津の冬 (68) 猪苗代湖 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 37.8 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 176 / 会津の冬 (69) 坂下町南裏通り / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館
- 177 / 会津の冬 (70) 若松 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 38.1 × 53.0 / 1/130 / 福島県立美術館
- 178 / 会津の冬 (71) 若松 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 38.0 × 52.9 / 1/130 / 福島県立美術館
- 179 / 会津の冬 (72) 坂下七折峠 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 38.0 × 52.9 / 1/130 / 福島県立美術館
- 180 / 会津の冬 (73) 坂下青木 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/130 / 福島県立美術館

- 181 / 会津の冬 (74) 喜多方 / 1987(昭和62) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 4/130 / 福島県立美術館
- 182 / 会津の冬 (75) 喜多方 / 1988(昭和63) / 紙・木版 / 38.0 × 52.9 / 1/100 / 福島県立美術館
- 183 / 会津の冬 (76) 坂下町・宇内 (2) / 1988(昭和63) / 紙・木版 / 37.9 × 52.7 / 1/100 / 福島県立美術館
- 184 / 会津の冬 (77) 西会津牧 / 1988(昭和63) / 紙・木版 / 37.9 × 52.9 / 1/100 / 福島県立美術館
- 185 / 会津の冬 (78) 坂下 / 1988(昭和63) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 186 / 会津の冬 (79) 坂下町宇内 (3) / 1989(平成元) / 紙・木版 / 37.8 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 187 / 会津の冬 (80) 柳津 / 1989(平成元) / 紙・木版 / 38.2 × 52.9 / 1/100 / 福島県立美術館
- 188 / 会津の冬 (81) 門・光明寺 / 1989(平成元) / 紙・木版 / 37.7 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 189 / 会津の冬 (82) 柳津 / 1989(平成元) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 190 / 会津の冬 (83) 坂下・朝立 / 1989(平成元) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 191 / 会津の冬 (84) 西平 / 1989(平成元) / 紙・木版 / 37.9 × 52.7 / 1/100 / 福島県立美術館
- 192 / 会津の冬 (85) 坂下町・宇内 (4) / 1990(平成2) / 紙・木版 / 37.7 × 52.7 / 3/100 / 福島県立美術館
- 193 / 会津の冬 (86) 大石田 / 1990(平成2) / 紙・木版 / 37.7 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 194 / 会津の冬 (87) 野沢 (1) / 1991(平成3) / 紙・木版 / 38.0 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 195 / 会津の冬 (88) 三島町間方 (1) / 1991(平成3) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 196 / 会津の冬 (89) 大野 / 1991(平成3) / 紙・木版 / 38.0 × 52.6 / 1/100 / 福島県立美術館
- 197 / 会津の冬 (90) 野沢 (2) / 1991(平成3) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 198 / 会津の冬 (91) 坂下北裏通り / 1991(平成3) / 紙・木版 / 37.7 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 199 / 会津の冬 (92) 石神 / 1991(平成3) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 200 / 会津の冬 (93) 金山町 / 1991(平成3) / 紙・木版 / 37.7 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 201 / 会津の冬 (94) 八坂野 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 37.8 × 52.8 / 1/100 / 福島県立美術館
- 202 / 会津の冬 (95) 高田町・高橋 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 45.5 × 91.4 / 1/65 / 福島県立美術館
- 203 / 会津の冬 (96) 三島町・間方 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 45.7 × 90.6 / 1/65 / 福島県立美術館
- 204 / 会津の冬 (97) 金山町・大志 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 45.4 × 90.5 / 1/65 / 福島県立美術館
- 205 / 会津の冬 (98) 本郷町・馬越 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 45.5 × 90.6 / 1/65 / 福島県立美術館
- 206 / 会津の冬 (99) 若松・上三寄 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 45.5 × 90.7 / 1/65 / 福島県立美術館
- 207 / 会津の冬 (100) 三島町・大石田 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 45.4 × 90.7 / 1/65 / 福島県立美術館
- 208 / 会津の冬 (101) 坂下町・杉 / 1992(平成4) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 個人蔵
- 209 / 会津の冬 (102) 川井 / 1993(平成5) / 紙・木版 / 38.1 × 52.8 / 個人蔵
- 210 / 会津の冬 (103) 浅岐 / 1993(平成5) / 紙・木版 / 37.8 × 52.9 / 個人蔵
- 211 / 会津の冬 (104) 三嶋町・大登 (1) / 1993(平成5) / 紙・木版 / 37.8 × 52.7 / 個人蔵
- 212 / 会津の冬 (105) 三嶋町・川井 / 1993(平成5) / 紙・木版 / 37.8 × 52.8 / 個人蔵
- 213 / 会津の冬 (106) 野沢 / 1994(平成6) / 紙・木版 / 38.0 × 52.9 / 個人蔵
- 214 / 会津の冬 (107) 三嶋町・間方 / 1994(平成6) / 紙・木版 / 45.3 × 90.7 / 個人蔵
- 215 / 会津の冬 (108) 三島町・大登 (2) / 1994(平成6) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 個人蔵
- 216 / 会津の冬 (109) 坂下町・光明寺 / 1995(平成7) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 個人蔵
- 217 / 会津の冬 (110) 大石田 / 1995(平成7) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 個人蔵
- 218 / 会津の冬 (111) 柳津 / 1995(平成7) / 紙・木版 / 38.0 × 53.0 / 個人蔵
- 219 / 会津の冬 (112) 塔寺 / 1995(平成7) / 紙・木版 / 37.9 × 52.8 / 個人蔵
- 220 / 会津の冬 (113) 西会津・青坂 / 1996(平成8) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 個人蔵
- 221 / 会津の冬 (114) 柳津 / 1996(平成8) / 紙・木版 / 38.0 × 52.8 / 個人蔵
- 222 / 会津の冬 (115) 西会津・軽沢 / 1996(平成8) / 紙・木版 / 37.8 × 52.9 / 個人蔵
- 223 / 窪 / 制作年不詳 / 紙・鉛筆 / 28.8 × 39.6 / やないづ町立斎藤清美術館
- 224 / 会津若松 / 1956(昭和31) / 紙・鉛筆 / 23.9 × 32.5 / やないづ町立斎藤清美術館
- 225 / 一王町 / 1976(昭和51) / 紙・鉛筆 / 28.3 × 36.5 / やないづ町立斎藤清美術館
- 226 / 会津の冬 (8) 川井 / 1981(昭和56) / 紙本墨画 / 51.3 × 97.0 / 福島県立美術館
- 227 / 会津の冬 (5) 西会津・牧 / 1982(昭和57) / 紙本墨画 / 52.0 × 97.0 / 福島県立美術館
- 228 / 会津の冬 (7) 三島町・大石田 / 1982(昭和57) / 紙本墨画 / 52.0 × 97.0 / 福島県立美術館
- 229 / 会津の冬, 坂下町・気多ノ宮 (2) / 1984(昭和59) / 紙本墨画 / 64.9 × 94.9 / 福島県立美術館
- 230 / 会津の冬, 八木沢 (1) / 1984(昭和59) / 紙本墨画 / 66.3 × 95.8 / 福島県立美術館
- 231 / 会津の冬, 喜多方・南町 / 1985(昭和60) / 紙本墨画 / 64.9 × 94.7 / 福島県立美術館

(4) Gallery F 2018 コレクション再発見



A4 チラシ

会期：平成 30 年 2 月 3 日(土)～ 3 月 4 日(日)

- (1) 生誕 110 年 渡部菊二展
- (2) 小川千穂と門間春雄—福島県の文芸と美術
- (3) 実践 福島県立美術館アートカード

分野：絵画・版画・彫刻・工芸・資料

展示数：164 点

観覧料：無料

観覧者数：1,528 名

担当：(1) 荒木康子 (2) 増淵鏡子、紺野朋子 (3) 白木ゆう美、國島 敏

主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

*平成 29 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

関連事業：

- ・スペシャルギャラリートーク「渡部菊二と水彩」

日時：2 月 3 日(土)

解説：後藤 學氏（喜多方市美術館長） 参加者：50 名

- ・ギャラリートーク

①「小川千穂と門間春雄」 日時：2 月 10 日(土)

解説：増淵鏡子（当館専門学芸員） 参加者：30 名

②「渡部菊二」 日時：2 月 24 日(土)

解説：荒木康子（当館学芸課長） 参加者：20 名

- ・桜の聖母小学生によるギャラリートーク

日時：2 月 17 日(土) 解説：桜の聖母学院小学校 5 年生 28 名、
奥山陽介教諭、高橋詩帆教諭 参加者：80 名

概要：

「Gallery F」とは、当館のコレクションの中から、今まで紹介できなかった作品や新収蔵・寄託作品を取り上げ、あるいはテーマを絞って掘り下げる小さな展覧会である。今年度は 3 つの Gallery F を開催した。

〈生誕 110 年 渡部菊二展〉は会津若松出身の水彩画家・渡部菊二生誕 110 年を記念した展覧会。戦前、菊二と共に若松で切磋琢磨した若き水彩画家たちの活動も含めて紹介した。

〈小川千穂と門間春雄〉では、大正期に福島を訪れた京都の画家・小川千穂と千穂を招いた福島の歌人・門間春雄の作品や資料を紹介し、福島の文芸と美術の交流を振り返った。

〈実践 福島県立美術館アートカード〉は、今年度から活用が開始された鑑賞用補助教材「福島県立美術館アートカード」を使って、桜の聖母学院小学校 5 年生 28 名が考えた「みて、かんじて、あじわう展覧会」を開催した。

◆出品リスト：

(1)「生誕 110 年 渡部菊二展」

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/画面寸法 (cm) /所蔵]

- 1 / 渡部菊二 / たそがれ / 1923(大正 12) / 紙・水彩 / 33.0 × 25.4 / 福島県立美術館
- 2 / 渡部菊二 / 裏町 / 1932(昭和 7) / 紙・水彩 / 49.9 × 61.0 / 福島県立美術館
- 3 / 渡部菊二 / 画室の自画像 / 1934(昭和 9) / 紙・水彩 / 37.0 × 28.6 / 個人蔵
- 4 / 渡部菊二 / 新聞売り / 1934(昭和 9) / 紙・水彩 / 74.7 × 58.5 / 福島県立美術館
- 5 / 渡部菊二 / 人形売りの少女 / 1934(昭和 9) / 紙・水彩 / 75.5 × 58.1 / 福島県立美術館
- 6 / 渡部菊二 / バルコにて / 1934(昭和 9) / 紙・水彩 / 75.5 × 58.1 / 個人蔵
- 7 / 渡部菊二 / 野に座す / 1936(昭和 11) / 紙・水彩 / 75.0 × 57.5 / 個人蔵
- 8 / 渡部菊二 / 奏でる女 / 1937(昭和 12) / 紙・水彩 / 59.2 × 59.2 / 福島県立美術館
- 9 / 渡部菊二 / 黄衣 / 1937(昭和 12) / 紙・水彩 / 59.2 × 38.2 / 個人蔵
- 10 / 渡部菊二 / 女の像 / 1938(昭和 13) / 紙・水彩 / 62.5 × 51.3 / 個人蔵
- 11 / 渡部菊二 / 黄衣 / 1938(昭和 13) / 紙・水彩 / 59.7 × 37.8 / 個人蔵
- 12 / 渡部菊二 / 夏の女 / 1938(昭和 13) / 紙・水彩 / 88.2 × 52.5 / 福島県立美術館
- 13 / 渡部菊二 / 奈良植物園 / 1938(昭和 13) 頃 / 紙・水彩 / 19.0 × 30.0 / 福島県立美術館
- 14 / 渡部菊二 / 肩掛けの女 / 1938(昭和 13) 頃 / 紙・油彩 / 23.0 × 16.2 / 福島県立美術館
- 15 / 渡部菊二 / 機械工 A / 1938(昭和 13) / 紙・鉛筆 / 35.0 × 23.7 / 個人蔵
- 16 / 渡部菊二 / 機械工 B / 1938(昭和 13) / 紙・鉛筆 / 32.2 × 23.5 / 個人蔵
- 17 / 渡部菊二 / 手袋 / 1939(昭和 14) / 紙・水彩 / 65.0 × 51.8 / 福島県立美術館
- 18 / 渡部菊二 / 勤労の娘たち / 1940(昭和 15) / 紙・水彩 / 115.8 × 90.6 / 福島県立美術館
- 19 / 渡部菊二 / 絵を描く人々 / 1941(昭和 16) / 紙・水彩 / 90.7 × 62.5 / 福島県立美術館
- 20 / 渡部菊二 / 秋研 / 1941(昭和 16) / 紙・水彩 / 34.9 × 27.5 / 個人蔵
- 21 / 渡部菊二 / 耕す家族 / 1941(昭和 16) 頃 / 紙・水彩 / 65.8 × 89.0 / 福島県立美術館
- 22 / 渡部菊二 / 木瓜花を持つ女 / 1941(昭和 16) 頃 / 紙・水彩 / 64.9 × 52.2 / 福島県立美術館

- 23 / 渡部菊二 / 水辺 / 1941(昭和16)頃 / 紙・水彩 / 19.3 × 30.0 / 福島県立美術館
- 24 / 渡部菊二 / 水辺微風 / 1941(昭和16)頃 / 紙・水彩 / 24.4 × 33.4 / 福島県立美術館
- 25 / 渡部菊二 / 編物をする / 1942(昭和17) / 紙・水彩 / 90.0 × 64.9 / 福島県立美術館
- 26 / 渡部菊二 / 正月と少女 / 1942(昭和17) / 紙・水彩 / 58.4 × 36.8 / 福島県立美術館
- 27 / 渡部菊二 / スケッチする少女 / 1943(昭和18) / 紙・水彩 / 53.2 × 45.4 / 福島県立美術館
- 28 / 渡部菊二 / 夏の子 / 1943(昭和18) / 紙・水彩 / 64.0 × 52.3 / 福島県立美術館
- 29 / 渡部菊二 / 防空頭巾 / 1943(昭和18) / 紙・水彩 / 60.6 × 48.6 / 個人蔵
- 30 / 渡部菊二 / 母と子 / 1943(昭和18) / 紙・水彩 / 90.0 × 63.0 / 福島県立美術館
- 31 / 渡部菊二 / 赤い櫛 / 1944(昭和19) / 紙・水彩 / 50.2 × 35.1 / 個人蔵
- 32 / 渡部菊二 / ヒノマル / 1944(昭和19) / 紙・水彩 / 47.3 × 17.0 / 個人蔵
- 33 / 渡部菊二 / 緑色の椅子 / 1944(昭和19) / 紙・水彩 / 50.0 × 35.1 / 個人蔵
- 34 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈葦山城跡〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨、コンテ / 18.8 × 21.2 / 三島市郷土資料館
- 35 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈江川さんの生き柱〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨、コンテ / 18.8 × 21.2 / 三島市郷土資料館
- 36 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈乗馬練習(落馬)〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 29.6 × 39.5 / 三島市郷土資料館
- 37 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈種痘奨励〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 18.8 × 21.2 / 三島市郷土資料館
- 38 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈華山・長英肖像〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 18.7 × 21.3 / 三島市郷土資料館
- 39 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈弥九郎、秋帆の駕を追う〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 21.2 × 31.4 / 三島市郷土資料館
- 40 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈農兵調練〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 18.8 × 21.2 / 三島市郷土資料館
- 41 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈狩小屋で長男に素読さす〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 18.9 × 21.2 / 三島市郷土資料館
- 42 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈天城の狩獵〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨 / 31.3 × 21.2 / 三島市郷土資料館
- 43 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈本立寺〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨、コンテ / 32.4 × 21.3 / 三島市郷土資料館
- 44 / 渡部菊二 / 『江川太郎左衛門の話』挿絵原画〈墓所〉 / 1944(昭和19) / 紙・墨、コンテ / 19.0 × 21.5 / 三島市郷土資料館
- 45 / 渡部菊二 / あざみ / 制作年不明 / 紙・木版 / 13.6 × 11.0 / 個人蔵
- 46 / 渡部菊二 / ギターを抱く女 / 制作年不明 / 紙・木版 / 17.3 × 11.6 / 個人蔵
- 47 / 渡部菊二 / 瞑想の女 / 制作年不明 / 紙・木版 / 14.9 × 11.8 / 個人蔵
- 48 / 渡部菊二 / 明暦風流陣 / 制作年不明 / 紙・墨 / 22.0 × 34.5 / 個人蔵
- 49 / 渡部菊二 / 『菅沼貞風』(赤沼三郎著 渡部菊二装幀 博聞館) / 1941年10月31日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 50 / 渡部菊二 / 『手のなかの虫』(酒井朝彦著 渡部菊二装幀・画 清水書房) / 1941年11月20日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 51 / 渡部菊二 / 『雪にかがやく塔』(酒井朝彦著 渡部菊二装幀・画 金蘭社) / 1942年2月15日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 52 / 渡部菊二 / 『お母さんは』(小住七五三著 渡部菊二装幀 清水書房) / 1942年9月20日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 53 / 渡部菊二 / 『加賀の千代女』(川島つゆ著 渡部菊二画 小学館) / 1942年10月10日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 54 / 渡部菊二 / 『ジャワノエホン』(小出正吾著 渡部菊二装幀・画 中央出版協会) / 1943年5月10日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 55 / 渡部菊二 / 『椰子の実と子供』(榎本楠郎著 渡部菊二画 増進堂) / 1943年9月1日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 56 / 渡部菊二 / 『ジャワノキナカ』(小出正吾著 渡部菊二画 中央出版協会) / 1943年9月15日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 57 / 渡部菊二 / 『からくり儀右衛門』(大坪草二郎著 渡部菊二装幀・画 大日本雄弁会講談社) / 1944年1月21日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 58 / 渡部菊二 / 『最後のいこひ』(謝冰心著 渡部菊二画 増進堂) / 1946年9月5日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 59 / 渡部菊二 / 『月の桂を伐る話』(渡辺梢著 渡部菊二装幀・画 童話春秋社) / 1947年12月15日発行 / 書籍 / 個人蔵
- 60 / 渡部菊二 / スクラップブック(資料) / 個人蔵
- 61 / 赤城泰舒 / 雨の止みまに / 1914(大正3) / 紙・水彩 / 32.0 × 41.2 / 寄託
- 62 / 赤城泰舒 / 土塀 / 1920(大正9) / 紙・水彩 / 32.8 × 48.1 / 福島県立美術館
- 63 / 相田直彦 / 花 / 1925(大正14) / 紙・水彩 / 60.8 × 45.8 / 福島県立美術館
- 64 / 相田直彦 / 都会の昼時 / 1933(昭和8) / 紙・水彩 / 73.0 × 91.0 / 福島県立美術館
- 65 / 春日部たすく / 春雪(郊外の雪景) / 1931(昭和6) / 紙・水彩 / 58.0 × 72.2 / 福島県立美術館
- 66 / 春日部たすく / 流れ / 1937(昭和12) / 紙・水彩 / 72.6 × 99.8 / 福島県立美術館
- 67 / 荒川三郎 / 雪の前庭 / 1935(昭和10) / 紙・水彩 / 58.4 × 75.3 / 福島県立美術館
- 68 / 荒川三郎 / 廃屋 / 1936(昭和11) / 紙・水彩 / 59.5 × 75.4 / 福島県立美術館
- 69 / 角田行夫 / 小田山より東山街道を望む / 1931(昭和6)年3月 / 紙・水彩 / 53.5 × 65.2 / 個人蔵
- 70 / 角田行夫 / 羽黒山雪景 / 1935(昭和10) / 紙・水彩 / 71.0 × 57.0 / 個人蔵
- 71 / 渡部百合子 / 浮花 / 1957(昭和32) / 紙・水彩 / 78.4 × 54.5 / 福島県立美術館
- 72 / 渡部百合子 / 私の散歩道 / 1967(昭和42) / 紙・水彩 / 89.5 × 60.8 / 福島県立美術館
- 73 / 長沢 節 / いねむり / 1972(昭和47) / カンヴァス・水彩 / 91.1 × 117.2 / 福島県立美術館
- 74 / 長沢 節 / 金のイヤリング / 不詳 / 紙・水彩 / 38.2 × 27.3 / 福島県立美術館

75 / 長沢 節 / 麦藁帽子 / 不詳 / 紙・水彩 / 38.3 × 27.2 / 福島県立美術館



展示風景



後藤學氏ギャラリートーク (2/3)

(2)「小川千甕と門間春雄—福島の文芸と美術」

[番号 / 作家名 (生没年) / 作品名 / 材質・技法 / 寸法 (cm) / 所蔵 (寄贈・寄託など)]

- 1 / 小川千甕 (1882-1971) / 舞子風景 / 1906年 / 紙・水彩 / 24.0 × 33.2 / 小川三郎氏寄贈
- 2 / 小川千甕 (1882-1971) / 伊予丸にて / 1913年 / 紙・水彩 / 24.8 × 18.1 / 小川三郎氏寄贈
- 3 / 小川千甕 (1882-1971) / 外国風景 / 1913年 / 紙・水彩 / 24.7 × 17.9 / 小川三郎氏寄贈
- 4 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (ベニスのゴンドラ) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 5 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (パリの辻待馬車の御者) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 6 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (ベルリンの花売女) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 7 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (英国の竜騎兵) /

1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈

- 8 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (旅館のおとこ) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 9 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (和蘭白耳義の犬車) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 10 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (南伊太利の女) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 11 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (ホーレンダムの娘) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 12 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (ペンキ職人 (巴里所見)) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 13 / 小川千甕 (1882-1971) / 西洋風俗新大津絵 (ダンスの女) / 1914-15 (大正3-4)年 / 紙・版画、着色 (20点組) / 64.0 × 30.2 / 小川三郎氏寄贈
- 14 / 小川千甕 (1882-1971) / 城の門 / 1914年 / 紙・水彩 / 38.5 × 28.3 / 小川三郎氏寄贈
- 15 / 小川千甕 (1882-1971) / 土浦にて (柳) / 1914年11月12日 / 紙・水彩 / 26.0 × 19.8 / 小川三郎氏寄贈
- 16 / 小川千甕 (1882-1971) / 於土浦 / 1914年11月17日 / 紙・水彩 / 25.2 × 18.2 / 小川三郎氏寄贈
- 17 / 小川千甕 (1882-1971) / 土浦にて / 1914年11月17日 / 紙・水彩 / 25.8 × 19.8 / 小川三郎氏寄贈
- 18 / 小川千甕 (1882-1971) / たき火 / 1914年12月 / 紙・水彩 / 31.4 × 22.8 / 小川三郎氏寄贈
- 19 / 小川千甕 (1882-1971) / 岩山の麓の蔵 / 1914年5月 / 紙・水彩 / 24.7 × 18.7 / 小川三郎氏寄贈
- 20 / 小川千甕 (1882-1971) / 水郷 ポブラ / 1915年 / 紙・水彩 / 24.4 × 33.2 / 小川三郎氏寄贈
- 21 / 小川千甕 (1882-1971) / 山麓の畑 / 1915年11月 / 紙・水彩 / 39.5 × 28.8 / 小川三郎氏寄贈
- 22 / 小川千甕 (1882-1971) / 漁村風景、犬と鶏 / 1915年1月 / 紙・水彩 / 26.5 × 35.4 / 小川三郎氏寄贈
- 23 / 小川千甕 (1882-1971) / 田園風景 / 1915年1月 / 紙・インク / 33.7 × 26.7 / 小川三郎氏寄贈
- 24 / 小川千甕 (1882-1971) / 黒犬 / 1915年1月 / 紙・水彩 / 38.1 × 28.0 / 小川三郎氏寄贈
- 25 / 小川千甕 (1882-1971) / 街道風景 / 1915年3月 / 紙・水彩 / 33.2 × 23.6 / 小川三郎氏寄贈
- 26 / 小川千甕 (1882-1971) / 耕す人二人 / 1915年3月 / 紙・水彩 / 30.2 × 22.8 / 小川三郎氏寄贈
- 27 / 小川千甕 (1882-1971) / 田園春景 / 1915年3月 / 紙・水彩 / 27.0 × 32.5 / 小川三郎氏寄贈
- 28 / 小川千甕 (1882-1971) / 土手 / 1915年3月 / 紙・水彩 / 26.3 × 36.8 / 小川三郎氏寄贈
- 29 / 小川千甕 (1882-1971) / 漁村風景 / 1915年3月25日 / 紙・水彩 / 23.0 × 30.0 / 小川三郎氏寄贈
- 30 / 小川千甕 (1882-1971) / 潮来にて / 1915年6月 / 紙・水彩 /

- 24.3 × 33.0 / 小川三郎氏寄贈
- 31 / 小川千襲 (1882-1971) / 越後出雲崎大谷屋にて / 1916年 / 紙・水彩 / 25.0 × 18.2 / 小川三郎氏寄贈
- 32 / 小川千襲 (1882-1971) / 芝居の馬車 / 1916年10月 / 紙・水彩 / 34.5 × 25.8 / 小川三郎氏寄贈
- 33 / 小川千襲 (1882-1971) / 大嶋元村三原館より / 1916年1月7日 / 紙・水彩 / 24.2 × 23.2 / 小川三郎氏寄贈
- 34 / 小川千襲 (1882-1971) / 門間春雄訪問記 / 1917年 / 紙本着色画帖 13図 / 23.3 × 35.0 (各) / 寄託作品
- 35 / 小川千襲 (1882-1971) / 観世音菩薩 / 1917年 / 紙本着色 軸 / 135.1 × 33.7 / 星野画廊寄贈
- 36 / 小川千襲 (1882-1971) / 紀伊新宮熊野 画稿 / 1917年 / 紙・水彩 / 24.1 × 33.1 / 小川三郎氏寄贈
- 37 / 小川千襲 (1882-1971) / 紀伊新宮河原 / 1917年頃 / 麻布・油彩 / 45.5 × 52.7 / 阿部七重氏寄贈
- 38 / 小川千襲 (1882-1971) / 越後瀨波海岸の松林 / 1919年 / 板・油彩 / 23.8 × 33.0 / 小川三郎氏寄贈
- 39 / 小川千襲 (1882-1971) / 漁村風景 (かごを背負う女性) / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 22.0 × 27.6 / 小川三郎氏寄贈
- 40 / 小川千襲 (1882-1971) / 舟に干し草を積む / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 32.9 × 24.4 / 小川三郎氏寄贈
- 41 / 小川千襲 (1882-1971) / 丘陵と煙突 / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 25.8 × 35.8 / 小川三郎氏寄贈
- 42 / 小川千襲 (1882-1971) / 漁樵問答 / 制作年不詳 / 絹本着色 軸 / 132.5 × 41.2 / 星野画廊寄贈
- 43 / 小川千襲 (1882-1971) / 京都郊外 / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 24.0 × 44.0 / 小川三郎氏寄贈
- 44 / 小川千襲 (1882-1971) / 山麓・農作業 / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 29.2 × 24.3 / 小川三郎氏寄贈
- 45 / 小川千襲 (1882-1971) / 水郷・紫 / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 31.7 × 25.0 / 小川三郎氏寄贈
- 46 / 小川千襲 (1882-1971) / 和歌書 (新井謹也旧蔵) / 制作年不詳 / 紙本墨書 / 85.1 × 27.3 / 星野画廊寄贈
- 47 / 小川千襲 (1882-1971) / 川沿いの蔵 / 明治末 / 紙本着色 / 134.3 × 30.0 / 個人蔵
- 48 / 小川千襲 (1882-1971) / 八瀬少女 / 明治末 / 紙本着色 / 129.5 × 30.0 / 個人蔵
- 49 / 小川千襲 (1882-1971) / スケッチブック 13冊 (笠置、亀戸、浅草、泉岳寺、瀬上、柳津、喜多方、檜原、山都、白河、棚倉等) / 冊子 / 小川三郎氏寄贈
- 50 / 門間春雄 (1890-1919) / 門間春雄 短歌書 / 一幅 / 寄託作品
- 51 / 門間春雄 (1890-1919) / 門間春雄 短歌書 / 一幅 / 寄託作品
- 52 / 門間春雄 (1890-1919) / 門間春雄 短歌書 / 一幅 / 寄託作品
- 53 / 木村芳雨 (1877-1917) / 爵 / 1916年 / 銅 / 32.9 × 16.2 × 21.5 / 蕨純子氏寄贈
- 54 / 平福百穂 (1877-1933) / 赤茄子と芋 / 1911年 / 絹本着色 軸装 / 134.3 × 53.4
- 55 / 森田恒友 (1881-1933) / 田代与三久宛書簡 / 1916-17年頃 / 紙・墨 卷子装 (2巻) / 寄託資料
- 56 / 森田恒友 (1881-1933) / 漆絵 茶碗 / 1916-17年頃 / 木・漆、着色 / 7.4 × 6.7 / 個人蔵
- 57 / 森田恒友 (1881-1933) / 日本風景版画第二集 会津之部より (若松城、檜原湖畔、磐梯山麓小湖) / 1917年 / 紙・木版

- 58 / 小川芋銭 (1868-1938) / 細道絵日記 / 1911 (明治44) / 紙本墨画淡彩 卷子装 / 26.9 × 1115.0
- 59 / 小川芋銭 (1868-1938) / 飲中八仙図屏風 / 1916 (大正5) / 紙本墨画淡彩 八曲一隻 / 118.1 × 31.3 (各) / 寄託作品
- 60 / 小川芋銭 (1868-1938) / 太刀豆の芽菓子皿 / 制作年不詳 / 陶器染付 / 寄託作品
- 61 / 酒井三良 (1897-1969) / 田家晩秋図 / 1924年 / 紙本墨画淡彩 / 134.2 × 30.8 / 小川三郎氏寄贈
- 62 / アララギ11-9 (1918年9月1日)、アララギ26-1 (1933年1月1日) / 個人蔵
- 63 / 喜多方美術倶楽部関係資料 (趣意書、名取春仙画会資料、月次会通知、書簡類、笹屋旅館写真) / 寄託資料
- 64 / 門間春雄宛書簡 (小川千襲、小川芋銭、平福百穂、木村芳雨) / 寄託資料
- 65 / 門間春雄宛葉書 (中村不折、津田清楓、佐久間法師、斎藤茂吉、田代与三久、大曲駒村、油井夫山等) / 寄託資料
- 66 / 門間春雄歌集 (岩波書店 1931年6月10日) / 個人蔵
- 67 / 門間春雄関係資料 (肖像写真、画帖、葉書、和歌短冊、俳句短冊) / 寄託資料
- 68 / 門間春雄旧蔵短冊 (正岡子規、河東碧梧桐、結城哀草果、斎藤茂吉、島崎藤村、小川千襲) / 寄託資料



展示風景



ギャラリートーク (2/10)

(3)「実践 福島県立美術館アートカード」

「みて、かんじて、あじわう展覧会」桜の聖母学院小5年生(11.6)
[順番/カードNo./作家名(生没年)/タイトル/制作年/寸法(cm)
/材質・技法]

●みんなが思うそれぞれの気持ち【気持ち】

- 1 / 54 / 大岩オスカル(1965) / トンネルの向こうの光 / 1997 / 227.0 × 333.0 / カンヴァス・油彩 / *寄託
- 2 / 71 / 佐藤潤四郎(1907-1988) / 車 / 1971 / 牛(H17.7 × W18.6 × D9.4)、車(H11.1 × W11.2 × D10.2) / ガラス、二点セット
- 3 / 9 / アンドリュー・ワイエス(1917-2009) / 松ぼっくり男爵 / 1976 / 80.0 × 84.5 / 板・テンペラ
- 4 / 58 / 安田靉彦(1884-1978) / 茶室 / 1962 / 130.6 × 75.2 / 紙本着色
- 5 / 63 / 斎藤清(1907-1997) / 競艶 / 1973 / 45.3 × 74.5 / 紙・木版
- 6 / 74 / 佐藤玄々(朝山)(1888-1963) / 巢鶏 / 1920頃 / H16.9 × W18.0 × D25.2 / 木彫彩色

●想像の手でさわってみよう!【触覚】

- 1 / 55 / 小林浩(1967-) / 星辰軌道 / 2010 / 259.0 × 194.0 / カンヴァス・アクリル
- 2 / 75 / 橋本高昇(1895-1985) / 白夜 / 1967 / H75.7 × W105.3 × D31.6 / 木
- 3 / 63 / 斎藤清(1907-1997) / 競艶 / 1973 / 45.3 × 74.5 / 紙・木版
- 4 / 74 / 佐藤玄々(朝山)(1888-1963) / 巢鶏 / 1920頃 / H16.9 × W18.0 × D25.2 / 木彫彩色
- 5 / 71 / 佐藤潤四郎(1907-1988) / 車 / 1971 / 牛(H17.7 × W18.6 × D9.4)、車(H11.1 × W11.2 × D10.2) / ガラス、二点セット
- 6 / 38 / 斎藤清(1907-1997) / 会津の冬(51) / 1982 / 38.0 × 51.9 / 紙・木版
- 7 / 51 / 田中敦子(1932-2005) / WORK 1968 / 1968 / φ 194.0 / カンヴァス・エナメル、鉄、モーター

●音で感じてどんな音?【聴覚】

- 1 / 10 / フェルナン・レジェ(1881-1955) / サーカス / 1950 / 42.2 × 64.1 / 紙・リトグラフ(63点組のうち)
- 2 / 63 / 斎藤清(1907-1997) / 競艶 / 1973 / 45.3 × 74.5 / 紙・木版
- 3 / 9 / アンドリュー・ワイエス(1917-2009) / 松ぼっくり男爵 / 1976 / 80.0 × 84.5 / 板・テンペラ
- 4 / 59 / 角田磐谷(1889-1970) / 屋後展望 / 1934 / 181.6 × 192.2 / 絹本着色
- 5 / 52 / 百瀬寿(1944-) / NE. Blue, Blue, Blue and Blue / 1993 / 241.7 × 241.7 / 綿布、ネパール紙・岩絵具
- 6 / 32 / 福王寺法林(1920-2012) / バドガオンの月 / 1982 / 181.8 × 363.6 / 紙本着色
- 7 / 62 / 齋藤隆(1943-) / ドラマ / 1986 / 202.9 × 405.5 / 紙・コンテ

●今日の夕飯何にしよう?【嗅覚・味覚】

- 1 / 57 / 勝田蕉琴(1879-1963) / 仔牛 / 1939 / 169.6 × 184.6 / 絹本着色
- 2 / 74 / 佐藤玄々(朝山)(1888-1963) / 巢鶏 / 1920頃 / H16.9 × W18.0 × D25.2 / 木彫彩色
- 3-1 / 73 / 鈴木治(1926-2001) / 掌上泥象三十八景 10. 風ノ通い路 / 1987 原型制作・2000 焼成 / H10.9 × W7.0 × D1.7 / 陶器(38点組のうち)
- 3-2 / 73 / 鈴木治(1926-2001) / 掌上泥象三十八景 16. 雲ノ帽子 / 1987 原型制作・2000 焼成 / H7.7 × W8.4 × D2.2 / 陶器(38点組のうち)
- 3-3 / 73 / 鈴木治(1926-2001) / 掌上泥象三十八景 17. 赤い月 / 1987 原型制作・2000 焼成 / H9.3 × W8.0 × D3.5 / 陶器(38点組のうち)
- 3-4 / 73 / 鈴木治(1926-2001) / 掌上泥象三十八景 25. 朱夏ノ月 / 1987 原型制作・2000 焼成 / H8.8 × W8.1 × D2.4 / 陶器(38点組のうち)
- 3-5 / 73 / 鈴木治(1926-2001) / 掌上泥象三十八景 30. 山の上にかかる雲 / 1987 原型制作・2000 焼成 / H8.7 × W11.1 × D4.2 / 陶器(38点組のうち)
- 4 / 66 / 加納光於(1933-) / しし座一偶有と変容IV / 1991-92 / 50.5 × 39.2 / 紙・カラーインタリオ
- 5 / 21 / 脇田和(1908-2005) / 窓 / 1966 / 144.3 × 111.6 / カンヴァス・油彩
- 6 / 2 / カミーユ・ピサロ(1830-1903) / エラニーの菜園 / 1899 / 73.0 × 92.0 / カンヴァス・油彩
- 7 / 15 / 安井曾太郎(1888-1955) / ターブルの上 / 1912 / 46.2 × 55.1 / カンヴァス・油彩



展示風景



ギャラリートーク(2/17)

(5) 長谷川利行展



A4 チラシ

会期：平成30年3月24日(土)～4月22日(日)

分野：洋画

展示数：140点

観覧料：一般・大学生 1,000(800)円、高校生 600(500)円、小・中学生 400(300)円 * ()内は20名以上の団体料金

観覧者数：600名(平成30年3月31日まで)

担当：堀 宜雄、伊藤 匡

主催：福島県立美術館

協力：長谷川利行の会

企画協力：一般社団法人 INDEPENDENT

関連事業(平成30年3月31日まで)：

・ゲストトーク

日時：3月24日(土)

講師：小林真結氏(府中市美術館学芸員) 参加者：50名

・担当学芸員によるギャラリートーク

日時：3月25日(日)

解説：堀 宜雄(当館専門学芸員) 参加者：30名

概要：

伝説の洋画家、長谷川利行(1891-1940)。木賃宿をめぐらし、友人知人の肖像を素早い筆さばきで描いては、その絵を売りつけ金をせびる風来坊。しかし、対象の本質をわしづかみにする利行の作品は、近代日本絵画の到達した一つの極である。原色を多用しながら、水墨画の静けさすら感じさせる長谷川利行の芸術を回顧した。

本展は、福島会場を立ち上げりに、東京、愛知、福岡、栃木に巡回した。



展示風景



JR 福島駅前看板



小林真結氏ゲストトーク (3/24)



ギャラリートーク (3/25)

◆出品リスト

[No. / 作品名 / 制作年 / 技法、材質 / 寸法 / 所蔵]

- 1 / 田端変電所 / 1923(大正12)年 / 油彩、カンヴァス / 23.8 × 32.6cm / 広島県立美術館蔵
- 2 / 自画像 / 1925(大正14)年頃 / 油彩、カンヴァス / 32.9 × 23.7cm / 個人蔵
- 3 / 陸橋みち / 1927(昭和2)年 / 油彩、カンヴァス / 21.8 × 45.0cm / 公益財団法人かみや美術館蔵
- 4 / 酒売場 / 1927(昭和2)年 / 油彩、カンヴァス / 53.3 × 65.5cm / 愛知県美術館蔵
- 5 / 浅草停車場 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 52.8 × 72.4cm / 泰明画廊蔵
- 6 / 地下鉄道 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 60.6 × 72.7cm / 個人蔵
- 7 / 夏の遊園地 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 112.0 × 163.0cm / 個人蔵
- 9 / カフェ・パウリスタ / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 53.0 × 72.8cm / 東京国立近代美術館蔵
- 10 / カフェ・オリエント内のスタンド / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 40.0 × 60.6cm / ウッドワン美術館蔵
- 11 / 居酒屋 / 1928(昭和3)年 / 水彩・墨、紙 / 24.2 × 33.0cm / 個人蔵
- 12 / Y子の像 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 22.5 × 15.5cm / 個人蔵
- 14 / 子守娘 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 38.0cm / 個人蔵
- 15 / 針金の上の少女 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 49.5 × 60.3cm / 個人蔵
- 16 / タンクのある風景 / 1929(昭和4)年 / 油彩、カンヴァス / 40.7 × 60.0cm / 個人蔵
- 17 / カフェ・パウリスタ / 1929(昭和4)年 / 油彩、カンヴァス / 41.0 × 60.5cm / 個人蔵
- 18 / 童女 / 1929(昭和4)年 / 鉛筆・パステル、紙 / 28.0 × 17.5cm / 個人蔵
- 19 / カフェの入口 / 1930(昭和5)年 / 油彩、カンヴァス / 60.3 × 50.0cm / 府中市美術館蔵
- 20 / 岸田国土像 / 1930(昭和5)年 / 油彩、カンヴァス / 74.0 × 54.0cm / 東京国立近代美術館蔵
- 21 / カフェの女 / 1930(昭和5)年 / 油彩、板 / 33.0 × 23.6cm / 個人蔵
- 22 / 酒祭り・花島喜世子 / 1930(昭和5)年頃 / 油彩、カンヴァス / 40.9 × 31.9cm / 宮城県美術館蔵(洲之内コレクション)
- 23 / 日暮里駅付近 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 45.6 × 60.9cm / 個人蔵
- 24 / 鉄工場の裏 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 46.0 × 61.0cm / 東京国立近代美術館蔵
- 25 / 風景 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 32.0 × 41.0cm / 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
- 26 / 房州保田砂鉄工場廃屋図 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 38.0 × 45.3cm / 個人蔵
- 27 / クレーンのある風景 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 32.7 × 48.8cm / 呉市立美術館蔵
- 28 / 街並風景(彩美堂) / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 27.5 × 40.8cm /

個人蔵

- 29 / 雷門風景 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 26.0 × 43.0cm / 個人蔵
- 30 / 府美術館 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 52.8 × 65.0cm / 個人蔵
- 31 / 日比谷公会堂 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 12.6 × 21.1cm / 個人蔵
- 32 / 少女(質屋の子守) / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 72.5 × 60.5cm / 個人蔵
- 33 / 男の顔 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 23.8 × 16.6cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 34 / 裸婦 / 1931(昭和6)年 / 水彩、紙 / 23.8 × 28.5cm / 個人蔵
- 35 / 大根の花 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 31.5 × 40.9cm / 名古屋市美術館蔵
- 36 / 百合の花 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 52.6 × 72.1cm / 個人蔵
- 37 / 水泳場 / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 90.9 × 116.7cm / 板橋区立美術館蔵
- 38 / 地下鉄ストアー / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 72.0 × 90.0cm / 東京地下鉄株式会社蔵
- 39 / 二人の活弁の男 / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 74.0 × 58.5cm / 信越放送株式会社蔵
- 40 / 女 / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 97.0 × 130.3cm / 京都国立近代美術館蔵
- 41 / 浅草の活弁 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 39.0 × 30.0cm / 個人蔵
- 42 / 馬のいる風景 / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 12.2 × 15.1cm / 呉市立美術館蔵
- 43 / 遊学館活弁 / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 20.7 × 14.6cm / 呉市立美術館蔵
- 44 / 【要記入】落花生に似た女の容姿(仮題) / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 個人蔵
- 45 / ナイトハウス / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 21.5 × 17.6cm / 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
- 46 / 抱イテ寝モセズ / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 21.0 × 17.5cm / 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
- 47 / 荒川煙突のある風景 / 1933(昭和8)年 / 油彩、カンヴァス / 27.7 × 41.0cm / 個人蔵
- 48 / 矢野文夫氏肖像 / 1933(昭和8)年 / 油彩、カンヴァス / 72.5 × 60.5cm / 個人蔵
- 49 / 女の顔 / 1933(昭和8)年 / 油彩、紙 / 19.0 × 14.7cm / 個人蔵
- 50 / カフェオリエント / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァスボード / 23.9 × 32.8cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 51 / 銀座風景 / 1935(昭和10)年 / 油彩、板 / 27.0 × 39.5cm / 個人蔵
- 52 / 鉄橋の見える風景 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 45.9 × 60.9cm / 個人蔵
- 53 / 荒川風景 / 1935(昭和10)年 / 油彩、ガラス / 44.0 × 65.2cm / 個人蔵
- 54 / 冬野 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 15.7 × 21.8cm / 個人蔵
- 55 / 風景 / 1935(昭和10)年 / 水彩、紙 / 14.0 × 20.5cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 56 / 銀座ビルのある風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 18.5 × 23.5cm / 個人蔵
- 57 / 上野駅前 車坂風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 16.0 × 23.5cm /

個人蔵

- 58 / 風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 23.5 × 31.4cm / 個人蔵
 59 / 大和家かほる / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 41.0 × 32.0cm / 個人蔵
 60 / 安来節の女 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 34.0 × 46.0cm / 個人蔵
 61 / 浅草の女 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 37.9cm / 福島県立美術館蔵
 62 / 四人裸婦 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 24.4 × 30.6cm / 豊島区蔵
 63 / 少女 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 53.2 × 41.2cm / 群馬県立近代美術館蔵
 64 / 閑取 / 1935(昭和10)年 / 油彩、紙 / 21.5 × 17.0cm / 個人蔵
 65 / 熊谷守一像 / 1935(昭和10)年 / 水彩、紙 / 21.0 × 18.0cm / 個人蔵
 66 / 下町の少年像 / 1935(昭和10)年 / 水彩、紙 / 22.7 × 13.7cm / 個人蔵
 67 / 門づけ / 制作年不詳 / 油彩、ボード / 45.0 × 33.2cm / 個人蔵
 68 / 赤い裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、ボード / 26.2 × 17.5cm / 個人蔵
 69 / 花 / 1935(昭和10)年 / 油彩、板 / 33.0 × 23.5cm / 個人蔵
 70 / カフェ・オリエント / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 38.0 × 45.5cm / 個人蔵
 71 / 上野広小路付近 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 31.5 × 41.2cm / 宇都宮美術館蔵
 72 / 風景(浅草) / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 23.8 × 30.2cm / 学校法人モード女学院蔵
 73 / 芝居小屋(旧題名:中華料理店) / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 28.7 × 36.5cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
 74 / 浅草風景 / 1936(昭和11)年 / 水彩・鉛筆、紙 / 18.7 × 23.7cm / 個人蔵
 75 / 浅草風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 37.9 × 45.5cm / 個人蔵
 76 / 浅草ロック / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 23.7 × 31.5cm / 府中市美術館蔵
 77 / 浅草風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 22.5 × 30.0cm / 個人蔵
 78 / 四宮潤一氏像 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 72.6 × 60.7cm / 個人蔵
 79 / 椅子に腰かけた裸婦 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 44.2 × 38.0cm / 個人蔵
 80 / ムーランルージュの踊り子 / 1936(昭和11)年 / 油彩、ボード / 32.9 × 24.0cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
 81 / 女の顔 / 1936(昭和11)年 / 油彩、板 / 24.0 × 28.6cm / 個人蔵
 82 / 裸少女 / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 22.1 × 28.7cm / 個人蔵
 83 / 青いバックの裸婦 / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 28.7 × 24.0cm / 個人蔵
 84 / 足を組む裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 91.0 × 73.0cm / 個人蔵
 85 / 男の像 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 18.2 × 14.4cm / アルプスシャツ株式会社蔵
 86 / 少女像 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 15.0 × 10.0cm / アルプスシャツ株式会社蔵
 87 / 女の顔 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 14.8 × 10.7cm / 個人蔵
 88 / 静物 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 30.5 × 39.5cm /

個人蔵

- 89 / 風景 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 50.5 × 61.0cm / 個人蔵
 90 / 順天堂風景 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 34.0 × 45.5cm / 個人蔵
 91 / 尾久遊園地 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 37.8 × 45.2cm / アルプスシャツ株式会社蔵
 92 / 霊岸島の倉庫 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 44.5 × 37.0cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
 93 / 街景 / 1937(昭和12)年頃 / 油彩、板 / 24.2 × 33.0cm / 宮城県美術館蔵(洲之内コレクション)
 95 / 新宿風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 27.4 × 40.9cm / 個人蔵
 96 / 新宿風景 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 21.2 × 27.0cm / 神奈川県立近代美術館蔵(北川原コレクション)
 97 / 三河島風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 51.5 × 71.0cm / 個人蔵
 98 / 須田町風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 37.9cm / 個人蔵
 99 / 伊豆大島 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 31.2 × 40.0cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
 100 / 大島の海 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 31.8 × 41.0cm / アルプスシャツ株式会社蔵
 101 / 白い背景の人物 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 90.0 × 115.8cm / 個人蔵
 102 / ハーゲンベックの少女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァスボード / 27.0 × 21.2cm / 個人蔵
 103 / モナミの少女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、板 / 33.0 × 24.0cm / 個人蔵
 104 / ノアノアの少女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 52.2 × 32.6cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
 105 / 女の顔(大島アンコ) / 1937(昭和12)年 / 油彩、紙 / 17.4 × 12.4cm / 個人蔵
 106 / 女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 53.1 × 34.0cm / 横須賀美術館蔵
 107 / トルソーの女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 73.0 × 53.0cm / 個人蔵
 108 / 婦人像 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 45.8 × 38.0cm / 公益財団法人大川美術館蔵
 109 / 婦人像 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 33.0cm / 個人蔵
 110 / 二人の女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、紙 / 27.2 × 36.3cm / 公益財団法人大川美術館蔵
 111 / 青布の裸婦 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 52.8 × 70.5cm / 個人蔵
 112 / 眠れる女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 31.8 × 41.0cm / アルプスシャツ株式会社蔵
 113 / 裸婦 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 17.5 × 13.4cm / 個人蔵
 114 / 天城俊彦像 / 1937(昭和12)年 / 水彩、紙 / 17.7 × 13.6cm / 個人蔵
 115 / ラスキ文庫 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 19.0 × 29.5cm / アルプスシャツ株式会社蔵

- 116 / ノアノアの少女図 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァスボード / 32.9 × 23.8cm / 個人蔵
- 117 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、合板に紙 / 27.5 × 40.9cm / 個人蔵(福島県立美術館寄託)
- 118 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 29.5 × 23.1cm / 個人蔵
- 119 / 紫の裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 32.4 × 22.7cm / 個人蔵
- 120 / 裸婦 / 1937(昭和12)年 / 油彩、ガラス / 16.4 × 12.0cm / 宮城県美術館蔵(洲之内コレクション)
- 121 / 湯浴する女 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 16.5 × 12.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 122 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 13.2 × 8.5cm / 神奈川県立近代美術館蔵(北川原コレクション)
- 123 / サーカスの女 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 16.0 × 11.0cm / 個人蔵
- 124 / 女の顔 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 12.4 × 9.7cm / 個人蔵
- 125 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 10.0 × 14.5cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 126 / ねこ / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 6.4 × 9.0cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 127 / 硝子器にりんご / 1937(昭和12)年 / 油彩、紙 / 27.0 × 36.8cm / 個人蔵
- 128 / 菊花など / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 41.0 × 31.8cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 129 / 水蓮 / 1937(昭和12)年 / 油彩、板 / 24.2 × 33.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 130 / 田端風景 / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァス / 37.0 × 44.5cm / 個人蔵
- 131 / 新宿風景 / 1938(昭和13)年 / 水彩、紙 / 45.5 × 60.5cm / 個人蔵
- 132 / 隅田川風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 41.3 × 53.7cm / 個人蔵
- 133 / 婦人像 / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァスボード / 27.0 × 21.0cm / 個人蔵
- 134 / 少女像 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 22.0 × 15.5cm / 個人蔵
- 136 / 相撲 / 1938(昭和13)年 / 油彩、ガラス / 16.5 × 12.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 137 / 相撲(駒の里・桂川取組) / 1938(昭和13)年 / 油彩、ガラス / 16.6 × 12.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 138 / 双葉山土俵入 / 1938(昭和13)年頃 / 油彩、ボード / 23.9 × 32.9cm / 個人蔵
- 139 / 土州山 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 21.4 × 13.2cm / 個人蔵
- 140 / 名寄岩 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 21.3 × 13.7cm / 個人蔵
- 141 / バンジー / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァス / 25.3 × 40.0cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 142 / 龍泉寺町風景 / 1939(昭和14)年 / 油彩、紙 / 24.5 × 35.5cm / 個人蔵
- 143 / 荒川風景 / 1939(昭和14)年 / 油彩、ボード / 40.0 × 50.0cm / 府中市美術館蔵
- 144 / 男の顔(自画像) / 1939(昭和14)年 / 水彩、紙 / 37.0 × 28.5cm / 個人蔵

■福島不出品

- 8 / 汽罐車庫 / 1928(昭和3)年頃 / 油彩、カンヴァス / 112.0 × 194.0cm / 鉄道博物館蔵
- 13 / 鬚光像 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 45.7 × 37.8cm / 個人蔵
- 94 / 新宿風景 / 1937(昭和12)年頃 / 油彩、カンヴァス / 46.0 × 53.0cm / 東京国立近代美術館蔵
- 135 / 裸婦 / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァス / 45.4 × 52.7cm / 石橋財団ブリヂストン美術館蔵

■資料リスト

[資料 No. / 資料名 / 発行年 / 形態 / 寸法 [cm] / 所蔵]

- 001 / 長谷川利行『長谷川木葦集』、私家版 / 1919(大正8)年9月23日 / 書籍 / 15.5 × 11.0 / 種市登氏蔵
- 002 / 矢野文夫『』、交蘭社 / 1928(昭和3)年7月1日 / 書籍 / 19.0 × 12.7 / 個人蔵
- 003 / 高橋新吉『日食 高橋新吉詩集』、素人社書屋 / 1934(昭和9)年3月28日 / 書籍 / 19.5 × 13.5 / 個人蔵
- 004 / 矢野文夫編『美術手帖』2号 / 1935(昭和10)年5月1日 / 書籍 / 22.2 × 15.1 / 個人蔵
- 005 / 矢野文夫『夜の歌—長谷川利行とその芸術』、邦画荘出版 / 1941(昭和16)年11月15日 / 書籍 / 18.9 × 13.3 / 福島県立美術館蔵
- 006 / 高崎正男編『長谷川利行画集』、明治美術研究所 / 1942(昭和17)年6月30日初版、9月19日改訂増補版(1,000部) / 書籍 / 26.4 × 18.5 / 福島県立美術館蔵
- 007 / 前田夕暮『青天祭』、明治美術研究所 / 1943(昭和18)年2月20日初版、7月15日改訂増補版 / 書籍 / 21.2 × 15.5 / 個人蔵、福島県立美術館蔵
- 008 / 矢野文夫『伊吹 矢野文夫詩集』、邦画荘出版 / 1944(昭和19)年1月20日 / 書籍 / 21.1 × 15.0 / 個人蔵
- 009 / 『白木屋 長谷川利行遺作展目録』、白木屋百貨店 / 1952(昭和27)年4月12—16日 / 目録 / 16.0 × 11.0 / 個人蔵
- 010 / 矢野文夫編『野獣派 長谷川利行』、芸術社 / 1954(昭和29)年4月30日 / 書籍 / 18.3 × 12.8 / 福島県立美術館蔵
- 011 / 矢野文夫『放水路落日—長谷川利行晩年—』、芸術社 / 1960(昭和35)年12月15日 / 書籍 / 19.0 × 13.2 / 福島県立美術館蔵
- 012 / 『長谷川利行画集』、中央公論美術出版 / 1963(昭和38)年3月20日 / 書籍 / 29.2 × 21.8 / 福島県立美術館蔵
- 013 / 『長谷川利行画集』、講談社 / 1972(昭和47)年9月25日 / 書籍 / 35.0 × 26.3 / 福島県立美術館蔵
- 014 / 『長谷川利行作品集』、八重洲美術店 / 1973(昭和48)年9月14日 / 書籍 / 26.4 × 19.0 / 福島県立美術館蔵
- 015 / 矢野文夫『土砂降り』、マリア書房 / 1974(昭和49)年10月1日 / 書籍 / 26.1 × 18.6 / 個人蔵
- 016 / 『放浪の天才画家 長谷川利行展』、毎日新聞社 / 1976(昭和51)年2月3日 / 書籍 / 24.0 × 25.1 / 福島県立美術館蔵
- 017 / 『長谷川利行未発表作品集』、東広企画 / 旺国社 / 1978(昭和53)年5月1日 / 書籍 / 28.6 × 21.6 / 福島県立美術館蔵
- 018 / 長谷川利行画集刊行委員会『長谷川利行画集』、協和出版 / 1980(昭和55)年6月10日 / 書籍 / 30.6 × 26.8 / 福島県立美術館蔵
- 019 / 矢野文夫編『長谷川利行全文集』、五月書房 / 1981(昭和56)年9月30日 / 書籍 / 22.5 × 16.0 / 福島県立美術館蔵
- 020 / 『東京の落書き 1930's 長谷川利行と小熊秀雄の時代』、板橋区立美術館 / 1988(昭和63)年9月17日 / 書籍 / 25.6 × 18.8 / 福島県

立美術館蔵

- 021 / 『生誕 100 年記念 長谷川利行展』、朝日新聞社 / 1991(平成 3)年 6 月 12 日 / 書籍 / 25.3 × 18.6 / 福島県立美術館蔵
- 022 / 『歿後 60 年長谷川利行展』、東京新聞 / 2000(平成 12)年 5 月 27 日 / 書籍 / 28.0 × 23.0 / 福島県立美術館蔵
- 023 / 『長谷川利行画文集 どんとせえ!』、求龍堂 / 2000(平成 12)年 10 月 27 日 / 書籍 / 28.0 × 23.0 / 福島県立美術館蔵
- 024 / 『曠野の太陽 (詩歌新人叢書第 4 編)』、白日社 [表紙画] / 1931(昭和 6)年 5 月 15 日 / 書籍 / 19.5 × 13.8 / 個人蔵
- 025 / 『長谷川利行展』、内村美術店 / 1989(平成元)年 11 月 6 日 / 書籍 / 20.0 × 21.2 / 福島県立美術館蔵
- 026 / 『放浪の鬼才 長谷川利行展』、東京新聞・東京中日新聞 / 1968(昭和 43)年 3 月 12 日 / 書籍 / 20.0 × 21.2 / 福島県立美術館蔵
- 027 / 『長谷川利行—幻の名作と、素描力』、不忍画廊 / 2008(平成 20)年 11 月 17 日 / 書籍 / 21.0 × 21.0 / 福島県立美術館蔵
- 028 / 『放浪の鬼才 長谷川利行展』、東京新聞・東京中日新聞 / 1968(昭和 43)年 3 月 12 日 / 書籍 / 21.0 × 21.2 / 福島県立美術館蔵
- 029 / 『美之園』第 13 卷第 2 号「画廊巡礼 (一)」[1936 年天城画廊 個展の写真掲載] / 1937(昭和 12)年 2 月 / 書籍 / 26.0 × 19.0 / 福島県立美術館蔵
- 030 / 『アトリエ』第 12 卷第 7 号「長谷川利行氏展 於銀座アモレ」個展会場 / 1935(昭和 10)年 7 月 / 書籍 / 26.1 × 18.9 / 福島県立美術館蔵
- 031 / 矢野文夫『空しき青春』、白樺書房 / 1947(昭和 22)年 10 月 / 書籍 / 18.3 × 12.8 / 個人蔵
- 032 / 矢野文夫『長谷川利行』、美術出版社 / 1974(昭和 49)年 5 月 / 書籍 / 20.5 × 15.0 / 福島県立美術館蔵
- 033 / 『鬼才 長谷川利行と二人—熊谷登久平と矢野茫土』一関市博物館 / 2001(平成 13)年 9 月 22 日 / 書籍 / 28.0 × 22.0 / 福島県立美術館蔵
- 034 / 田崎暁之介『野ざらしの詩』、協和出版 / 1980(昭和 55)年 5 月 / 書籍 / 19.3 × 14.0 / 福島県立美術館蔵
- 035 / 吉田和正『アウトローと呼ばれた画家—評伝長谷川利行』、小学館 / 2000(平成 12)年 6 月 22 日 / 書籍 / 19.3 × 14.0 / 福島県立美術館蔵

美術館観覧者数一覧表

平成29年度観覧者数一覧

平成30年3月31日現在(単位:人)

展覧会名	開催期間	有 料										無 料		観覧者総計		
		個		人		団 体		年 間 観 覧 券				有 料 合 計			無 料・招待等	
		一般・大学生	高校生	小・中学生	小 計	一般・大学生	高校生	小・中学生	小 計	一般・大学生	高校生	小・中学生	小 計			
第1期～第4期	279日間	3,678			3,678	299			299	810			810	4,787	1,353	6,140
移動美術館 ※合計に含めず 「世界/日本/福島の名作」 11/8～22	13日間														346	346
企画観覧券で常設展を観覧	通年														10,029	10,029
免除者(100/100)学校教育活動	通年														81	81
免除者(100/100)学校引率者	通年														14	14
免除者(50/100)県又は市町村主催	通年	33			33	0			0						33	47
常設無料入館 (こどもの日)	5月5日														176	176
〃 (県民の日)	8月21日														121	121
〃 (敬老の日)	9月20日														50	50
〃 (文化の日)	11月3日														189	189
小・中・高校生無料入館	通年														1,248	1,248
〃	〃														558	558
〃	〃														410	410
〃	〃														0	0
小 計		3,711	0	0	3,711	299	0	0	299	810	0	0	810	4,820	14,229	19,049
企 画 展																
1 国立西洋美術館所蔵 ミューズ、まなごしの先の女性たち	4/22～7/2 62日間	7,056	112	167	7,335	478	146	370	994	511		16	527	8,856	1,715	10,571
2 ジヤック・アラン・フルティエ展	7/22～9/10 45日間	2,390	60	166	2,616	394	2	17	413	292	2	4	298	3,327	815	4,142
3 斎藤清からのメッセージ展	10/7～12/10 55日間	5,563	13	86	5,662	1,109	3	231	1,343	492		1	493	7,498	2,036	9,534
4 Gallery F 2018 コレクション再発見	2/3～3/4 26日間				0				0				0	0	1,528	1,528
5 長谷川利行展	3/24～3/31 7日間	388	3	7	398	0			0	94		1	95	493	107	600
小 計		15,397	188	426	16,011	1,981	151	618	2,750	1,389	2	22	1,413	20,174	6,201	26,375
学校連携共同WS展、年賀状展入館者数															928	928
教育普及事業、講演会、コンサート、シンポジウム、 館長講座、博物館実習参加者、内覧会、など															1,193	1,193
小 計															2,121	2,121
合 計		19,108	188	426	19,722	2,280	151	618	3,049	2,199	2	22	2,223	24,994	22,551	47,545

1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

平成29年度は、県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収集作家（斎藤清、渡部菊二、小川千穂、横山操など）の調査を重点的に行った。

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、美術館への年賀状展、学校と連携しての出張実技講座を行っている。

1 館内解説

当館では以下のような館内解説を行っている。

(1) 団体解説

当館では、解説を予め申し込んだ学校や公民館などの団体に対し、美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

平成29年度の団体総数は104団体2,856人、そのうち解説を行ったのは63団体1,987人である。

(2) 質問電話

展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスを行っている。

(3) 解説シート

常設展示室に展示中の作家・作品の解説シートを設置している。

2 鑑賞講座

館長講座「～パリの異邦人～エコール・ド・パリの画家たち」

講師：早川博明（当館館長）

会場：当館講義室

第1回「モディリアアーニ」

日時：平成29年5月13日(土) 参加者：34名

第2回「シャガール」

日時：平成29年7月8日(土) 参加者：35名

第3回「キスリングとパスキン」

日時：平成29年9月9日(土) 参加者：31名

第4回「藤田嗣治」

日時：平成29年11月11日(土) 参加者：38名

第5回「スーティンとザッキン」

日時：平成30年1月13日(土) 参加者：23名

第6回「ローランサンとユトリロ」

日時：平成30年3月10日(土) 参加者：30名

3 創作プログラム

広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、各種プログラムを実施している。

①親子で作ろう！シルバーアクセサリー

日時：平成29年5月3日(木)

講師：竹田智美氏（PMC ジャパン認定講師） 参加者：16名



②リトグラフで描こう

日時：平成29年6月17日(土)、18日(日)
講師：宮崎文子氏(版画家) 参加者：12名



③水鉄砲でTシャツ作り！

日時：平成29年7月15日(土)
講師：青山ひろゆき氏(画家) 参加者：16名



④チェキで撮ろう！〇〇の瞬間

日時：平成29年7月30日(日)、8月2日(火)、5日(土)
講師：白木ゆう美(当館学芸員)、國島敏(当館主任学芸員)
参加者：34名



⑤ぐるぐる回る！回転絵画をえがこう！

日時：平成29年8月20日(日)
講師：國島敏(当館主任学芸員) 参加者：8名



⑥どきどきわくわく！ピンホールカメラ体験

日時：平成29年9月2日(土)、3日(日)
講師：千葉奈穂子氏(写真家) 参加者：8名



⑦多色木版画の制作 木目と色彩のハーモニー

日時：平成29年10月9日(月)祝、14日(土)、21日(土)、29日(日)
講師：太田隆明氏(版画家) 参加者：12名



⑧なりきり！清先生 版でつくる動物たち

日時：平成29年11月5日(日)
講師：白木ゆう美(当館学芸員)、國島敏(当館主任学芸員)
参加者：5名



⑨トンテンカンテン軽銀でつくるキャンドルトレー

日時：平成29年12月23日(日)
講師：牧野広大氏(金属工芸作家) 参加者：16名



⑩湧水画(わきみずが)

日時：平成30年2月11日(日)
講師：古川弓子氏(美術家) 参加者：9名



4 美術館への年賀状展

県内の小・中学生から寄せられた手作り年賀状を展示した。
 日時：平成29年1月12日(木)～31日(火)
 応募総数：258通 観覧者数：532名



5 博物館実習

学芸員取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導している。

日時：平成29年8月22日(火)～27日(日)
 受講者：6名

6 美術館・学校教育連携事業

学校週5日制が開始されることを契機に、平成13年12月～平成15年2月にかけて県内の小、中、高校の教師と学校・美術館をとりまく現状や問題点を情報交換し、継続的な連携活動ができる密接な関係を築くため「美術館・学校教育連携協議会」を開催した。協議での学校からの要望をもとに以下の事業を行った。

(1) 先生と考える美術館ミーティング

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開講する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。今年度は、前期（県教育センター）後期（当館）の2回に分けて開催した。

日時：平成29年8月7日(日)、11月9日(木)
 参加者：小学校教諭3名、中学校教諭5名、高等学校教諭2名、支援学校1名 計11名

(2) 学校連携共同ワークショップ

平成15年度より開催する連携事業で、子どもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心とした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域のニーズに対応を図っている。

今年度は幼稚園・小・中・高校合わせて12校で開催した。ワークショップ作品は平成29年12月16日(土)～24日(木)、および平成30年1月6日(土)～14日(木)の期間、当館企画展示室Bにて活動中のスナップ写真とあわせて展示。さらに平成30年2月7日(火)～12日(日)までいわき市暮らしの伝承郷でも展示した。

①デコって、張りこる～！不思議で楽しい張り子づくり

講師：橋本彰一氏（工芸家）

開催校および参加人数：

- ・9月26日(火) 認定こども園ぼだい樹
「幼稚園オリジナル《ぼだいじゅだるま》づくり」
参加者：年長44名
- ・10月10日(火) いわき市立平第二小学校
「好きな動物を張り子でつくろう」
参加者：特別支援学級10名
- ・10月14日(土) 二本松市立安達中学校
「宇宙をテーマに、張り子アート光りのオブジェ制作」
参加者：美術部13名
- ・10月15日(日) 会津若松市立第一中学校
「森のタネをつくろう！」
参加者：美術部20名
- ・11月6日(月) 学校法人富田幼稚園
「ドングリのかたちをした大きなランプシェードづくり」
参加者：年長103名
- ・11月20日(月) 福島市立福島養護学校高等部
「張り子の技法を使った、オリジナル壁かけ時計制作」
参加者：1年16名
- ・11月21日(火) 二本松市立渋川小学校
「大きな木に実る自分の《夢の木の実》をつくろう」
参加者：4年14名
- ・11月26日(日) 福島県立小野高等学校
「狼の親子の張り子を美術部で制作」
参加者：美術部25名



認定こども園ぼだい樹 (9/26)



会津若松市立第一中学校 (10/15)



二本松市立渋川小学校 (11/21)

②紙で絵地図を作ろう！

講師：佐藤洋美氏（デザイナー、コラージュ作家）

開催校および参加人数：

- ・10月5日(木) 学校法人西郷幼稚園
「幼稚園バスが通る、みんなの町の絵地図をつくろう」
参加者：全園児 136名
- ・10月25日(木) 福島市立杉妻幼稚園
「みんなのすむまちの絵地図をつくろう！」
参加者：全園児 45名
- ・10月26日(木) 学校法人開南幼稚園
「幼稚園の園舎と園庭をコラージュで表現」
参加者：年長 38名
- ・11月8日(木) 会津美里町立高田中学校
「高田の町の絵地図を制作」
参加者：2年 86名



学校法人開南幼稚園 (10/26)



会津美里町立高田中学校 (11/8)

7 友の会、協力会との連携

(1) 友の会通常総会

日時：平成29年5月21日(日)

会場：美術館講義室 参加者：20名

(2) 友の会研修旅行（本間美術館、酒田市土門拳記念館）

日時：平成29年9月3日(日)

参加者：酒井哲朗（当館名誉館長）、早川博明（当館館長）、
伊藤 匡（当館専門員）ほか計 45名

(3) 友の会実技講座「サイアノタイプ体験」

日時：平成29年9月10日(日)

会場：当館実習室

講師：國島 敏（当館主任学芸員） 参加者：6名

(4) 友の会美術鑑賞講座

日時：平成29年10月14日(土)

会場：美術館講義室

講師：早川博明（当館館長） 参加者：30名

(5) 友の会アートチャリティ・バザー

日時：平成29年12月3日(日)

会場：当館エントランスホール



アートチャリティ・バザー (12/3)

(6) 協力会「ワークショップマート～ものづくりの庭」の開催

美術館庭園にテントを設置して当館収蔵作品をテーマに、ものづくりワークショップを開催した。

日時：平成29年9月23日(土)

会場：当館庭園 参加者：約700名

(7) 協力会「触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ」の開催

斎藤清《会津の冬》を取り上げ、視覚障がい者と晴眼者と一緒に作品鑑賞を楽しんだ。

日時：平成29年11月3日(金)祝

会場：当館実習室、企画展示室

講師：真下弥生氏（ルーテル学院大学非常勤講師）、

半田こづえ氏（筑波大学人間系障害科学域助教）

協力：福島県点字図書館

参加者：20名

(8) ミュージアム・コンサート

美術館、協力会、友の会の三者による共同開催。

「春を呼ぶジャズ&ポピュラー名曲の宴」

日時：平成30年3月3日(土)

会場：美術館エントランスホール（参加無料）

演奏：斎藤 栞氏（ヴォーカル）、三鈴美香氏（キーボード）、
岩谷 真氏（ベース）、Mr. Gretch（ドラム）



ミュージアム・コンサート (3/3)

(9) 協力会「アートカード『ぼけっとアート』」貸し出し

平成29年度4月より鑑賞補助教材「ぼけっとアート」の貸し出しを始めた。

対象：県内の小・中・高校その他教育関係機関

貸出総数：78か所、368セット

8 その他の事業

(1) 県立図書館との連携事業「アートなおはなしかい」

小学生とその保護者を対象にした、図書館での絵本の読み聞かせと工作ワークショップ。

日時：平成29年12月9日(土)

参加者：30名

(2) 館外での活動

①委員の委嘱等

- ・いわき市立美術館収集評価委員（荒木康子学芸課長）
- ・「新しいAIZUの美術展」選考委員（荒木康子学芸課長）
- ・福島市写真美術館運営委員（堀 宜雄専門学芸員）
- ・裏磐梯猪苗代フォトコンテスト審査員（堀 宜雄専門学芸員）
- ・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員（増渕鏡子専門学芸員）
- ・相馬市史調査編さん委員（増渕鏡子専門学芸員）
- ・須賀川市歴史文化基本構想策定委員（増渕鏡子専門学芸員）
- ・一般財団法人可月亭庭園美術館評議員（増渕鏡子専門学芸員）
- ・西会津国際芸術村公募展審査員（坂本篤史副主任学芸員）

②寄稿、発表、受賞等

- ・国見町小坂総合農村管理センター「斎藤清と西洋の名画」講師
平成29年8月27日(日)（早川博明館長）
- ・宮城県美術館「ミニレクチャー+ディスカッション 美術館の『コレクション』をめぐって」講師 平成29年6月11日(日)（荒木康子学芸課長）
- ・二本松市レポートあだち「レモン忌講演会 智恵子の横貌—『青鞥』表紙絵のナゾ」講師 平成29年10月1日(日)（堀 宜雄専門学芸員）
- ・喜多方市美術館「喜多方美術倶楽部から100年—大正時代・昭和の美術」ギャラリートーク講師 平成29年12月16日(土)（増渕鏡子専門学芸員）
- ・福島市アクティブシニアセンターアオウゼ「名画でたどる美の世界～福島県立美術館コレクションより」講師 平成30年2月23日(金)（坂本篤史副主任学芸員）
- ・福島大学行政政策学類「博物館経営論」講師 平成29年4月11日(火)～7月15日(火) 全15回（伊藤 匡専門員）

◆関係法規

A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品（以下「展示品」という。）を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと（教育委員会の許可を受けた場合を除く。）。
- 三 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと（教育委員会の許可を受けた場合を除く。）。
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。（平11条例92・一部改正）

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。（平11条例92・追加）

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（平11条例92・旧第8条線上）

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

（平11条例92・旧第9条線上）

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

（平9条例53・平15条例52・平25条例118・一部改正）

区分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に 利用する場合)
	個人	団体		
一般（大学生を含む。）	270円	210円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合（常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。）の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。

2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附則（平成9年条例第53号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附則（平成11年条例第92号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則（平成15年条例第52号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則（平成25年条例第118号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

（平24条例42・一部改正）

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則（平成24年条例第42号）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

D 福島県立美術館条例施行規則

（休館日）

第1条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期的休館日は、次のとおりとする。

- 一 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。
- 二 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 三 1月1日から同月4日まで。
- 四 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

（昭63教委規則8・一部改正）

（開館時間）

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

（観覧手続）

第3条 館長は、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。）第4条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

（平15教委規則2・一部改正）

（年間観覧者に係る入館手続）

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第1号様式の2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

（平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正）

（観覧料の免除及びその手続）

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者にあつては全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあつては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあつては10日前までに観覧料免除申請書（第2号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第3号様式）を交付するものとする。

（昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正）

（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

- 一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。） 全額
- 二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平15教委規則2・一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平12教委規則15・旧第7条繰上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平12教委規則15・旧第8条繰上）

附則 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

第1号様式（第3条関係）

観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館	観覧券 (観覧者の区分) (金額) 福島県立美術館
--	--

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）
（平15教委規則2・追加）

（表）

年間観覧券
福島県立美術館

（裏）

（交付番号）	（観覧者の区分）
（有効期間）	
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
（氏名）	
（学校名）（学年）	
福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第2号様式(第4条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般	人	その他()	人
	大 学 生		()	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職		氏名	
連絡先及び電話番号	電話 ()			
観覧料	免除率	免除金額	免除の税務	
円	円	円	円	
年 月 日				
上記のとおり承認してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

(注) 印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号
年 月 日

福島県立美術館長

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般	人	その他()	人
	大 学 生		()	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
注 意 事 項				
観覧料	免除率	免除金額		
円		円		

第4号様式（第5条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称				
観覧料の納入月日	年	月	日	
既納観覧料の区分及び金額	区	分	人	数 金 額
				人 円
合 計				
返還を申請する理由				
連絡先及び電話番号	電話()			
観覧料返還率	返還金額	返還の税務		
円	円	円		
上記のとおり返還してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	
受付月日	・	・	決裁月日	・

(注) 印の欄は、記入しないこと。

附 則（昭和60年教委規則第3号）

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年教委規則第8号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成3年教委規則第13号）

1 この規則は、交付の日から施行する。

2 この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

総務課

学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 一 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
 - 二 公印の管理に関すること。
 - 三 人事に関すること。
 - 四 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
 - 五 予算の編成、経理及び執行に関すること。
 - 六 物品の調達及び処分に関すること。
 - 七 財産の管理に関すること。
 - 八 観覧料の徴収に関すること。
 - 九 福島県立美術館運営協議会に関すること。
 - 十 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。
- 2 学芸課においては、次の事務を行う。
- 一 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
 - 二 美術に関する調査及び研究に関すること。
 - 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
 - 四 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
 - 五 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。
 - 六 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。
 - 七 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関する

ること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

（主任主査その他の職）

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

（平14教委規則18・平25教委規則8・一部改正）

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第8号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

（設置）

第1条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は5人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

改正 昭和59年4月1日、昭和61年4月1日

G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要綱

1 趣旨

(1) この要綱は、財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例(昭和39年福島県条例第22号)第7条、福島県財務規則(昭和39年福島県条例第17号。以下「財務規則」という。)第156条、福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第7条及び福島県立美術館条例施行規則(昭和59年福島県教育委員会規則第12号)第7条の規定により、福島県立美術館(以下「館」という。)が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料(以下「美術品等」という。)の貸出し及び写真撮影等(以下「撮影」という。)の取り扱いに関する基準及び手続きを定めるものとする。

(2) 美術品等が福島県美術品等取得基金(以下「基金」という。)所有のものであるときは、昭和59年12月28日付59教財第513号、福島県教育庁財務課長通知により、美術品等の貸出しの手続きは館長の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出しの基準及び撮影については、この要綱を準用するものとする。

2 美術品の貸出し

(1) 貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当でないと認めるときは、貸出しを行わないものとする。

(2) 貸出しの手続き

ア 学芸課は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者(以下「借受者」という。)から物品借受申請書(財務規則第102号様式。以下「申請書」という。)を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

(ア) 展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

(イ) 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の貸出しを承認する旨の書類

(ウ) その他必要と認める書類

イ 学芸課は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ 学芸課は、この要綱2の(2)のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書(財務規則第10号様式)により当該貸出しについて館長の決裁を受ける

とともに、総務課に關係書類を送付するものとする。

エ 総務課は、この要綱2の(2)のウの書類の送付を受けたときは、速やかに福島県教育庁生涯学習領域(以下「生涯学習領域」という。)に対し美術品等の貸出しについて必要な措置の請求(別紙様式第1号)をしなければならない。

オ この要綱2の(2)のアからエまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

(3) 貸出しの決定

ア 総務課は、生涯学習領域から美術品等の貸出しについて必要な措置が完了した旨の通知を受けたときは速やかに学芸課に対して、その旨連絡するとともに關係書類を送付するものとする。

イ 学芸課は、この要綱2の(3)のアの通知を受けたときは借受者に対して、貸出し承認の通知(別紙様式第2号)をするものとする。

ウ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

エ 美術品等の貸出しは、無料とする。

(4) 貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第3者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 図録作成等のため美術品等の写真撮影をする場合は、この要綱3により別途手続を行うこと。

キ 美術品等の搬出または搬入に対して借受者は責任者を立会させること。

ク その他必要と認めること。

(5) 美術品等の引渡し

ア 館長(物品管理者)は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、総務課長(物品取扱員)に対し、貸付物品払出通知書(財務規則第102号様式)により、その引渡しを指示するものとする。

イ 総務課長(物品取扱員)は、館長(物品管理者)から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 総務課長(物品取扱員)は、美術品等を引渡ししたときには物品貸付台帳(財務規則第140号様式)に所定の事項を記載し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は原則として館とする。

(6) 美術品等の貸付引受け

この要綱2の(5)のアからエまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「貸付物品払出通知書」とあるのは「貸付物品受入通知書」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

(1) 撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により損傷を生ずるおそれがある美術品等は撮影を認めないものとする。

ウ 撮影の時期が美術品等の管理上、適当でないと認められる場合

は、その時期を変更し、若しくは撮影を認めないものとする。

(2) 撮影承認の手続

- ア 学芸課は、美術品等の撮影の承認をする場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（別紙様式第3号。以下「承認願」という。）を提出させるものとする。
- イ 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の撮影を承認する旨の書類を承認願に添付させるものとする。
- ウ 学芸課は、撮影者から承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、場所、時期、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。
- エ 学芸課は、この要領3の（2）のウの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、当該撮影の承認について館長の決裁を受けるものとする。
- オ 美術品等の撮影料は無料とする。

(3) 撮影承認の通知

学芸課は、この要領3の（2）のエにより撮影承認の決定をしたときは、撮影者に対して撮影承認の通知（別紙様式第4号）をするものとする。

(4) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

- ア 美術品等の撮影は館の職員の指示に基づいて行うこと。
 - イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。
 - ウ 撮影した写真等は、撮影承認を受けた目的以外に使用しないこと。
 - エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなるときは、必要に応じ、あらかじめ著作権者の了承を得ること。
 - オ 撮影承認を受けた美術品等の写真を出版物に掲載したときは、当該出版物を館に提出すること。
 - カ その他必要と認めること。
- (5) 補則
- ア 撮影の場所は、原則として館とする。
 - イ 撮影が美術品等の管理上適当でないとき、館が所有する原版の使用を認めるものとする。
 - ウ 過去に撮影した写真等の撮影承認の目的外使用については、この要領の適用を受けるものとする。
 - エ 館所有の原版を複製して使用する場合は、当該複製版をすべて提出することとする。
 - オ 館所有の原版を使用する際、誤って損傷、亡失させたときは、再撮影に係わる実費を当該申請者に請求することができるものとする。

4 適用

この要領は昭和60年2月9日から適用する。

（平成9年9福美第65号により一部改正）

H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

（趣旨）

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品および美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

（寄託の申し出）

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第1号）によって所有者の同意を得なければならない。

(2) 館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申請書（別記様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（受託）

3 館長は、所有者の合意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要であると認めるときは、これを無償で受託することができる。

（受け入れおよび返還）

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第3号）を交付するものとする。

(2) 所有者は寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするとき、返還を受けようとする日の一ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第4号）を館長に提出しなければならない。

(3) 館長は、この要領4の（2）により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

(4) 寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。（寄託期限）

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

（寄託期間の更新）

6 館長は所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

(2) 寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

(3) 館長は、この要領6の（1）および（2）により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。（所有者の変更等）

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者（所有者が変更した場合は変更後の所有者）は、所有権の移転その他氏名、名称等を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。（受託証書の再交付）

8 所有者は、受託証書を亡失し、または著しく破損したときは、これらの事実を証するにたる書類（破損の場合は、その受託証書）を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。（寄託品輸送経費等の負担）

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。（寄託品の展示等）

10 館は、寄託品について、展示、研究および撮影等を行い、その結果を公刊することができる。

(2) 館職員以外の者がこの要領10の（1）の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出しおよび写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。（寄託品の保存）

11 館長は、寄託品の保存管理およびその取扱いについては、館に所蔵する美術品に準じて行う。

(2) 館は、寄託品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。（その他）

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

◆予算

【2017年度予算内訳】

歳入

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
使用料及び手数料	20,622
└ 使用料	20,622
└ 行政財産使用料	870
└ 土地使用料	33
└ 建物使用料	837
└ 教育使用料	19,752
└ 美術館使用料	19,752
財産収入	4,487
└ 財産売払収入	4,487
└ 物品売払収入	4,291,487
諸収入	841
└ 雑入	841
計	25,950

歳出

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
教育費	261,583
└ 教育総務費	7,142
└ 事務局費	7,122
└ 報酬	5,760
└ 職員手当(児童手当等)	0
└ 共済費	1,362
└ 賃金	0
└ 財務管理費	20
└ 交際費	20
└ 社会教育費	254,442
└ 美術館費	247,033
└ 報酬	72
└ 報償費	1,289
└ 旅費	3,701
└ 需用費	81,203
└ (食糧費)	(138)
└ 役務費	9,632
└ 委託料	141,027
└ 使用料及び賃借料	9,733
└ 備品購入費	250
└ 負担金、補助及び交付金	106
└ 公課費	20
└ 図書館費	7,409
└ 需用費	7,409
└ (食料費)	(0)
計	226,224

◆施設・設備

【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所
 施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）
 敷地面積 60,500㎡
 建築面積 6,471.5㎡
 延床面積 9,680.7㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）
 総工費 約49億円（本体、外構含む）

【設備の概要】

電気設備

- 1- 受変電設備：受電力 1,100W
- 2- 動力設備
- 3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）
- 4- 自家発電機設備
- 5- 避雷針
- 6- 電気時計
- 7- 火災報知設備
- 8- 防火扉・防煙設備
- 9- 拡声設備
- 10- インターホン設備
- 11- ITV 設備
- 12- 防犯設備
- 13- ビデオ設備
- 14- 蓄電池設備
- 15- 電話設備

空調和設備

- 1- 熱源設備：
 - 展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT 組合せ制御方式、冷水槽300㎡、温水槽250㎡
 - 一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台
- 2- 空調設備：単一ダクト方式
 - 展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）
- 3- 換気設備：50系統
- 4- 排煙設備：機械排煙6系統
- 5- 床暖房：2系統
- 6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

給排水衛生設備

- 1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用
- 2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）
- 3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出
- 4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水
- 5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

昇降機設備

- 1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台
- 2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量3t 1台
- 3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

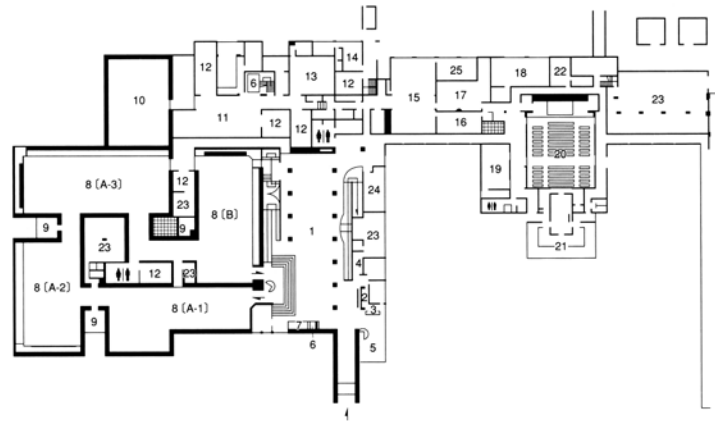
【内部仕上げの概要】

- 1- エントランスホール
 - 床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）
 - 壁：栓練付石綿ケイカル板
 - 天井：栓練付石綿ケイカル板
 - その他：一部床暖房設備
- 2- 収蔵庫
 - 床：パーケットブロック、ぶな素地
 - 壁：米杉、矢羽根板張
 - 天井：米杉、本実目透張
 - その他：収納棚、絵画収納ラック
- 3- 企画展示室
 - 床：長尺塩ビシート張
 - 壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張
 - 天井：栓練付パネル
 - その他：大型可動壁（幅8,770mm×高3,770mm、11枚）
 - 固定ケース前可動壁：（幅1,600mm×高4,050mm、延長約72m）
 - 固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長72.3m）
- 4- 常設展示室
 - 床：タフテッドループカーペット
 - 壁：常設A- 栓練付ケイカル板
常設B- 大理石空積、水磨き仕上げ
常設C・D- くるみ練付ケイカル板
 - 天井：常設A- 栓練付パネル
常設B・C・D- くるみ練付パネル
 - その他：固定ケース（常設A、16.2m）
- 5- 講堂
 - 床：タイルループカーペット
 - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 - 天井：ビニールクロス張
 - その他：座席数246（うち車椅子席4）／ステージ幅12m×奥行3.2m
- 6- 講義室
 - 床：タイルカーペット
 - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 - 天井：岩綿吸音板
- 7- 実習室
 - 床：エポキシ系塗床
 - 壁：モルタル金ゴテVP
 - 天井：岩綿吸音板
- 8- 軽食喫茶室
 - 床：長尺塩ビシート張
 - 壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）
 - その他：テーブル44席
- 9- その他
 - 搬出入口：ホイストクレーン2.8t／テーブルリフター
 - 写真室：電動スクリーン

◆施設配置図

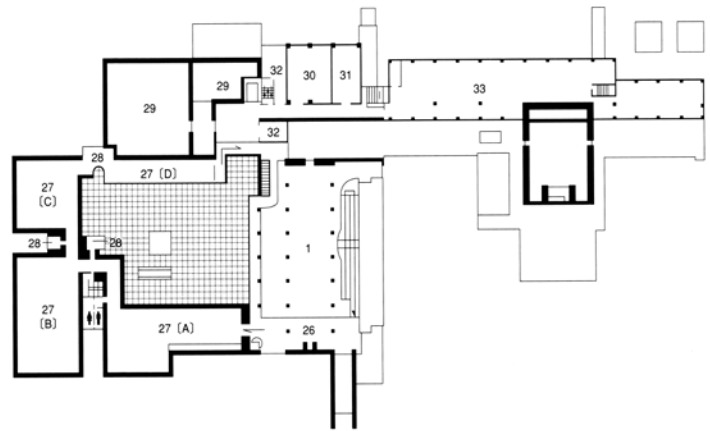
【1階】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室 |
| 2. 受付案内 | 15. 事務室 |
| 3. ブックショップ | 16. 応接室 |
| 4. ロッカー室 | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー | 18. 実習室 |
| 6. エレベーター | 19. 講義室 |
| 7. ビデオコーナー | 20. 講堂 |
| 8. 企画展示室 | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室 | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A | 23. 機械室 |
| 11. 荷解梱包室 | 24. 館長室 |
| 12. 倉庫 | 25. 副館長室 |
| 13. 写真室 | |



【2階】

- | |
|-------------|
| 26. ロビー |
| 27. 常設展示室 |
| 28. 休憩室 |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室 |
| 31. 会議室 |
| 32. 倉庫 |
| 33. 機械室 |



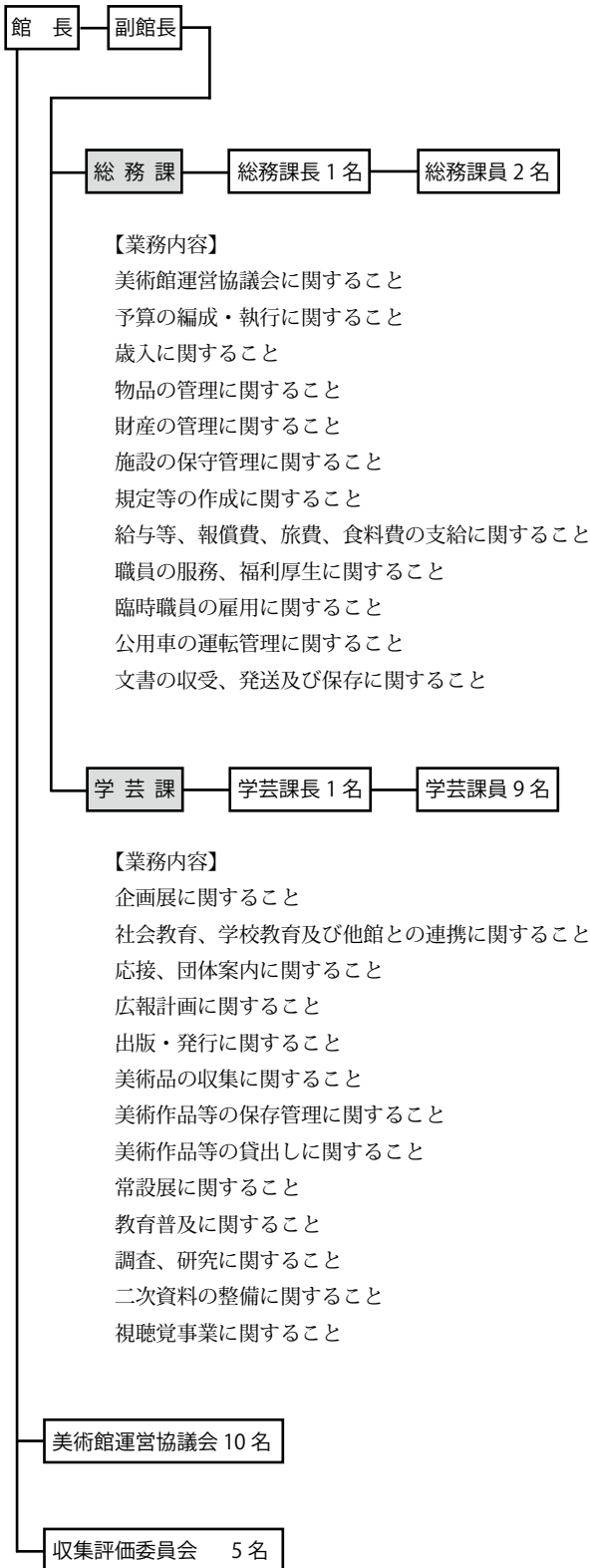
◆部門別専有面積 (*は県立図書館と共用)

サービス部門	1223.8m²
エントランスホール	817.3m ²
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m ²
*軽食喫茶室	179.0m ²
授乳室・救護室	25.4m ²
展示部門	3064.4m²
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m ²
企画展示室 B	431.1m ²
	(企画展示室合計 1811.9m ²)
常設展示室 A	403.1m ²
常設展示室 B	359.1m ²
常設展示室 C	143.8m ²
常設展示室 D	132.8m ²
	(常設展示室合計 1038.8m ²)
展示用具室	141.2m ²
展示用具室 2	72.5m ²
収蔵部門	1365.3m²
収蔵庫 A	280.2m ²
収蔵庫 B	368.7m ²
収蔵庫 C	105.1m ²
一時保管庫	51.8m ²
収蔵庫前室	57.6m ²
搬出入口	65.7m ²
荷解梱包室	188.8m ²
梱包倉庫	77.7m ²

荷扱人控室	29.6m ²
燻蒸室	33.3m ²
工作修復室	106.8m ²
普及部門	654.6m²
*講堂	498.6m ²
講義室	73.9m ²
実習室 (準備室含む)	82.1m ²
研究部門	187.2m²
研究図書室	88.7m ²
写真室	98.5m ²
管理部門	1832.7m²
応接室	48.0m ²
副館長室	34.0m ²
事務室 (総務課・学芸課)	174.0m ²
会議室	73.3m ²
館長室	43.2m ²
事務機械室	16.0m ²
警備室	54.7m ²
更衣室	8.7m ²
受付控室	15.4m ²
給湯室	4.4m ²
倉庫	33.0m ²
*機械室	1266.4m ²
車庫	61.6m ²
その他(化粧室・廊下・階段等)	1330.8m²

◆組織図・職員名簿

1. 組織図



2. 職員名簿（2018年3月31日現在）

名誉館長	酒井 哲朗（2016.4.1-）
館長	早川 博明（2012.4.1-）
副館長	高木 正弘（2017.4.1-2018.3.31）
総務課長	菅野 徹（2016.4.1-）
総務課 主査	高橋奈央子（2017.4.1-）
総務課 同	小形 淳子（2014.4.1-2018.3.31）
総務課 専門員	玉木 文夫（2016.4.1-）
学芸課長	荒木 康子（1990.4.1-）
学芸課 専門学芸員	堀 宜雄（1989.4.1-）
学芸課 同	増渕 鏡子（1993.4.1-）
学芸課 主任学芸員	宮武 弘（1992.4.1-）
学芸課 同	國島 敏（2012.4.1-2018.3.31）
学芸課 副主任学芸員	紺野 朋子（2012.4.1-）
学芸課 同	坂本 篤史（2014.4.1-）
学芸課 学芸員	白木ゆう美（2014.4.1-）
学芸課 同	橋本 恵里（2017.4.1-）
学芸課 専門員	伊藤 匡（2017.4.1-）

□利用案内

1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

3. 観覧料

1) 常設展

一般・大学生：270円（210円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（身体障害者手帳・療育手帳1種、精神障害者保険福祉手帳

1級をお持ちの方は付き添いの方も無料）

4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、

敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生3,000円／高校生1,800円／小・中学生1,200円）

7. 交通案内

1) J R 福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩4分

タクシー：約5分

2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分 ※駐車場150台収容

福島県立美術館年報 平成29年度・2017

2018年12月20日 発行

編集・発行 福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話 024-531-5511

ファックス 024-531-0447

ホームページ <https://art-museum.fcs.ed.jp>

印刷

キング印刷株式会社

